


取扱説明書

車の中に保管してください。
ご使用のまえによくお読みください。

611-B014-1-011



DIAMANTE
MITSUBISHI

あなたと創る *Creating Together*  三菱自動車

 三菱自動車





このたびはディアマンテをお買い上げいただき、
ありがとうございます。




JA21AAP

この取扱説明書は、あなたの車をいつも安全、快適に運転していただくために正しい取り扱いと簡単なお手入れについて説明してあります。

万一、お車の取り扱いを誤りますと故障や事故の原因になりますので、ご使用前に必ずお読みください。

●この取扱説明書では次のマークを使用しています。

	注意していただきたいこと
	故障のときの処置方法
	知っておいていただくと便利なワンポイントアドバイス
	グレードにより異なる装備。装着されていない車もあります。

とくに「これだけはお守りください」と、   は、よくお読みください。

●三菱マルチコミュニケーションシステムの取扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。

- 取扱説明書は車の中に保管してください。
- 点検、整備内容については、別冊の「メンテナンスノート（整備手帳）」をご覧ください。
- 車をゆずられるときは、取扱説明書および「メンテナンスノート（整備手帳）」を車につけておいてください。

装備仕様の変更などにより本書の内容があなたのお車と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。

目次

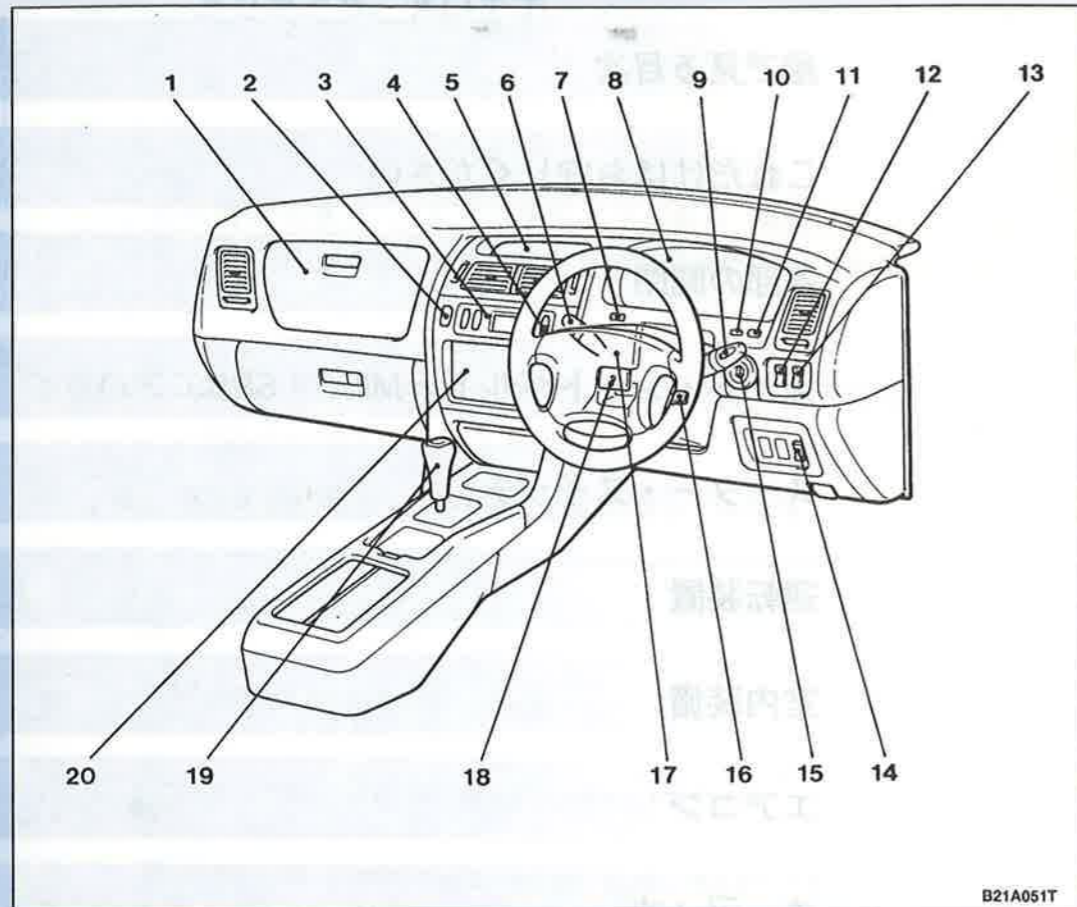
絵で見る目次	2
これだけはお守りください	5
各部の開閉	13
シート・シートベルト・MICS・SRSエアバッグ	25
メーター・スイッチ	41
運転装置	65
室内装備	97
エアコン	107
オーディオ	115
車のお手入れ	137
寒冷時の取り扱い	143
もしものときの処置	149
サービスデータ	164
さくいん	171

三菱自動車工業株式会社
蔵 95.6.09 書
乗用車開発本部

絵で見る目次

計器盤まわり

JB21AAPA



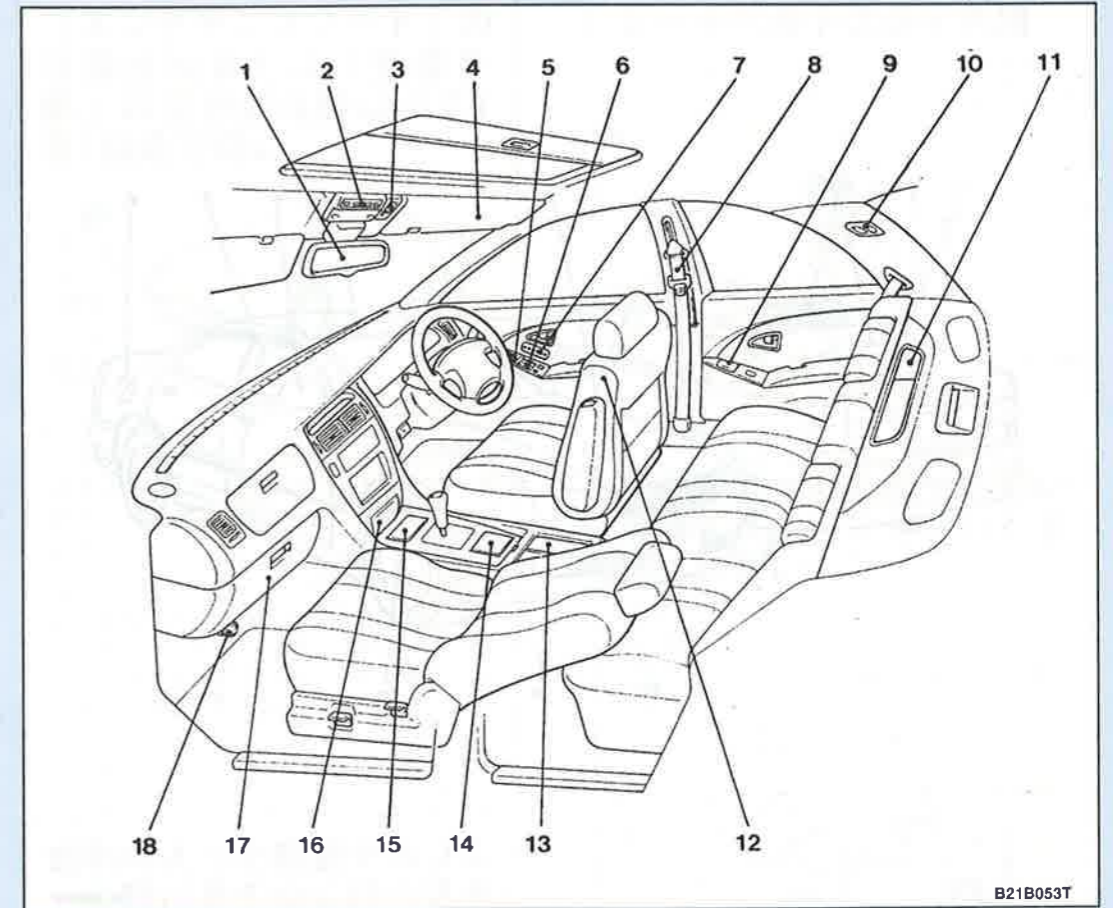
B21A051T

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 ー助手席SRSエアバッグ P. 39 | 10 ーメーター照度調整ダイヤル P. 63 |
| 2 ー非常点滅灯スイッチ P. 62 | 11 ークルーズコントロール
(メインスイッチ) P. 86 |
| 3 ーエアコン P. 109 | 12 ー車間距離警報スイッチ P. 89 |
| 4 ーリヤウインドウデフォグガー
(曇り取り)スイッチ P. 63 | 13 ートラクションコントロール
スイッチ P. 94 |
| 5 ーセンターウォーニングディスプレイ P. 45, 46
センターメッセージディスプレイ P. 46, 50
時計 P. 102 | 14 ーワイパーディアイサースイッチ P. 60 |
| 6 ーフロントワイパー・ウォッシャー
スイッチ P. 59
リヤワイパー・ウォッシャー
スイッチ P. 61 | 15 ーエンジンスイッチ P. 66 |
| 7 ーMODEスイッチ P. 50, 52 | 16 ークルーズコントロール
(コントロールレバー) P. 86 |
| 8 ーメーター・表示灯・警告灯 P. 42, 45, 46 | 17 ー運転席SRSエアバッグ P. 38 |
| 9 ーライトスイッチ P. 57
方向指示レバースイッチ P. 58
ヘッドランプウォッシャー P. 61
フォグランプスイッチ P. 62 | 18 ー駐車ブレーキ解除レバー P. 81 |
| | 19 ーセレクターレバー P. 69, 75 |
| | 20 ーオーディオ P. 116, 124 |

絵で見る目次

室内装備

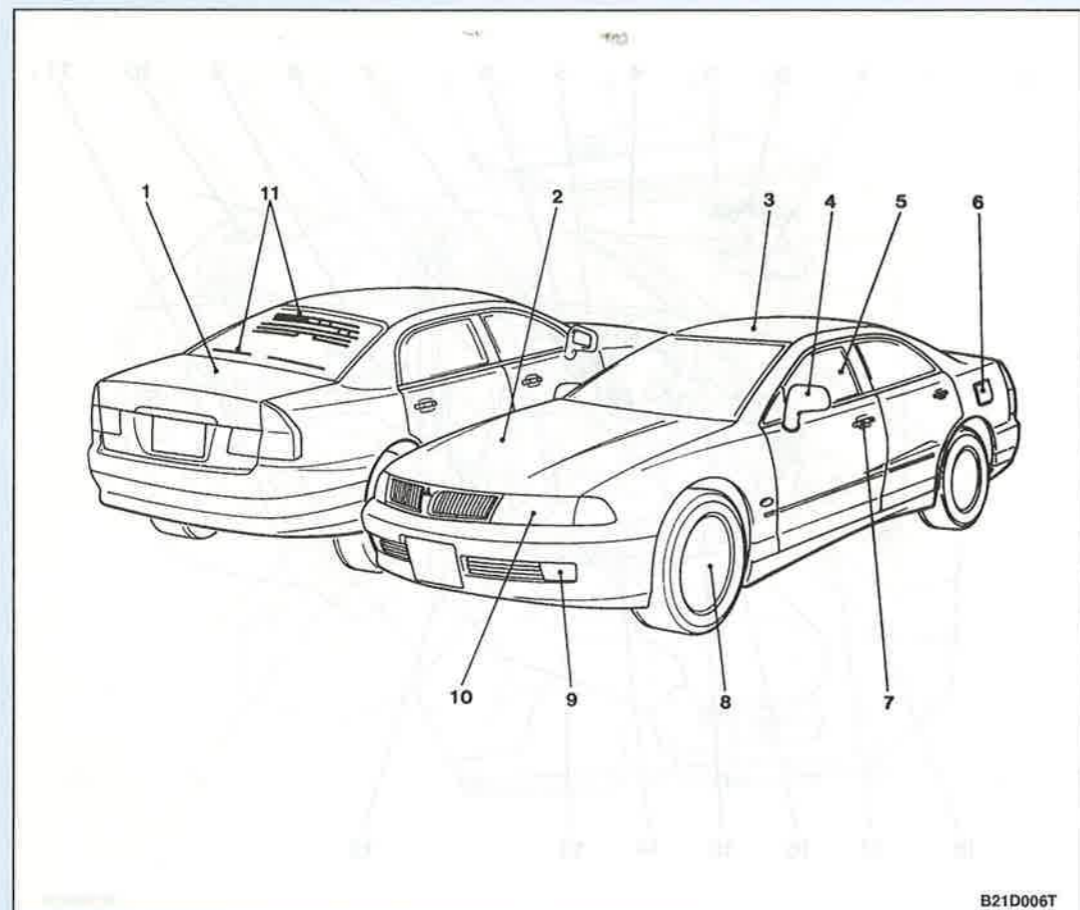
JB21BAP



B21B053T

- | | |
|---|--|
| 1 ールームミラー P. 82 | 10 ーリヤパーソナルランプ P. 101 |
| 2 ールームランプ P. 101 | 11 ーリヤシェルフボックス P. 104 |
| 3 ーサンルーフスイッチ P. 23 | 12 ーシート P. 26 |
| 4 ーサンバイザー P. 98 | 13 ーフロアコンソールボックス P. 103 |
| 5 ールームミラー調整スイッチ P. 82
ドアミラー調整スイッチ P. 83 | 14 ーアクセサリースOCKET P. 100 |
| 6 ーパワーウインドウスイッチ P. 18
センタードアロックスイッチ P. 15 | 15 ーカップホルダー P. 103 |
| 7 ーMICS (三菱インテリジェント
コックピットシステム) スイッチ P. 37 | 16 ー灰皿 (前席用) P. 99
シガレットライター P. 100 |
| 8 ーシートベルト P. 31 | 17 ーグローブボックス P. 102 |
| 9 ー灰皿 (後席用) P. 99 | 18 ー発炎筒 P. 150 |
- ・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

外まわり



B21D006T

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 トランクリッド P. 22 | 7 ドアの施錠・解錠 P. 14 |
| 2 エンジンフード P. 20 | キーレスエントリー P. 16 |
| エンジンルーム P. 169 | 8 タイヤ空気圧 P. 168 |
| 3 サンルーフ P. 23 | タイヤ交換 P. 154 |
| 4 ドアミラー P. 83 | タイヤローテーション P. 168 |
| 5 パワーウィンドウ P. 18 | タイヤチェーン P. 146 |
| 6 ヒューエルリッド P. 21 | 9 フォグランプ P. 62 |
| | 10 ヘッドランプ P. 57 |
| | 11 アンテナ P. 135 |
- 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

これだけはお守りください

出発前は

JC31A-E

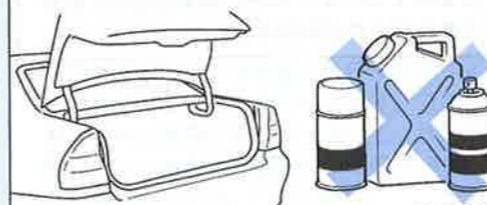
「メンテナンスノート」の日常点検または「整備手帳」の運行前点検は必ず1日1回走行前に



C31A018K

- 1日1回走行前に「メンテナンスノート」の日常点検、または「整備手帳」の運行前点検を行うことが義務づけられています。事故や故障を未然に防ぐために必ず行ってください。
- 「メンテナンスノート」の日常点検、または「整備手帳」の運行前点検の項目および点検のしかたについては、別冊の「メンテナンスノート（整備手帳）」に記載してありますので必ずお読みください。

燃料の入った容器やスプレー缶類は車の中に持ち込まない



C31A021K

- 車の中で容器が破裂したり、蒸発ガスに引火するおそれがあり、危険です。

シートベルトは必ず着用

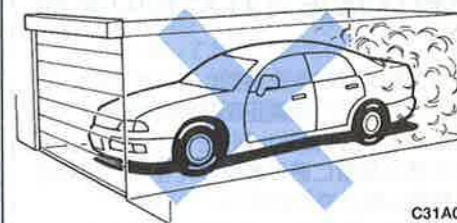
- 正しい装着方法は「シートベルト」の項をお読みください。→P. 31
- 同乗者にも着用してもらってください。



C31A004K

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ない場合は換気を十分してください。



C31A019K

暖機運転は換気の良い場所で行って

- 暖機は水温計の針が動き出す程度で十分です。
- 車の後方および車の下に燃えやすいものがないか確認してください。万一の場合、着火するおそれがあります。

走行するときは

JC31B-AC

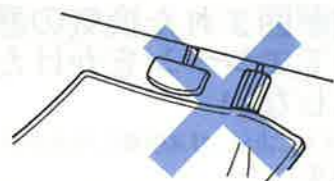
運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がこぼれ入り込むとブレーキの操作ができなくなるなど危険です。



C31A005K

- フロアマットはペダル操作の妨げにならないように正しく敷いてください。



C31B006K

燃料は指定されたものを補給

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。有鉛ガソリンや三菱純正部品以外のガソリン添加剤(含む凍結防止剤)を使用すると排気ガス浄化装置に悪影響を与えますので絶対に使用しないでください。
- DOHC車は無鉛プレミアムガソリンを使用してください。無鉛プレミアムガソリンが入手できないときは無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力は若干低下します。

走行中はエンジンを止めない



C31B002K

- 走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなったりハンドルが非常に重くなります。
- キーを抜くとハンドルがきれなくなり危険です。
- 排気ガス浄化装置が損傷することがあります。

走行中にシートを倒して寝ころばない



C31B013K

- 万一の場合、シートベルトの下を身体がすり抜けてシートベルトに首がかかり、けがをするおそれがあります。

車をバックするときは目で後方を確認



C31B024K

- バックミラーでは確認できない死角があります。
- 子供や障害物に十分注意してください。

水たまり走行後や洗車後はブレーキの効き具合を確認



C31B025K

- ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。水がかかったときは、前後の車に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキのしめりを乾かしてください。
- 雨の中や水たまりを高速で走行するとタイヤと路面の間に水の膜ができます。このためタイヤと路面の摩擦力が低下し、ハンドルやブレーキの効きが悪くなるのでつぎの点に注意して走行してください。
 - (1) スピードを落として走行する
 - (2) すり減ったタイヤは使用しない
 - (3) 正しいタイヤ空気圧にする

下り坂ではエンジンブレーキを併用



C31B026K

- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると、ベーパーロックやフェード現象を起こし、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして危険です。

エンジンブレーキ

走行中、アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよく効きます。

ベーパーロックとは・・・

ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰して気泡が発生し、ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは・・・

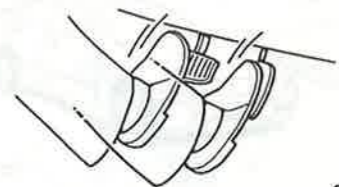
ブレーキパッドまたは、ブレーキライニングの摩擦面が過熱されると摩擦力が低下してブレーキの効きが悪くなる現象。

オートマチック車の取り扱い

JC31C-AB

エンジン始動前

- アクセルペダルとブレーキペダルの位置を右足で確認してください。



C31C003K

- セレクターレバーがP位置にあることを目で確認します。



C31C008K

- ブレーキペダルを踏んだままエンジンをかけます。

エンジン始動後

- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。
- Rにするとブザーが鳴ります。ブザーは車の外には聞こえません。



C31C002K

発進

- ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。



C31C004K

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作すると、急発進し危険です。

駐車

- ブレーキペダルを踏んだままセレクターレバーをPにしてください。
- キーはセレクターレバーがPのときのみ、抜き取ることができます。



C31C017K

駐停車するときは

JC31D-B

燃えやすいものの近くには車を止めない



C31D009K

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。走行後の排気管は高温になっているので火災になるおそれがあります。

車から離れるときはエンジンを止め施錠

- 火災や盗難などを未然に防ぐため、必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
- 車内に貴重品を置いたままにしないでください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める



C31D002K

- 排ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、無意な発進など思わぬ事故を招くおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

JC31E-EA

お子さまはリヤシートに座らせる

- チャイルドプロテクションをご使用ください。→P. 16
- 万一の場合、リヤシートのほうが安全です。



C31E001K

小さなお子さまはチャイルドシートを使用

- シートベルトが首、あごなどに当たる場合や、腰骨にかからないような小さなお子さまはリヤシートに三菱純正のチャイルドシートまたはジュニアシートをご使用ください。



C31E002K

- 乳児はリヤシートにベビーベッドをご使用ください。→P. 32



G28B020K

ドア、ウインドウ、サンルーフ、シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないように注意してください。
- パワーウインドウはロックスイッチをお使いください。→P. 19

窓やサンルーフから手や顔を出させない



C31E003K

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

- 炎天下の車内は高温となり危険です。
- キーを差したままだとパワーウインドウなど電装品の誤操作、車の発進、火災など、お子さまのいたずらにより思わぬ事故につながるおそれがあり、危険です。



C31E004K

リミテッドスリップディファレンシャル付き車の取り扱い

JC31K-C

後輪がぬかるみにはまったときはむやみに空転させない

- リミテッドスリップディファレンシャルに悪影響を与えます。

リミテッドスリップディファレンシャル後輪の片側がぬかるみに入ったときやスリップしたときに、その空転を防止し、駆動力を有効に使う装置です。

後輪の片側がぬかるみなどにはまり、抜け出せないときは駐車ブレーキペダルを少し踏む

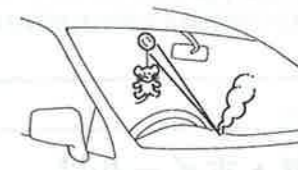
- 駐車ブレーキペダルを少し踏んでブレーキをわずかにきかせた状態（完全にはきかせない）でアクセルペダルを徐々に踏み込んで発進してください。抜け出しやすくなります。
- 抜け出した後は必ず解除レバーを引いてください。

こんなことにも注意

JC31I-AC

アクセサリ取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリをつけると、運転の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災など思わぬ事故の原因となります。



C31I012K

SRSエアバッグの注意

- SRSエアバッグはシートベルトの補助拘束装置です。シートベルトは必ず着用してください。
- ハンドルを交換したり、ステッカー類を貼らないでください。SRSエアバッグが正常に動かなくなります。



ステッカー

G28G054K

- ハンドル回りやセンターコンソール、インストルメントパネル付近などを修理する場合は必ず三菱販売会社へご相談ください。

ジャッキアップしたままエンジンをかけない

- 車が発進し、ジャッキから車体がはずれるおそれがあります。

パワーステアリング付き車の注意

- パワーステアリング付き車は、ハンドルをいっばいに切った状態を長く続けしないでください。
オイルの潤滑不良を起こし、パワーステアリングポンプを損傷するおそれがあります。

タイヤ・ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ・ホイールは三菱が運輸省に届け出をしています。
- 異なった種類や指定以外のものを使用すると安全走行に悪影響をおよぼすことがあります。

電装品装着時の注意

- 機器や取り付け方法が適切でない場合は、電子制御部品に悪影響をおよぼすことがありますので、取り付けるときは三菱販売会社にご相談ください。
誤った配線は火災を招くおそれがあります。

携帯電話・無線機使用時の注意

- 車内で携帯電話や無線機などの通信システムを使用する場合は、別の外部アンテナを取り付けてください。
車内アンテナのみで携帯電話や無線機などを使用すると、車の電気系統の故障や安全運転を阻害する原因となり危険です。

違法改造はしない

- 三菱が運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると違法になることがあります。
- 三菱純正部品以外の部品を装着すると、車の性能や機能に影響し、思いがけない事故が発生する場合があります。必ず三菱純正部品をご使用ください。



飲酒運転はしない

- 飲酒をすると、判断力や運動神経が鈍くなります。

各部の開閉

キー	14
ドア	14
キーレスエントリー	16
パワーウィンドウ	18
エンジンフード	20
ヒューエルリッド	21
トランクリッド	22
サンルーフ	23



各部の開閉

キー

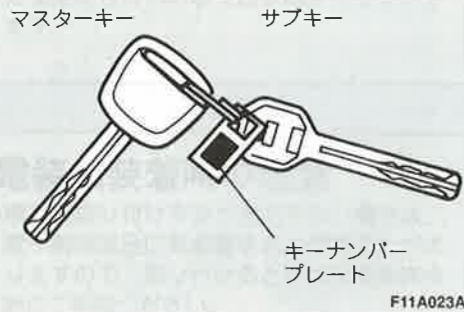
JF21A-E

キーにはマスターキー2本とサブキー1本がついています。サブキーではトランクおよび、グローブボックス(小物入れ)を施錠・解錠することはできません。

盗難防止のため、複製が困難な特殊なキーを使用しています。また、ドアはお客様のキー以外では解錠しにくい構造となっています。

キーを紛失したり、キーの閉じ込みをしないよう十分ご注意ください。

注意 ●キーナンバーは、他の人にわからないようにするため、キーには打刻してありません。キーナンバープレートに打刻してありますので、キーとは別にして大切に保管してください。



F11A023A

アドバイス ●特殊なキーのため、三菱販売会社以外では複製できません。
●万一、紛失した場合は、早めに三菱販売会社にキーナンバーを連絡し、複製を依頼してください。
●JAFなどに依頼しても、ドアの解錠はきわめて困難です。

ドア

JF22A-HA

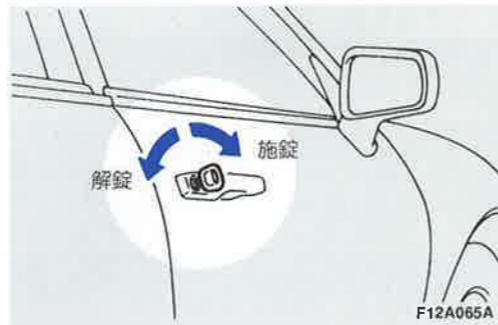
注意 ●車から離れるときは、火災や盗難などを未然に防ぐため、必ずエンジンを止めドアを施錠してください。法的にも義務づけられています。お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて行ってください。また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
●ドアを閉めたときは、確実に閉まっていることを確認してください。半ドアでは、走行中に開くおそれがあり危険です。

車外からの施錠・解錠

●キーを使って

キーを車両前方に回すと施錠、車両後方に回すと解錠されます。

運転席ドアを施錠・解錠すると、すべてのドアも同時に施錠・解錠されます。

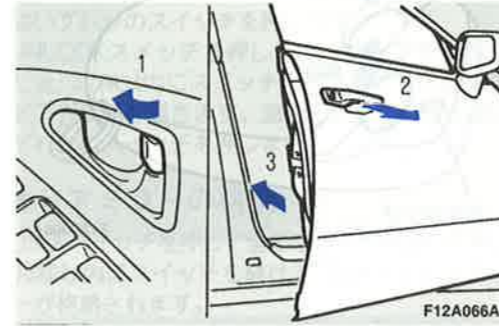


F12A065A

●キーを使わずに

フロントドア

1. ドア内側のロックノブを前方に倒し、
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。



F12A066A

注意 ●置き忘れ防止のためキーを持ってドアを閉じてください。

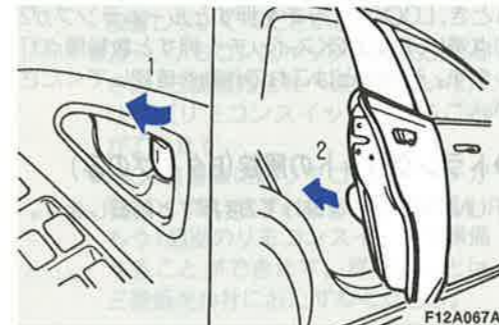
●キー抜き忘れ防止

エンジンスイッチを切り、キーを差したまま運転席ドアを開くとブザーが断続的に鳴り、キーの抜き忘れを知らせます。

また、キーを差したまま運転席ドアのロックノブを前方に倒しても施錠されません。

リヤドア

1. ドア内側のロックノブを前方に倒し、
2. ドアを閉じます。

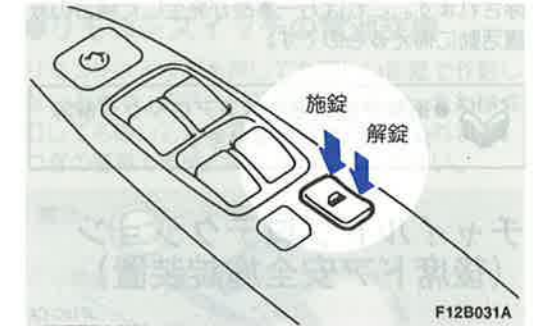


F12A067A

車内からの施錠・解錠

●センタードアロックスイッチを使って

スイッチを押すとすべてのドアが施錠・解錠されます。

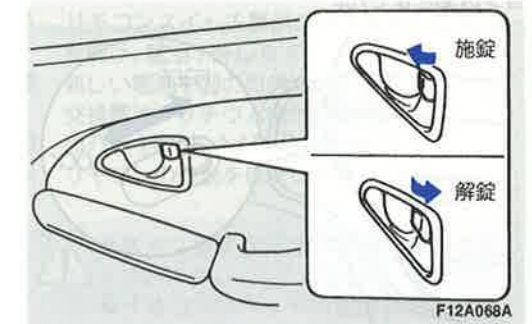


F12B031A

●ロックノブを使って

ロックノブを前方に倒すと施錠、後方に倒すと解錠します。

運転席ドアのロックノブを前方に倒すとすべてのドアが施錠されます。



F12A068A

●オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを前方に倒したままでも、室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

アドバイス ●室内側の前席ドアハンドルには静電気アースパネルが組み込まれています。

●衝撃感知アンロック機構付
オートドアロック

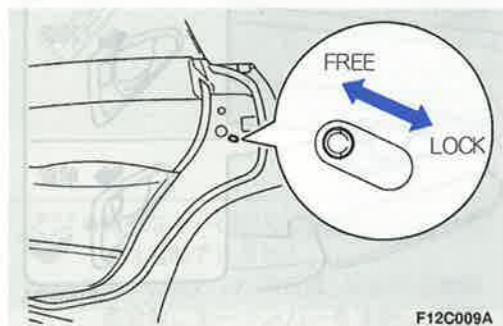
走行スピードが約20km/h以上になるとすべてのドアが自動的に施錠されます。また走行中、衝突等で、運転者や同乗者に危害がおよぶような強い衝撃を受けると、全てのドアロックが自動的に解除されます。これは万一事故が発生した場合の救護活動に備えるものです。

アドバイス ●衝撃が弱い場合はドアロックが解除されることがあります。

チャイルドプロテクション
(後席ドア安全施錠装置)

JF12C-CA

お子様を後席に乗せるときは、安全のためチャイルドプロテクションをご使用ください。レバーをLOCK側にしてドアを閉めると車内からドアは開けられません。車外のドアハンドルで開けてください。レバーをFREE側にするチャイルドプロテクションは働きません。

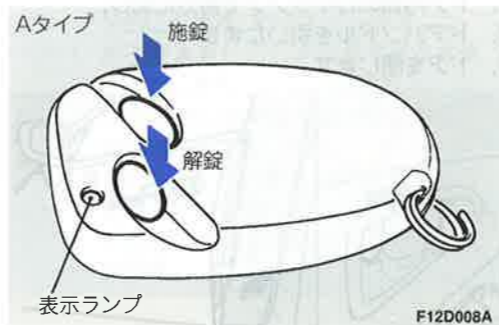


F12C009A

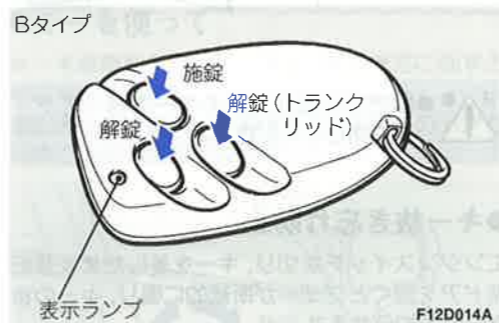
キーレスエントリー★

JF12D-JA

リモコンスイッチを押すと表示ランプが点滅します。



F12D008A



F12D014A

●ドアの施錠・解錠

LOCKスイッチを押すとすべてのドアが施錠し、UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアが解錠します。

ルームランプのスイッチ(・)が押し込まれているとき、LOCKスイッチを押すとルームランプが2回点滅し、UNLOCKスイッチを押すと数秒間点灯します。夜間などはこれで作動を確認してください。

●トランクリッドの解錠(Bタイプのみ)

TRUNKスイッチを続けて2度押すと解錠します。

●パワーウィンドウの開閉, サンルーフの開閉★

LOCKスイッチを押して全てのドアを施錠した後、30秒以内にスイッチを押し続けると全てのドアガラスが閉まります。サンルーフ付き車は、同時にサンルーフが閉まります。途中で止めたいときはいずれかのスイッチを押します。

UNLOCKスイッチを押して全てのドアを解錠した後、30秒以内にスイッチを押し続けると前席のドアガラスが開きます。途中で止めたいときはいずれかのスイッチを押します。

●ドアミラーの格納

LOCKスイッチを押して全てのドアを施錠した後、30秒以内にスイッチを続けて2回押すとドアミラーが格納されます。

UNLOCKスイッチを押して全てのドアを解錠した後、30秒以内にスイッチを続けて2回押すと格納されていたドアミラーが元の位置に戻ります。

アドバイス ●リモコンスイッチは車から約1m以内で作動します。

近くにTV塔や発電所、放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。

●エンジンスイッチにキーが差してあるときやドアが開いているときは作動しません。

●UNLOCKスイッチを押しても30秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。

●ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所にはリモコンスイッチを放置しないでください。

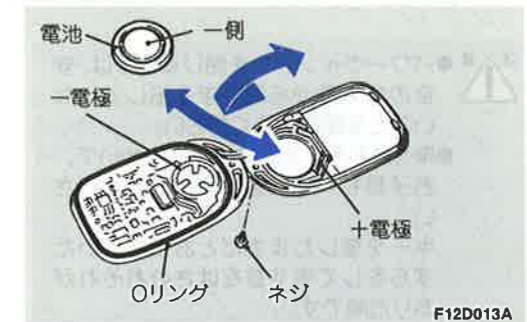
●万一、リモコンスイッチを紛失したときは、三菱販売会社へ連絡していただければリモコンスイッチを作ることができます。

●MICS装着車にはリモコンスイッチが2個ついています。その他の車でも、もう1個別のリモコンスイッチを準備することができます。詳しいことは三菱販売会社におたずねください。

注意 ●リモコンスイッチ内部は精密なためつぎの点に留意してください。
・衝撃を与えない。
・水にぬらさない。
・分解、改造をしない。

●リモコンスイッチの電池交換

リモコンスイッチを押しても正しい距離で作動しないときや、表示ランプが点灯しない、または点灯しても暗いときは電池の消耗が考えられます。つぎの要領で電池の交換を行ってください。



F12D013A

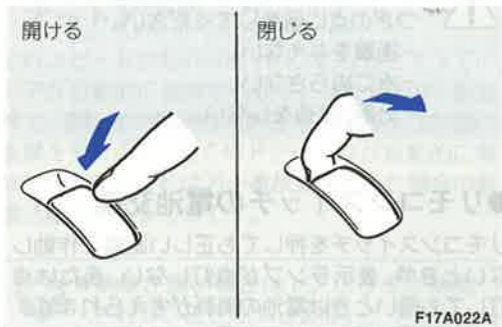
1. リモコンスイッチ裏側のネジを外してカバーを開け、電池を外します。
2. 新しい電池を図の方向にいれます。
交換電池：リチウム電池CR2032
3. カバーを閉じ、ネジをしめます。
4. リモコンの作動を確認します。

注意 ●電池交換する時は+電極を変形させないようにしてください。
●リモコンスイッチ内部は精密にできています。水にぬらしたり、ゴミ、ほこりなどが入らないようにしてください。またプリント基板を直接手で触れないでください。
●スイッチのカバーを閉じる時は確実にOリングを取り付けてください。Oリングがねじれていたり、ずれたりしていると水、ほこりなどがスイッチ内に入り故障の原因になります。

アドバイス ●電池は時計店、カメラ店などで指定のものをお求めください。

パワーウィンドウ

JF27A-GA



- 注意** ●パワーウィンドウを閉じるときは、安全のため窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 車を離れるときは必ずキーを抜いて、お子様も一緒に連れて行ってください。
- キーを差したままだとお子様がいたずらをして手や首をはさむおそれがあり危険です。

- 処置** ●バッテリー端子を外し再接続したときは、ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
- つぎの方法で全てのドアガラスを処置してください。
- ドアガラスが開いているときは、パワーウィンドウスイッチを繰り返し引いて、ドアガラスを一度全閉します。全閉後、さらに約1秒間スイッチを引いてください。これにより、元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

運転席スイッチ

●エンジンスイッチがONのときにスイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。

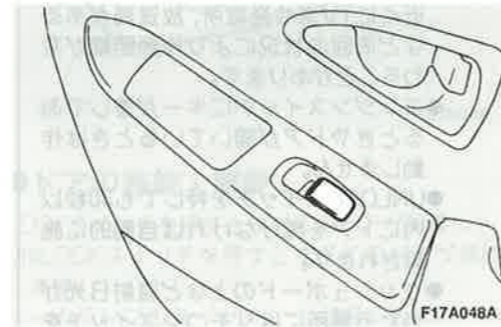
運転席スイッチを強く押したり、強く引き上げると自動的に全開、全閉します。

途中で止めたいときは操作した逆方向にスイッチを軽く押し(引き)ます。



助手席、後席スイッチ

●エンジンスイッチがONのときにスイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。



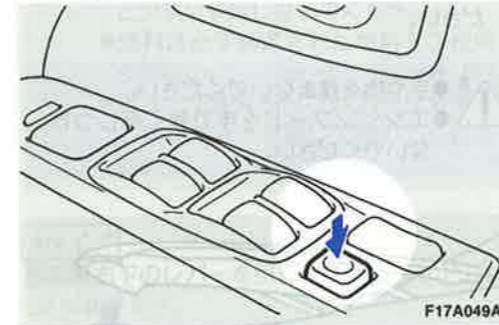
ドアガラス ●後席ドアガラスは全開しません。

●ドアガラスを閉め忘れたときは

エンジン切った後でも約30秒間はスイッチでガラスを開閉することができます。但し、運転席のドアを一旦閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

ウィンドウロックスイッチ

●ロックスイッチをONにすると助手席および後席のスイッチではドアガラスが開閉できません。解除するときはもう一度押します。



- 注意** ●お子さまを乗せるときは、お子さまが誤って操作しないよう、ロックスイッチをONにしておいてください。

●セーフティー機構

万一手や顔などはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが下がる(約15cm)構造となっています。

ドアガラスが下がった後、再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

- 注意** ●ドアガラスを確実に閉めるため、閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などはさまないように注意してください。

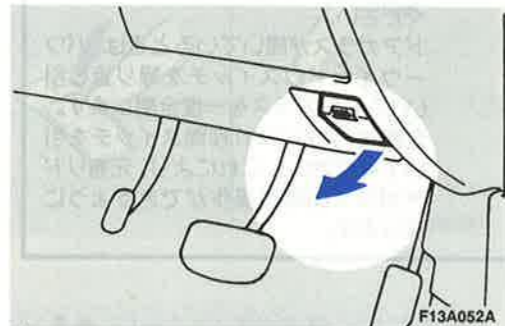
- 処置** ●3回以上連続してセーフティー機構が働いたときは、ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
- つぎの方法でドアガラスを処置してください。
- ドアガラスが開いているときは、パワーウィンドウスイッチを繰り返し引いて、ドアガラスを一度全閉します。全閉後、さらに約1秒間スイッチを引いてください。これにより、元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

エンジンフード

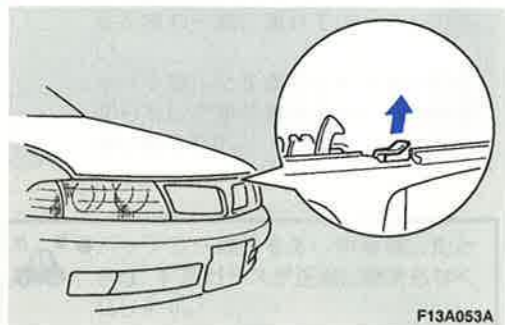
JF13A-LA

●開け方

1. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。



2. エンジンフードの前端中央部のレバーを上へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

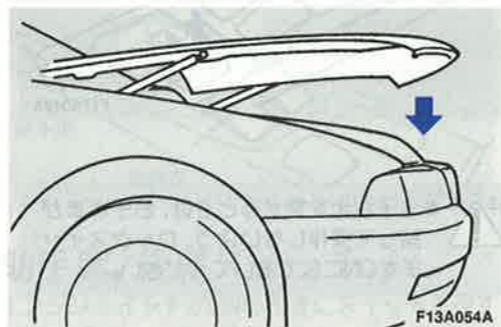


●閉じ方

1. エンジンフードを少し持ち上げた位置(約30cm)から離します。閉まらないときは少し勢いをつけて閉じてください。

注意

- 手や物を挟まないでください。
- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。



2. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行すると開くおそれがあり危険です。

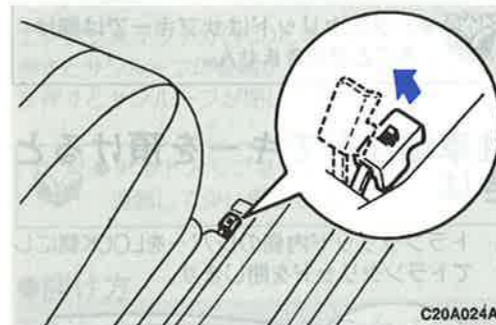
ヒューエルリッド (燃料補給口)

JC30A-FA

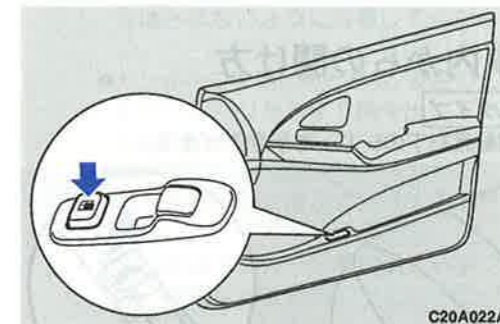
注意

- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ、ライターなど火気は使用しないでください。
- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。→P. 164
- ヒューエルキャップはカチッカチツと音がするまで回して閉めてください。

Aタイプ
運転席右下のレバーを引き上げるとリッド(補給口)が開きます。



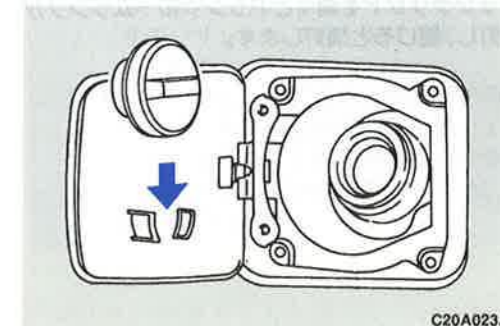
Bタイプ
運転席ドア内側にあるスイッチを押すとリッド(補給口)が開きます。



注意 ● **Bタイプ**
スイッチを押してもリッドが開かない場合は、トランクルーム左側のレバーを引いて開けてください。



ヒューエルキャップはリッドの裏側に置くことができます。



トランクリッド

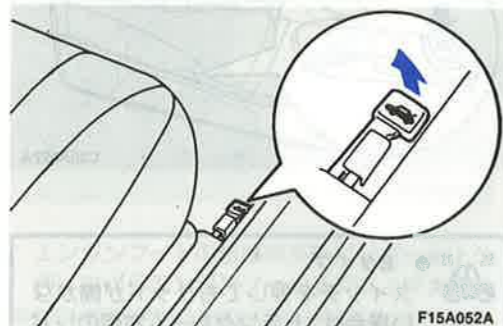
JF25A-H

注意 ●貴重品を置いたままにしないでください。

車内からの開け方

Aタイプ

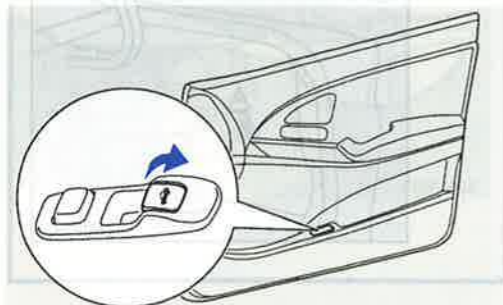
運転席右下のレバーを引き上げます。



F15A052A

Bタイプ

運転席ドア内側にあるレバーを引き上げます。

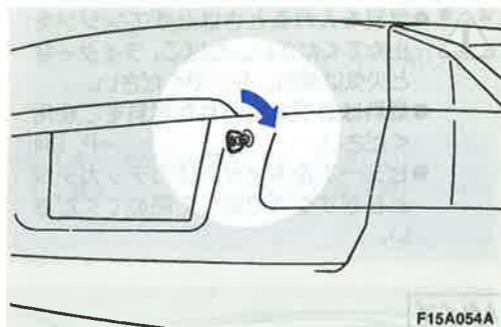


F15A053A

トランクリッドを開くとトランクルームランプが点灯し、閉じると消灯します。

車外からの開け方

●キーを差し込み右に回します。

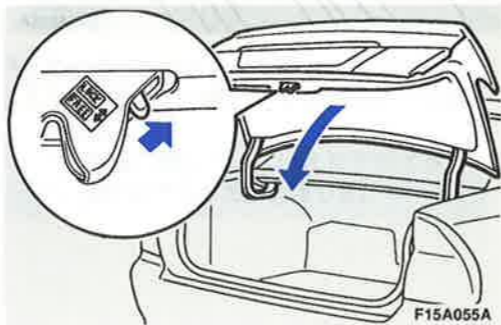


F15A054A

アドバイス ●トランクリッドはサブキーでは開けることができません。

駐車場などでキーを預けるときの

1. トランクリッド内側のレバーをLOCK側にしてトランクリッドを閉じます。



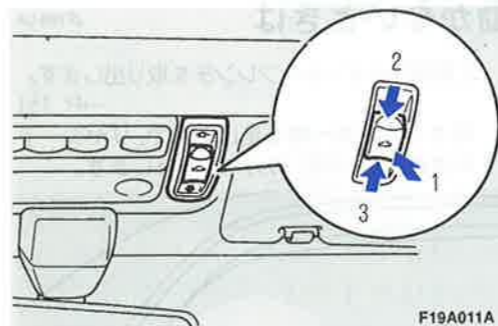
F15A055A

アドバイス ●通常はFREE側にしておいてください。

2. サブキーを渡します。

サンルーフ★

JF19A-TA



F19A011A

●チルトアップのしかた (サンルーフの後端を上げる)

エンジンスイッチがONのとき、スイッチの(1)を押すとサンルーフの後端が上がり、スイッチの(2)を押すとサンルーフが閉じます。

アドバイス ●チルトアップするとサンシェードが連動して少し開きます。

●開け方

エンジンスイッチがONのとき、スイッチの(3)を押すと全開します。

途中で止めたいときは、スイッチの(1)または(2)を押します。

●閉じ方

エンジンスイッチがONのとき、スイッチの(2)を押すと閉じます。

途中で止めたいときは、スイッチの(1)または(3)を押します。

アドバイス ●エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はサンルーフを開閉することができます。但し、一旦運転席のドアを開けるとサンルーフの開閉はできなくなります。

●セーフティー機構

万一手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数cm開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。

- 注意**
- サンルーフを確実に閉めるため、閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などははさまないように注意してください。
 - サンルーフを閉じるときは、安全のためサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。
 - 車を離れるときは必ずキーを抜いて、お子様も一緒に連れて行ってください。
 - 走行中はサンルーフ開口部から手や顔、荷物などを絶対に出さないでください。
 - サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたリ荷物に乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
 - サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けしないでください。
 - サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときはすぐにスイッチから手を離し原因を確かめてください。
 - 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
 - サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ(黒いゴム)にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
 - 雨が降った後や洗車後に開けるときは、車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
 - エンジンスイッチを切ったままで何度もサンルーフを開閉するとバッテリーが上がる場合があります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

●サンシェード

手で開閉することができます。

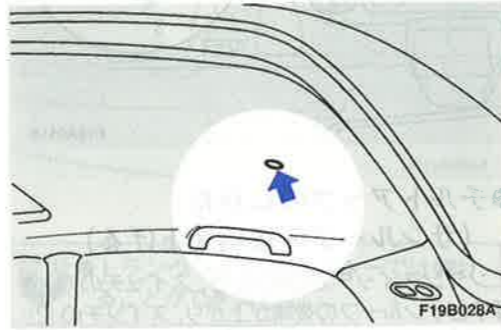


- サンルーフをチルトアップすると連動して数cm開きます。
- サンルーフを開けるとき連動して開きます。
- サンルーフが開いた状態でサンシェードのみ閉じることはできません。
- サンルーフを閉めるときは途中までしか連動しません。サンルーフが全開してから手で閉じてください。

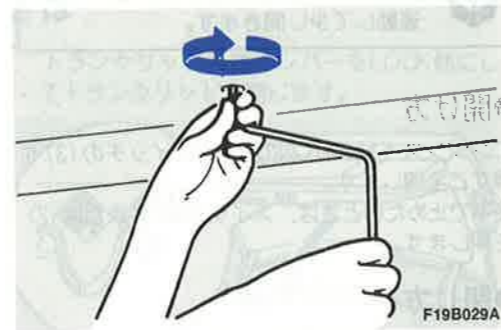
サンルーフが開いたまま動かないときは

JF19B-UA

1. 工具袋からサンルーフレンチを取り出します。
→P. 151
2. 布をあてたキー等を差し込んで、リヤシート中央真上(天井部)のカバーを外します。



3. サンルーフレンチを穴に差し込んで、矢印方向に回すとサンルーフは閉じます。



●一応の処置が終わった後、お早めに三菱販売会社で点検を受けてください。

シート・シートベルト・MICS・SRSエアバッグ

フロントシート	26
リヤシート	28
ヘッドレスト	30
シートベルト	31
MICS(三菱インテリジェントコックピットシステム)	36
SRSエアバッグ	38
プリテンショナー付シートベルト	40



シート

フロントシート

JG21A-CB

シート各部の調整は走行する前に行ってください。シートの調整はつぎの点に注意して行い、調整後は固定されていることを確認してください。



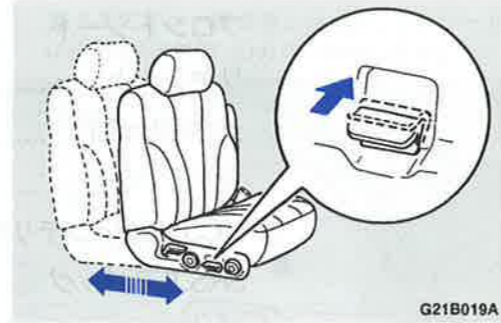
- 注意** ●走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり、運転操作ができなくなるおそれがあります。
- シートの調整は必ずおとなが行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 背もたれと背中との間にクッションなどを入れないでください。
- 走行中に同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。万一の場合、シートベルトの下を身体がすり抜けてシートベルトに首がかかり、けがをするおそれがあります。急ブレーキをかけたときなど危険です。
- 後方へシートを移動したり、背もたれを倒すときは後席の人に注意してください。

前後調整

JG21B-F

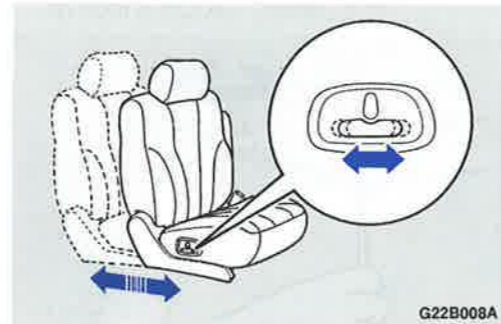
●手動式

レバーを引いたまま調整します。



●電動式

スイッチを前後に操作している間、作動します。

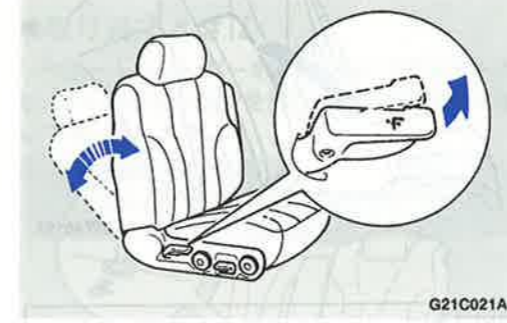


背もたれ角度調整

JG21C-H

●手動式

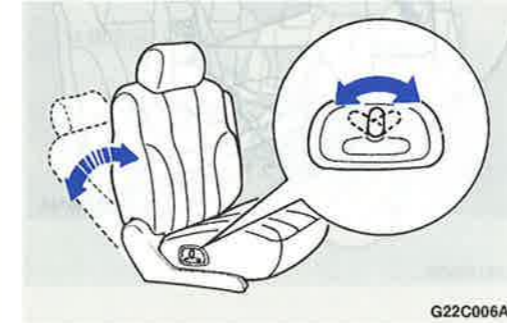
レバーを引いたまま調整します。



- 注意** ●レバーを操作するときは、背もたれに身体を添わせるか、手を添えて行ってください。背もたれが急に戻ると顔などに当たるおそれがあります。
- お子さまには操作させないでください。

●電動式

スイッチを操作している間、作動します。



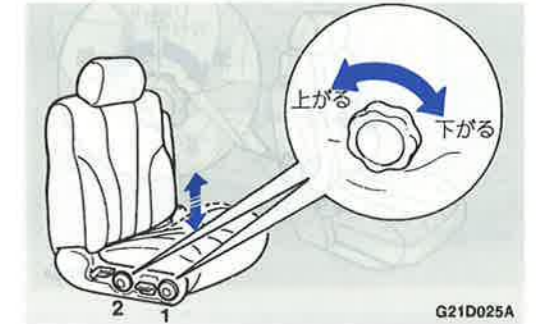
クッションの上下調整

JG21D-C

●手動式

ノブを回して調整します。

- 1 シートクッション前端的調整
- 2 シートクッション後端的調整

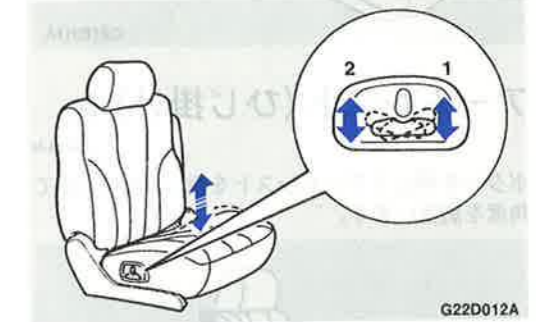


●電動式

スイッチを上下に操作している間、作動します。

- 1 前側を操作するとシートクッション前端が動きます。
- 2 後側を操作するとシートクッション後端が動きます。

スイッチ全体を上下させるとシートクッション全体が動きます。

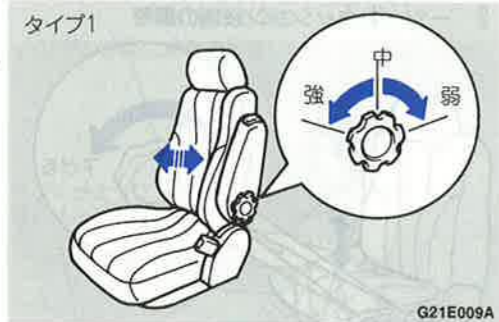


腰部硬さ調整 (ランバーサポート)

JG21E-D

運転席

背もたれの腰部の硬さを調整します。



アームレスト(ひじ掛け)★

JG27A-N

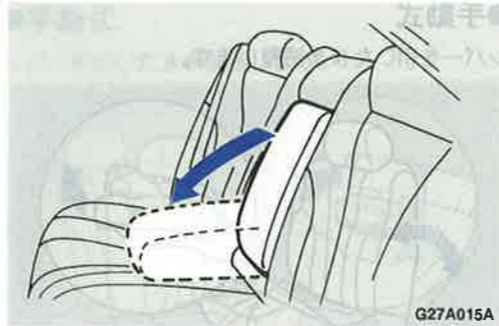
ボタンを押してアームレストを倒し、持ち上げて角度を調整します。



リヤシート

JG27A-P

アームレスト(ひじ掛け)

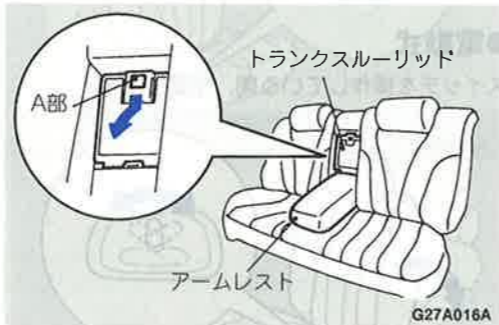


アドバイス ●アームレストを倒すと奥が小物入れとして使用できます。
→「シークレットボックス」P. 104

トランクスルーリッド

JG27C-A

アームレストを倒したあとA部を押し下げながら手前に引いてリッドを開いてください。車内から小物をトランクルーム内に出し入れするのに便利です。



リヤシートクッション

JG52D-B

リヤシートのシートクッションは取り外すことができます。シートカバーをつけるときなどにご利用ください。

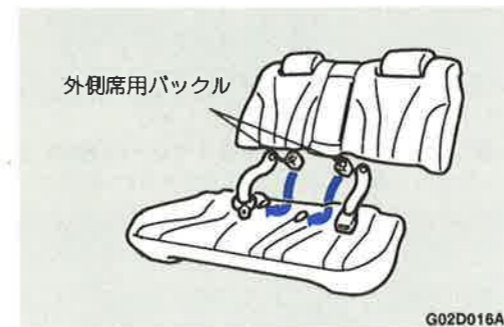
●取り外すときは

リヤシートストッパーを手前に引いてロックを外し、シートクッションを持ち上げながら手前に引いて取り外します。



●取り付けるときは

1. 外側席用のシートベルトのバックルはシートクッションの穴に通し、中央部席用のシートベルトとバックルはシートクッションの上に出します。



2. シートクッションを後方へいっぱい押し込みながら、シートクッション下側の固定用フックを左右の取り付け穴にカチッと音がするまで押し込みます。



注意 ●取り付け後は、シートクッションが確実に固定されていることを確認してください。

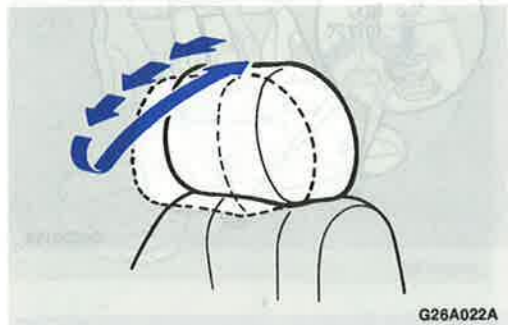
ヘッドレスト

JG26A-K

●前後調整

フロントシート

ヘッドレストを手前に引いて調整します。後ろに戻すときは、ヘッドレストを一度手前いっぱいまで引いて手を離します。

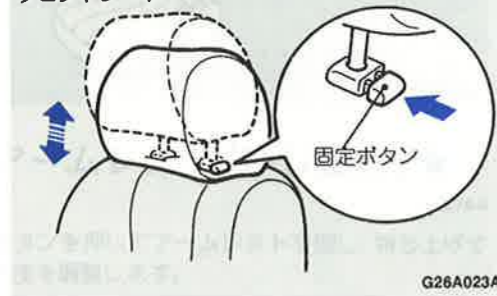


G26A022A

●上下調整

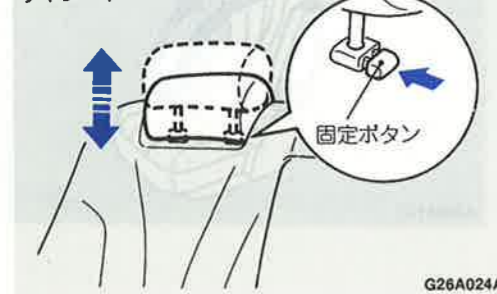
ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

フロントシート



G26A023A

リヤシート



G26A024A

●取り外し

JG26B-H

固定ボタンを押したまま、いっばいに引き上げて取り外します。取り付けるときは、固定ボタンを押しながら差し込みます。

- 注意**
- ヘッドレストを取り外したままで走行すると危険です。必ず取り付けてください。
 - 正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
 - ヘッドレストは前席用と後席用があります。間違えないように取り付けてください。



G26B003Z

シートベルト

シートベルト

JG28A-QA

シートベルトは万一の場合、運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法、注意を守り、運転する前に必ず装着してください。



G28A007E

- 注意**
- 肩ベルトは脇の下を通さないで、肩に十分かかるように装着してください。
 - 腰部のベルトは腹部にかけないでください。万一の場合、強い圧迫を受け危険です。
 - シートベルトはねじれないように装着してください。
 - 走行中に同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。万一の場合、シートベルトの下を身体がすり抜けてベルトが首にかかり、けがをすることがあります。
 - 妊娠中の女性や疾患のある方は、万一の場合、腹部などに強い力をうけるおそれがありますので、医師に相談のうえご使用ください。
 - ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。

- 処置**
- ほつれや切り傷ができた、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。
 - 万一事故にあつて、シートベルトに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱販売会社で点検を受けてください。
 - シートベルトを修理または交換する場合は三菱販売会社へご相談ください。

チャイルドシートを取り付けるときは

注意 ●お子さまはリヤシートに座らせてください。
シートベルトを着けたとき肩のベルトが首、あご、顔などに当たるようなときは三菱純正のチャイルドシートまたはジュニアシートを装着してください。



C31E002Z

●乳児は、シートベルトを直接使用しないでください。リヤシートにベビーベッドを装着してください。



G28B020Z

●チャイルドシートを装着するときは、チャイルドシートの取扱説明書に従い、正しく装着してください。
●チャイルドシートを購入するときは実際に装着し、確実に固定できるものを購入してください。

●助手席SRSエアバッグ付き車にチャイルドシートを取り付ける場合は、つぎのことをお守りください。
●後向きチャイルドシートは必ず後席に取り付けてください。
助手席に取り付けると助手席SRSエアバッグが膨らむとき、強い力が後向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられて大変危険です。



G28G051Z

●安全のため、チャイルドシートは後席へ取り付けることをおすすめしますが、やむをえず助手席へ前向きチャイルドシートを取り付ける場合は助手席をできるだけ一番うしろの位置にして取り付けてください。

3点式シートベルト

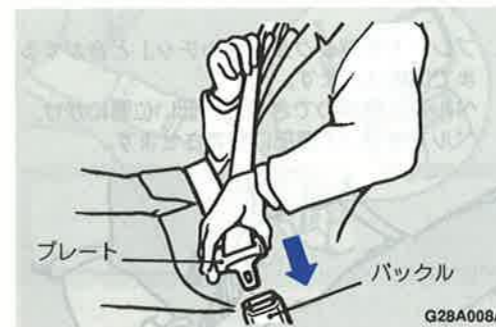
ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが強い衝撃を受けたときは、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

●着けるときは

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス ●シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてから戻し、再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後、プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。



G28A008A

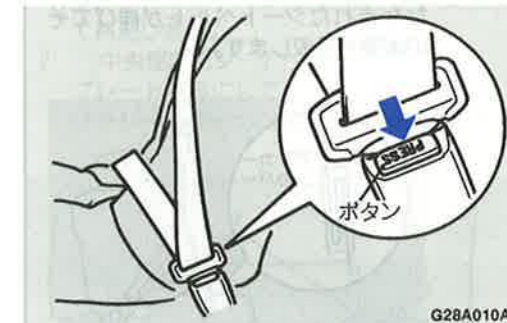
3. 腰部のベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、ベルトを引いて腰部に密着させます。



G28A009A

●外すときは

プレートを持ってバックルのボタンを押します。ベルトは自動的に巻き取られますので、プレートに手を添えて、ゆっくり戻してください。

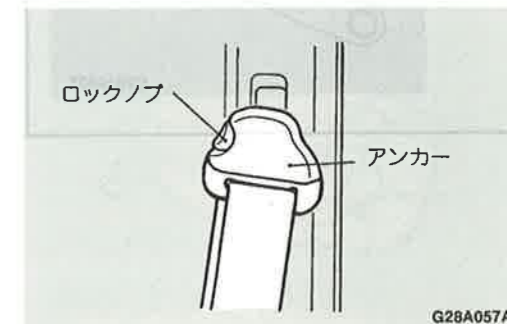


G28A010A

●ベルトが首、顔に当たるときは

アジャスタブルシートベルトアンカー

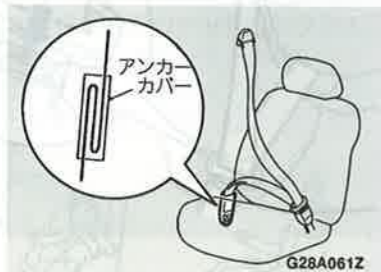
肩ベルトの高さを調整することができます。ベルトが首、顔に当たったり、肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。上げるときはアンカーをそのまま押し上げ、下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。調整後はアンカーが固定されていることを確認します。



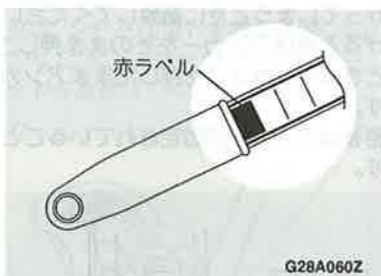
G28A057A



●前席のシートベルトは、アンカーカバー内にシートベルトが折りたたまれた状態で収納されています。前方からの強い衝撃を受けると折りたたまれたシートベルトが伸びてその衝撃を吸収します。



●「ベルトを交換してください」の赤ラベルが出たら、三菱販売会社で交換してください。

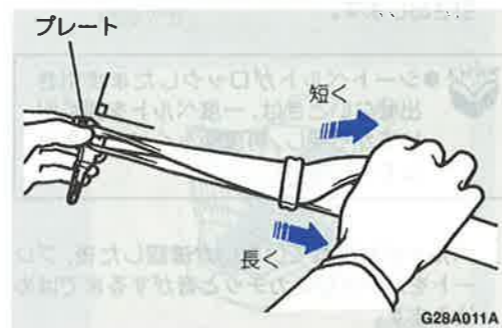


2点式シートベルト

体格に合わせてベルトの長さを調整します。

●着けるときは

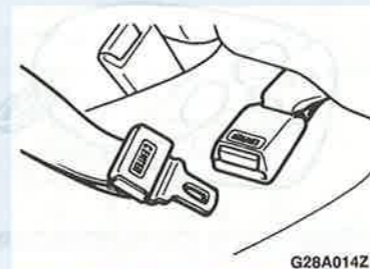
1. シートベルトがねじれていないか確認した後、ベルトをプレートと直角にして、ベルトを着けたときに腰部とベルトのあいだに手のひらが入る程度の長さに調整します。



2. プレートをバックルに「カチッ」と音がするまではめ込みます。ベルトは腰部のできるだけ低い位置にかけ、ベルトを引いて腰部に密着させます。

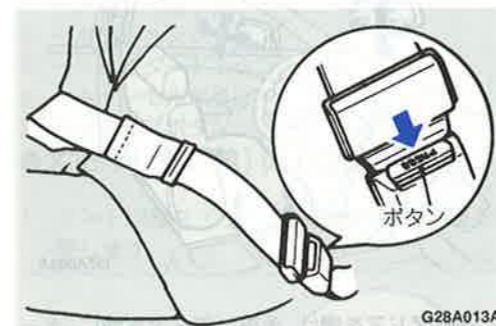


●センターベルトはバックルとプレートに「CENTER」と表示されていますので表示を確認して着けてください。



●外すときは

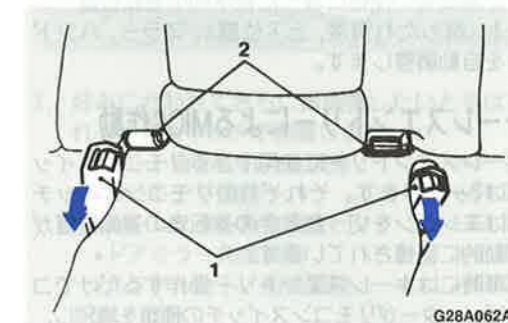
バックルのボタンを押します。



リヤシートベルトの格納のしかた

JG28E-EA

- 1 一外側席用バックル
リヤシートクッションのスリット穴に倒して格納します。
- 2 一中央部席用シートベルト
プレートを芯にしてシートベルトを巻き、リヤシートバックの格納部へ押し込みます。



MICS (三菱インテリジェント コクピットシステム)★

J137A-A

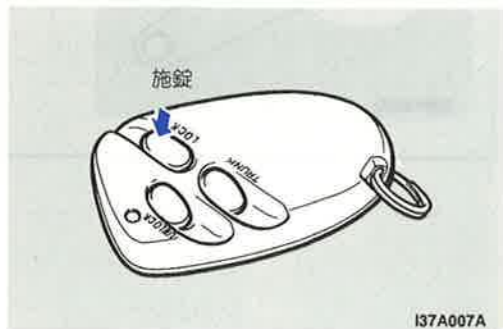
MICSとは運転者が交代するごとに必要な運転位置の調整のわずらわしさを軽減するため、ワンタッチ操作で最適な運転位置へシート、ミラー、ハンドルを自動調整する装置です。また、運転席シートの前後位置調整をするだけで、コンピューターが運転者の体格に合った標準的な運転位置へシート(背もたれ角度、上下位置)、ミラー、ハンドルを自動調整します。

キーレスエントリーによるMICS作動

キーレスエントリーに使用できるリモコンスイッチは2ヶあります。それぞれのリモコンスイッチにはエンジンを切ったときの運転者の運転位置が自動的に記憶されています。

乗車時にはキーレスエントリー操作するだけでコンピューターがリモコンスイッチの種類を識別し、そのリモコンスイッチが記憶した運転位置へ自動調整します。

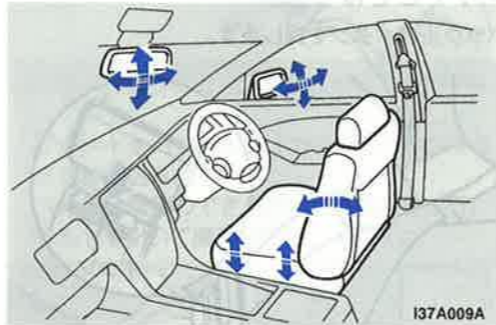
1. 降車時に、キーレスエントリーで施錠します。
「キーレスエントリー」→P. 16



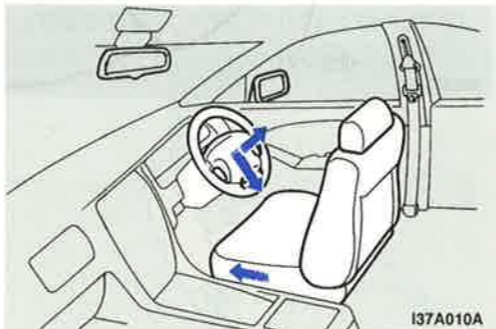
2. 乗車時に、キーレスエントリーで解錠します。



3. シートの背もたれ角度、および上下位置、ルームミラー、およびドアミラーが記憶した運転位置へ自動調整されます。



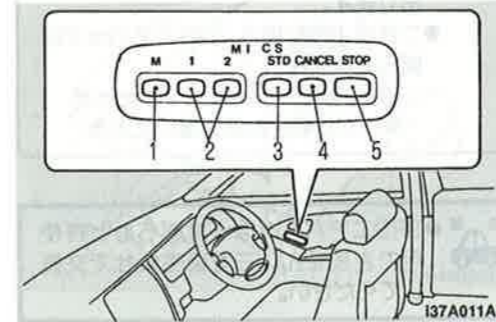
4. 運転席ドアを開け、乗車してドアを閉じ、キーを差し込むとシートの前後位置、ハンドルの上下位置、前後位置が記憶した運転位置へ自動調整されます。



パーソナルスイッチによるMICSの作動

パーソナルスイッチに運転者の運転位置をあらかじめメモリーしておくことによって、記憶した運転位置へ自動調整することができます。

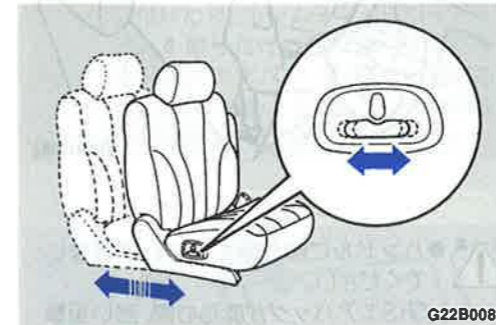
●パーソナルスイッチ



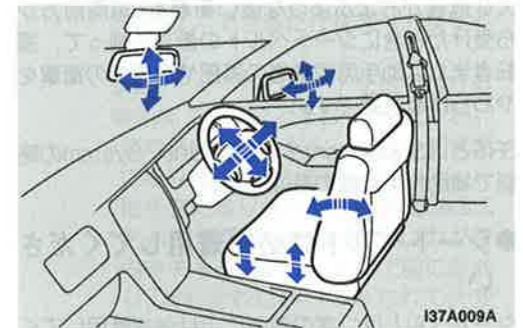
- 1 -メモリーボタン
- 2 -ポジションボタン
- 3 -スタンダードボタン
- 4 -キャンセルボタン
- 5 -ストップボタン

●メモリー(記憶)のしかた

1. シート調整スイッチで運転席の前後位置を調整します。



2. パーソナルスイッチのスタンダードボタン(3)を押します。
ブザーが「ピッ」と鳴り、シートの背もたれ角度、および上下位置、ルームミラー、およびドアミラー、ハンドルの上下位置、および前後位置をその人の体格に合った標準位置に自動調整します。



3. 好みに合わせてさらに微調整したいときはそれぞれのスイッチで調整します。

- シート背もたれ角度調整 →P. 27
- シート上下調整 →P. 27
- ルームミラー角度調整 →P. 82
- ドアミラー角度調整 →P. 83
- ハンドル上下/前後調整 →P. 81

4. パーソナルスイッチのメモリーボタン(1)を押し、表示灯が点灯している間にポジションボタン(2)のいずれか1つを押します。
5. 次回からはポジションボタン(2)を押すだけでボタンにメモリーされた運転位置に自動調整します。

注意 ●走行中はワンタッチ操作による自動調整はできません。調整は運転前に行ってください。
●後方へシートを下げるときは、後席の人に注意してください。

●MICS機能を停止したいとき

キーの抜き差しに伴うハンドルの上下、シートの移動がわずらわしいとき、ミラーの角度は変えずに背もたれ角度だけ調整したいときなどは、パーソナルスイッチのキャンセルボタン(4)を押してください。

●自動調整を途中で止めたいとき

手や足をはさみそうになったときなど緊急時にはパーソナルスイッチのストップボタン(5)を押してください。

SRSエアバッグ★

JG28G-DB

SRSエアバッグは、運転者又は助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を、車両前方から受けたときにシートベルトの働きを補って、運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

●シートベルトは必ず着用してください

シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。

1. SRSエアバッグが膨らんだとき、シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
2. SRSエアバッグが作動しないときでも、シートベルトによりけがを軽減することができます。
3. シートベルト着用により車外にほうり出されるのを防ぎます。

●シートは正しい位置に調整してください

事故のとき、SRSエアバッグはあなたを守るために瞬時にかなりの強さで膨らみます。この場合、正しい運転姿勢で正しい位置に座っていないとSRSエアバッグによってけがをするおそれがあります。

走行中はシートに深く腰かけ、背もたれに背中をつけてください。

注意 ●SRSエアバッグは膨らんだ後は高温になりますのでさわらないでください。

- アドバイス**
- SRSエアバッグが膨らむとき白煙が出ますが人体に影響はありません。
 - 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
 - 車両前方からの衝撃が弱いときは、SRSエアバッグは膨らまないことがあります。
 - つぎのような場合、SRSエアバッグは膨らみません。
 - ・側面、後方から衝撃を受けたとき
 - ・車両が横転または転覆したとき

処置 ●SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱販売会社で交換してください。

運転席SRSエアバッグ★

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。

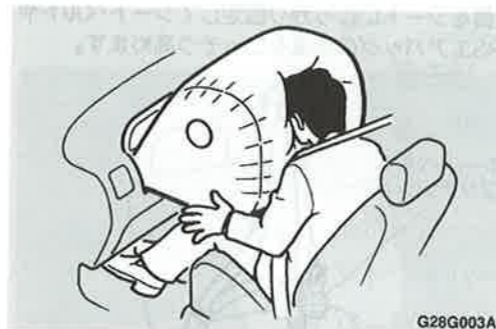


G28G008A

- 注意**
- ハンドルに顔や胸を近づけすぎないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ハンドルの交換や、パッドにステッカーを貼ったり、カバーを付けることはしないでください。SRSエアバッグが正常に働かなくなります。

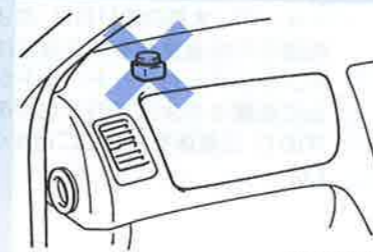
助手席SRSエアバッグ★

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。



G28G003A

- 注意**
- 助手席同乗者はインストルメントパネルに手や足を乗せたり、顔を近づけたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - インストルメントパネルの上に物を置いたり、ステッカー等を貼らないでください。また、前面ガラスにアクセサリを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむのを妨げたり、膨らむときにこれらの物が飛んでけがをするおそれがあります。



G28G049Z

- 小さいお子さまはチャイルドシートを使用し、できるだけ後席へお乗せください。また、チャイルドシートを取り付ける場合は、つぎのことをお守りください。
 - 後向きチャイルドシートは必ず後席に取り付けてください。助手席に取り付けると助手席SRSエアバッグが膨らむとき、強い力が後向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられて大変危険です。

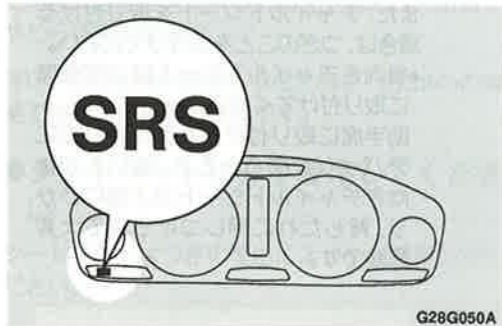


G28G051Z

- 安全のため、チャイルドシートは後席へ取り付けることをおすすめしますが、やむをえず助手席へ前向きチャイルドシートを取り付ける場合は助手席をできるだけ一番うしろの位置にして取り付けてください。

SRSエアバッグ警告灯

SRSエアバッグが正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。



G28G050A

- 注意** ●警告灯がつぎのようになったときはSRSエアバッグの異常が考えられます。三菱販売会社で点検を受けてください。
- ・エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない。
 - ・走行中に警告灯が点灯する。

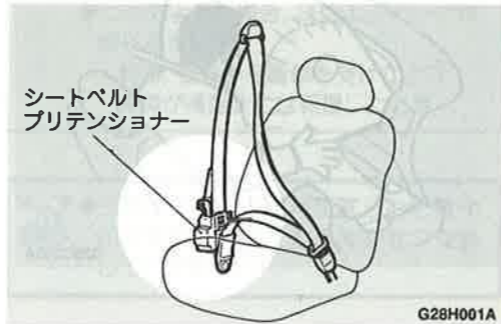
車を修理するとき、廃車するときは

1. ハンドル回り、インストルメントパネル、フロアコンソール付近の修理、カーオーディオ等の取り付け、および車両前部の塗装をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響をおよぼすおそれがありますので、三菱販売会社にご相談ください。
2. 車をゆずられるときはSRSエアバッグ装着車であることを説明し、取扱説明書を車につけておいてください。
3. 廃車するときは三菱販売会社へご相談ください。

プリテンショナー付シートベルト★

JG28H-B

プリテンショナー付シートベルトは、運転席および助手席に装備されており、前方からの強い衝撃を受けると作動します。これによりシートベルトを瞬時に引き込み、前乗員をシートにしっかりと固定してシートベルトやSRSエアバッグの効果をいっそう高めます。



G28H001A

- 注意** ●プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。三菱販売会社で交換してください。

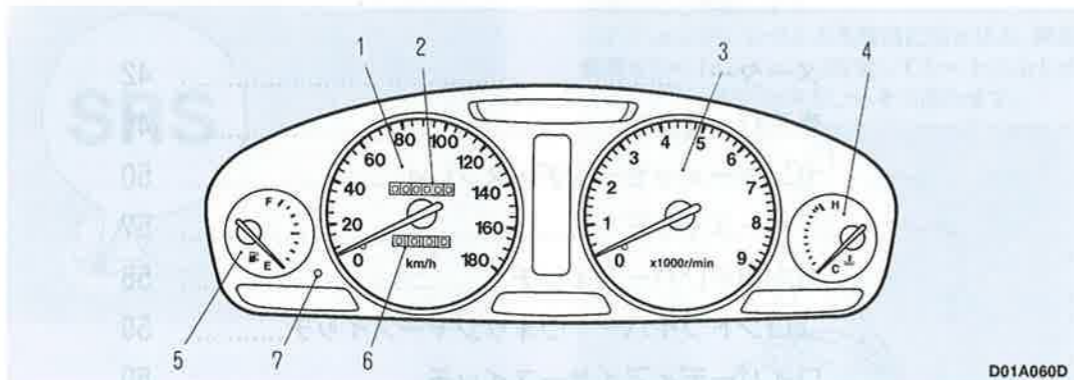
- 注意** ●プリテンショナー付シートベルトは絶対に取り外さないでください。
- プリテンショナー付シートベルトやセンターコンソール付近の修理、カーオーディオ等の取り付け、および車両前部の板金塗装をする場合はプリテンショナー付シートベルトシステムに影響をおよぼすおそれがありますので、三菱販売会社にご相談ください。

メーター・スイッチ

メーター	42
表示灯・警告灯	45
センターメッセージディスプレイ	50
ライトスイッチ	57
方向指示レバースイッチ	58
フロントワイパー・ウォッシャースイッチ	59
ワイパーディアイサースイッチ	60
リヤワイパー・ウォッシャースイッチ	61
ヘッドランプウォッシャースイッチ	61
フォグランプスイッチ	62
非常点滅灯スイッチ	62
メーター照度調節ダイヤル	63
リヤウインドウデフォグガー(曇り取り)スイッチ	63

メーター

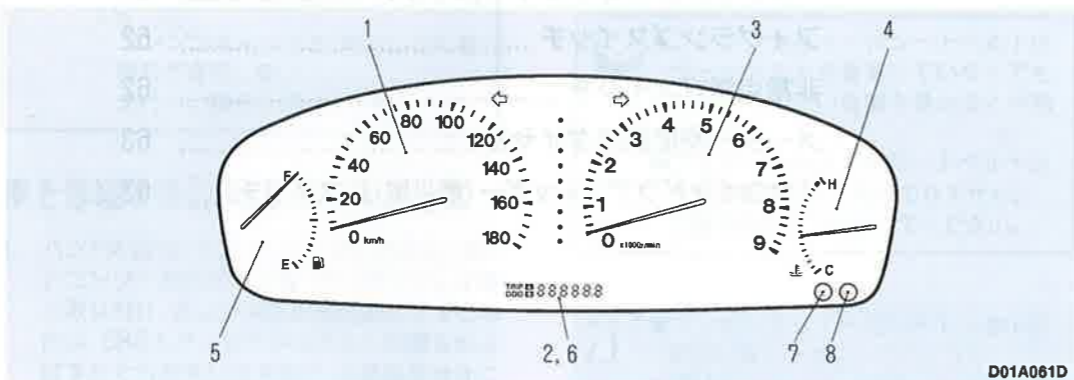
標準メーター



JD01AAP

D01A060D

ハイコントラストメーター



D01A061D

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 - スピードメーター | 5 - 燃料計 |
| 2 - オドメーター (積算距離計) | 6 - トリップメーター (区間距離計) |
| 3 - タコメーター | 7 - リセットボタン |
| 4 - 水温計 | 8 - 昼間減光スイッチ |

スピードメーター

JD03A-I

走行速度を示します。

タコメーター

JD04A-D

毎分のエンジン回転数を示します。

注意 ●指針がレッドゾーン (赤色表示部) にはならないようにしてください。

オドメーター (積算距離計)

JD03B-I

4速オートマチック車

走行した総距離をkm単位で表示します。

トリップメーター (区間距離計)

JD03D-H

4速オートマチック車

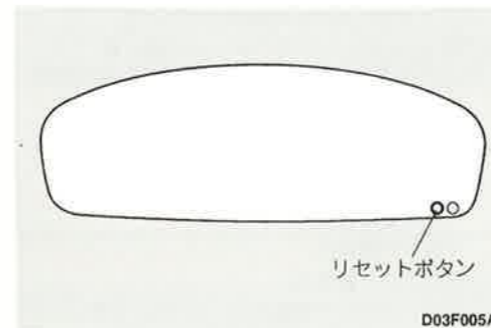
2地点間の走行距離をkm単位で表示します。表示を0に戻すときはリセットボタンを押します。

オドメーター (積算距離計), トリップメーター (区間距離計)

JD03F-E

5速オートマチック車

エンジンスイッチがONのとき、ODO (オドメーター)、またはTRIP (トリップメーター) を表示します。リセットボタンを押すたびに表示が切り換わります。



D03F005A



D03F004A

ODO (オドメーター) : 走行した総距離をkm単位で表示します。

TRIP (トリップメーター) : 2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

TRIP **A** と TRIP **B** があります。

<例>
TRIP **A** で自宅を出発してからの距離を測りながら、TRIP **B** で途中の経由地からの距離を測ることができます。

0に戻すにはリセットボタンを2秒以上押します。この場合、表示されている方だけリセットされます。

<例>
TRIP **A** が表示されていればTRIP **A** だけリセットされます。

水温計

JD06A-H

エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。

注意 ●指針が目盛りの赤色表示部を指したときはオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に車を止め、処置してください。
→「オーバーヒートしたときは」P. 158

燃料計

JD05A-L

燃料の残量を示します。

F—満タンです。

(2WD車：約72L, 4WD車：約70L)

E—燃料を補給してください。



- エンジンスイッチをOFFにしても燃料の残量を示しています。(除く、ハイコントラストメーター)
- 燃料補給後、エンジンスイッチをONにしてから正しい残量を示すまでにしばらく時間がかかります。



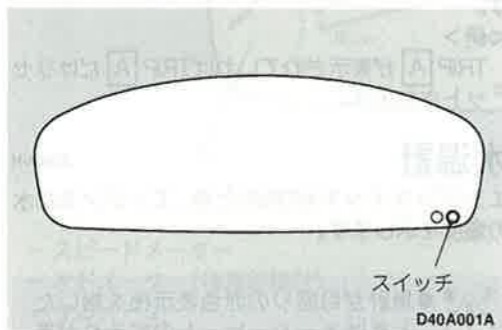
- 燃料が非常に少ない状態のまま走行を続けると触媒装置に悪影響を与えます。できるだけ早めに補給してください。

昼間減光スイッチ

JD40A-A

5速オートマチック車

スイッチを押すとメーター照明が暗くなります。もう一度押すと元の明るさに戻ります。



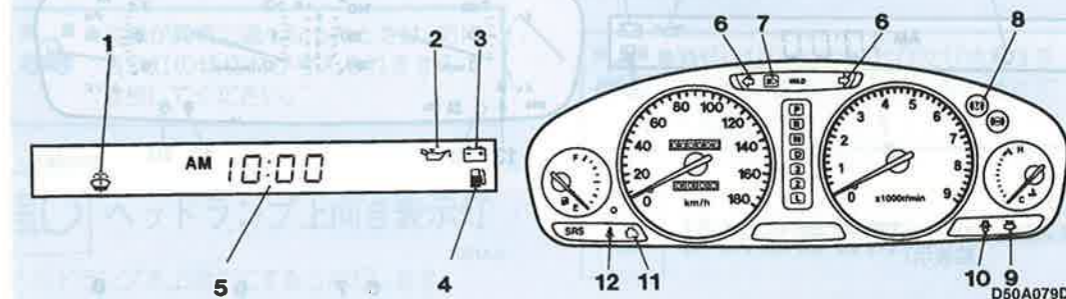
- 雨の日や曇りの日など、メーター照明の明るさが気になるときにご使用ください。

JD50AAPB

表示灯・警告灯

4速オートマチック車

センターウォーニングディスプレイ



- 1 —ウォッシャー液残量警告灯★
- 2 —油圧警告灯
- 3 —充電警告灯
- 4 —燃料残量警告灯
- 5 —時計 →「時計」P. 102
- 6 —方向指示表示灯/非常点滅表示灯

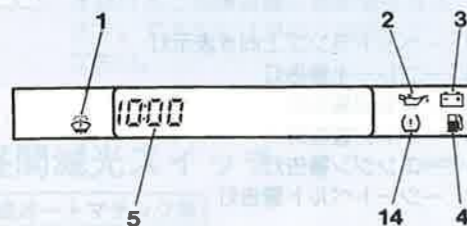
- 7 —ヘッドランプ上向き表示灯
- 8 —ブレーキ警告灯
- 9 —排気温警告灯
- 10 —半ドア警告灯
- 11 —エンジン警告灯
- 12 —シートベルト警告灯

5速オートマチック車

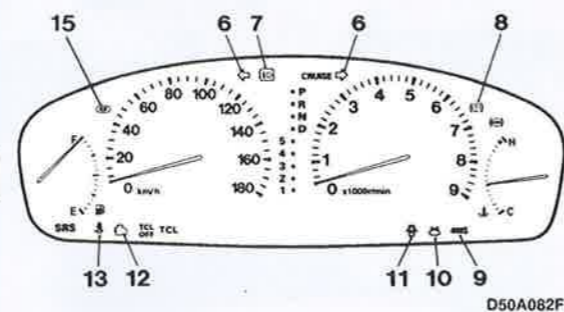
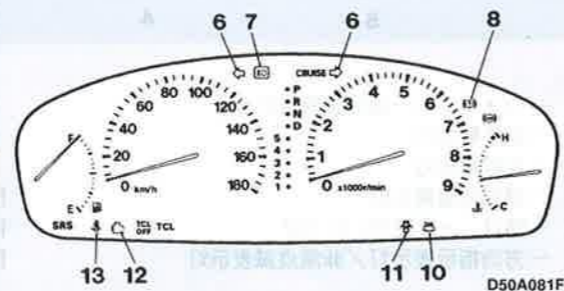
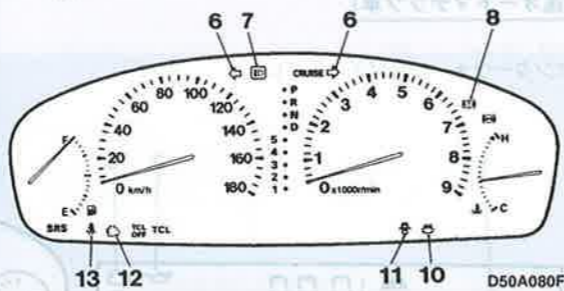
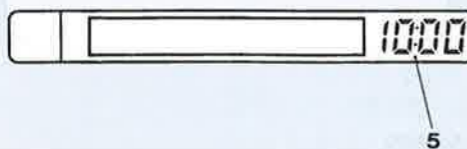
Aタイプ
センターウォーニングディスプレイ



Bタイプ
センターメッセージディスプレイ
(絵表示)



Cタイプ
センターメッセージディスプレイ
(文字表示)



- 1 - ウォッシャー液残量警告灯★
- 2 - 油圧警告灯
- 3 - 充電警告灯
- 4 - 燃料残量警告灯
- 5 - 時計 → 「時計」P. 102
- 6 - 方向指示表示灯/非常点滅表示灯
- 7 - ヘッドランプ上向き表示灯
- 8 - ブレーキ警告灯
- 9 - 4WS警告灯 [4WS付き車]
- 10 - 排気温警告灯
- 11 - 半ドア警告灯
- 12 - エンジン警告灯
- 13 - シートベルト警告灯
- 14 - タイヤ空気圧警告灯
- 15 - 車間距離警報システム表示灯★

表示灯

JD52A-DA

方向指示表示灯

方向指示レバー、非常点滅灯を作動させると点滅します。

●点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の球切れが考えられますので点検してください。

ヘッドランプ上向き表示灯

JD51A-B

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。

警告灯

ブレーキ警告灯

JD23A-HB

つぎのようなときに点灯します。

1. 駐車ブレーキをかけたままのとき
2. ブレーキ液が不足しているとき

●駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないときは、ただちに三菱販売会社へご連絡ください。

●走行中に点灯したときは、ブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので、つぎの処置により車を安全な場所に止めて三菱販売会社へご連絡ください。

- ・ブレーキの効きが悪い場合は、通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
- ・万一、ブレーキが効かないときは、エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。

このとき後続車に注意をうながすため、ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

●急に駐車ブレーキをかけると車輪がロックすることがあり危険です。

4WS 4WS警告灯 [4WS付き車]

JD24A-EA

4WS制御装置に異常があると点灯します。正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

●消灯しないときや、たびたび点灯するときは三菱販売会社で点検を受けてください。

排気温警告灯

JD80A-AB


エンジン回転中、触媒装置の温度が異常に高くなると点灯します。正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

●走行中に点灯したときは、消灯するまで速度を約半分に落としてください。消灯したらもとのように走行できます。

- 速度を落としても消灯しないときは、車の下に枯れ草など燃えやすいものが無い安全な場所に停車し、エンジンを止めて冷やしてください。再びエンジンをかけて消灯すれば、もとのように走行できます。
- 消灯しない、または再び点灯するときは、そのまま使用せず三菱販売会社で点検を受けてください。


●枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。火災になるおそれがあります。

●エンジン回転中、「充電警告灯」と「排気温警告灯」が同時に点灯したときは、触媒の温度上昇を警告しているのではなく、充電装置の異常を警告しています。

 **半ドア警告灯** JD28A-BA


ドアが完全に開められていないときに点灯します。

注意 ●走行する前に、警告灯が消灯していることを確認してください。


 **エンジン警告灯** JD85A-EA

エンジン制御装置に異常があると点灯します。正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

処置 ●エンジン回転中に点灯したときは、高速走行を避けてただちに三菱販売会社で点検を受けてください。

 **シートベルト警告灯** JD27A-CA

エンジンスイッチをONにすると点灯し、運転席シートベルトを装着すると消灯します。

 **ウォッシャー液残量警告灯★** JD79A-HA

ウォッシャー液が不足すると点灯します。早めにウォッシャー液を補給してください。

アドバイス ●ヘッドランプウォッシャー付き車はヘッドランプウォッシャーの液量も点検し、不足しているときはタンクの注入口まで補給してください。

 **油圧警告灯** JD25A-CA


エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

処置 ●エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

→別冊の「メンテナンスノート (整備手帳)」参照


●エンジンオイル量が正常で点灯するときは、三菱販売会社へご連絡ください。

●油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

 **充電警告灯** JD54A-HA


充電系統に異常があると点灯します。正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

処置 ●エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、三菱販売会社へご連絡ください。

 **燃料残量警告灯** JD63A-V

燃料が約8L以下になると点灯します。警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。→「ヒューエルリッド(燃料補給口)」P. 21 →「燃料」P. 164

注意 ●燃料が非常に少ない状態のまま走行を続けると触媒装置に悪影響を与えます。できるだけ早めに補給してください。

 **タイヤ空気圧警告灯★** JD86A-AB

走行中にタイヤの空気圧が大きく低下すると点灯します。正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

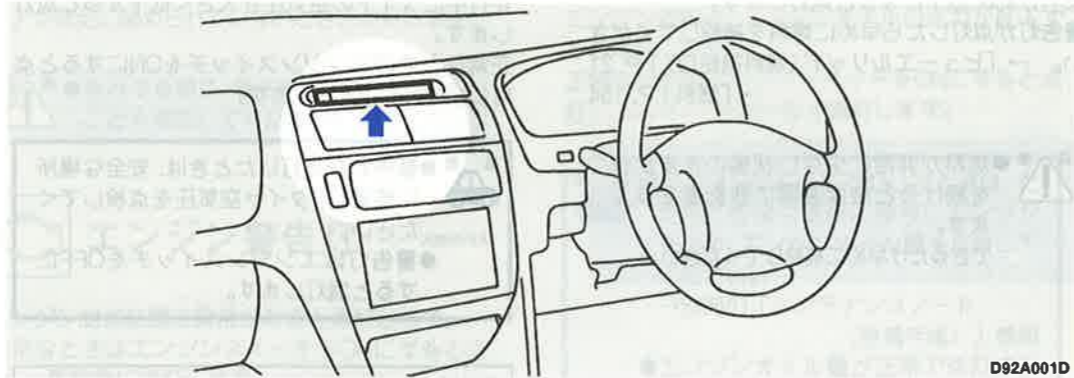
処置 ●警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、タイヤ空気圧を点検してください。●警告灯はエンジンスイッチをOFFにすると消灯します。

アドバイス ●走行前にはタイヤの空気圧を点検してください。●応急用タイヤを装着したときは点灯します。●つぎのようなときには点灯することがあります。●異なるサイズ、種類のタイヤを装着しているとき
タイヤは規定のサイズ、同じ種類のものを装着してください。●雪道などの滑りやすい路面を走行しているとき●つぎのようなときには点灯しません。●車速が約30Km/h以下のとき●停車しているとき●山間地走行時などで頻りにハンドル操作を行っているとき●加速・減速を繰り返すような走行をしているとき●じゃり道や舗装されていない道路などの悪路を走行しているとき

センターメッセージディスプレイ★

JD92A-A

センターメッセージディスプレイは絵表示タイプと文字表示タイプがあり、各種警告灯、航続距離、瞬間燃費、方位計などを表示します。

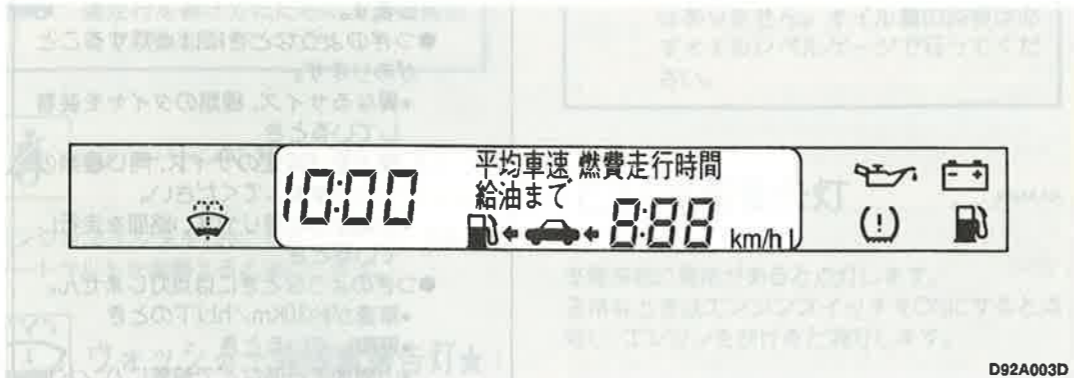


D92A001D

絵表示タイプ

JD92A-B

航続距離、瞬間燃費、走行時間、平均車速を絵で表示します。



D92A003D

●MODEスイッチ切り換え

JD92G-A

スイッチを押すごとに表示内容が切り換わります。



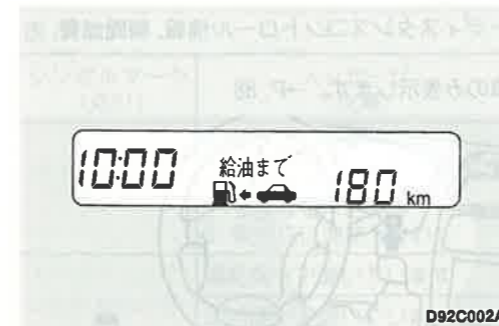
D92C001D

●航続距離

JD92C-A

エンジンスイッチがONのとき、残りの燃料で走行できる航続距離(あと何km走行できるか)を表示します。

- アドバイス**
- 燃料が約8L以下または航続距離が50km以下になると「---」の点滅表示になります。早めに燃料を補給してください。
 - エンジンをかけたまま長時間停車した場合「---」を表示します。
 - 航続距離は走行状態(道路状況、運転のしかたなど)により変化します。



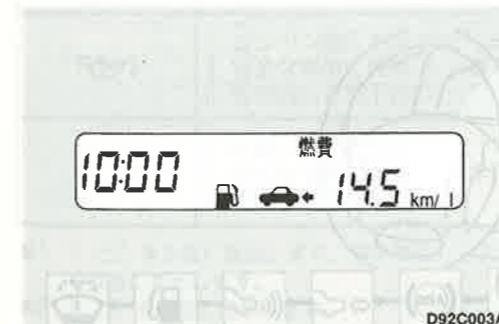
D92C002A

●瞬間燃費

JD92D-A

エンジンスイッチがONのとき、現時点の燃費を表示します。

- アドバイス**
- 瞬間燃費は走行状態(道路状況、運転のしかたなど)により変化します。



D92C003A

●走行時間

JD92E-A

エンジンスイッチがONのとき、エンジンスイッチをONにしたときから現在までの経過時間を表示します。

- アドバイス**
- 最大表示時間は、9時間59分です。
 - エンジンスイッチをOFFにすると表示はリセットされます。



D92C005A

●平均車速

JD92F-A

エンジンスイッチがONのとき、エンジンスイッチをONにしたときから現在までの平均車速を表示します。

- アドバイス**
- エンジンスイッチをOFFにすると表示はリセットされます。



D92C004A

文字表示タイプ

JD92A-C

各種警告灯、航続距離、瞬間燃費などをメッセージで表示をします。エンジンスイッチをONにすると自動的に航続距離、瞬間燃費、方位計、走行時間、平均車速を順番に表示します。

その後はエンジンスイッチをOFFにする前の内容を表示します。



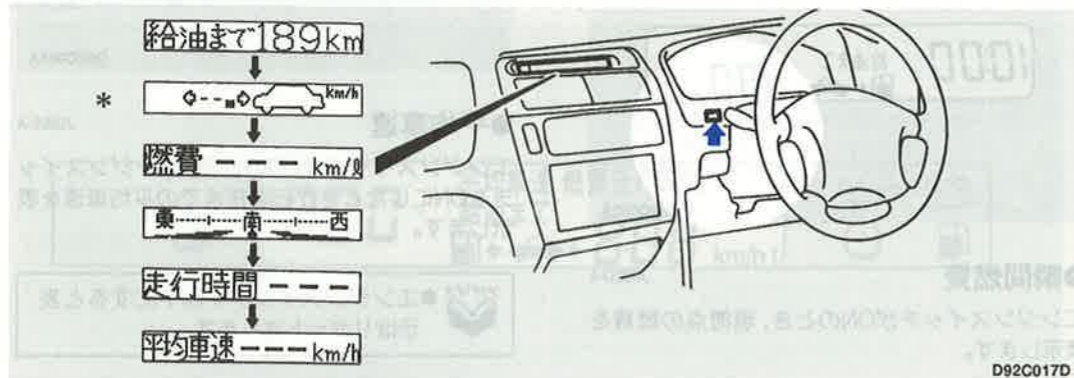
D92A004D

●MODEスイッチ切り換え

JD92G-BB

- スイッチを押すごとに給油までの航続距離、プレビューディスタンスコントロール情報、瞬間燃費、方位計、走行時間、平均車速の表示が切り換わります。

備考：*はプレビューディスタンスコントロール付き車のみ表示します。→P. 88



D92C017D

- スイッチを2秒以上押し続けると全警告項目を順番に表示します。

備考：*の警告内容はプレビューディスタンスコントロール付き車のみ表示します。→P. 88

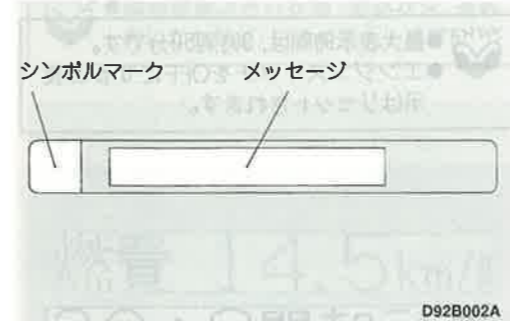


D92B005D

●警告灯

JD92B-AA

エンジンスイッチがONのとき、異常箇所があると、警告内容をシンボルマークとメッセージで表示します。



D92B002A

シンボルマーク (点灯)	メッセージ (点滅)
(!)	駐車ブレーキ解除下さい 1. ブレーキ液が不足です 2. 安全な場所に停車 3. 販売店に連絡下さい *1
🚪	運転席ドア開いています 助手席ドア開いています 右後席ドア開いています 左後席ドア開いています
🚗	1. エンジンが不調です *2 2. 販売店に連絡下さい
(!)	タイヤ圧点検してください
🛢	1. エンジン油圧不足です *1 2. 安全な場所に停車 3. 販売店に連絡下さい
🔋	1. 充電していません *1 2. 安全な場所に停車 3. 販売店に連絡下さい

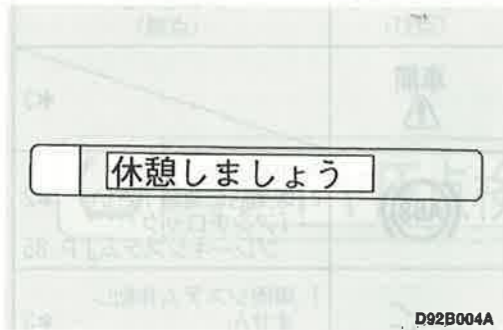
*1 1.と2.を交互に表示します。停車時は1.と3.を交互に表示します。

*2 1.と2.を交互に表示します。

シンボルマーク (点灯)	メッセージ (点滅)
🚗	*3
(ABS)	1. ABS作動しません 2. 販売店に連絡下さい *2 →「アンチロックブレーキシステム」P. 85
🚗	1. 車間システム作動しません *3 2. 販売店に連絡下さい
🚗	レーザー一部を清掃下さい *3
🚰	給油しましょう
🛏	休憩しましょう
🚗	

*2 1.と2.を交互に表示します。
*3 車間距離制御システム付き車のみ表示。詳しくは「プレビューディスタンスコントロール(車間距離制御システム)」の項をお読みください。→P. 88

「休憩しましょう」表示



エンジンスイッチをONにしてから約2時間後に表示されます。

アドバイス ●長時間運転をするときは2時間に1回は休憩をとりましょう。

その他の警告灯については「表示灯・警告灯」をご覧ください。 →P. 47, 48, 49

●航続距離 JD92C-A

エンジンスイッチがONのとき、残りの燃料で走行できる航続距離(あと何km走行できるか)を表示します。

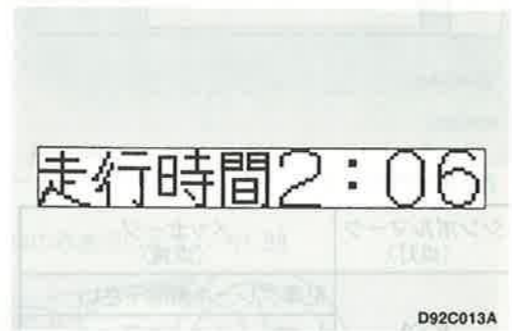
アドバイス ●燃料が約8L以下または航続距離が50km以下になると --- の点滅表示になります。早めに燃料を補給してください。 ●エンジンをかけたまま長時間停車した場合 --- を表示します。 ●航続距離は走行状態(道路状況、運転のしかたなど)により変化します。



●走行時間 JD92E-A

エンジンスイッチがONのとき、エンジンスイッチをONにしたときから現在までの経過時間を表示します。

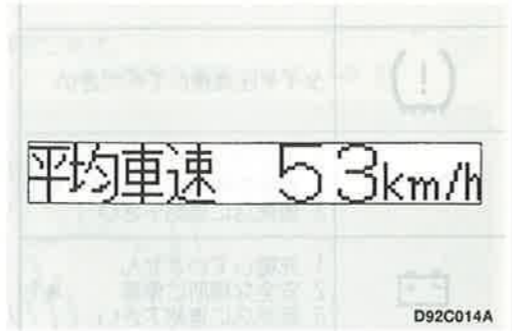
アドバイス ●最大表示時間は、9時間59分です。 ●エンジンスイッチをOFFにすると表示はリセットされます。



●平均車速 JD92F-A

エンジンスイッチがONのとき、エンジンスイッチをONにしたときから現在までの平均車速を表示します。

アドバイス ●エンジンスイッチをOFFにすると表示はリセットされます。



●瞬間燃費 JD92D-A

エンジンスイッチがONのとき、現時点の燃費を表示します。

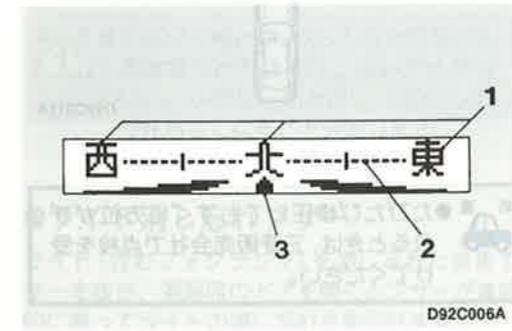
アドバイス ●瞬間燃費は走行状態(道路状況、運転のしかたなど)により変化します。



●方位計 JD11C-G

(除く、MMCS付き車)

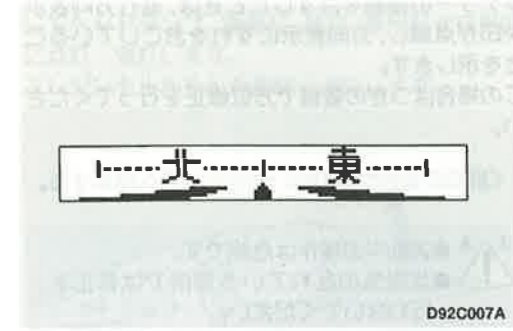
エンジンスイッチがONのとき、車両の向いている方向を16方位で示します。



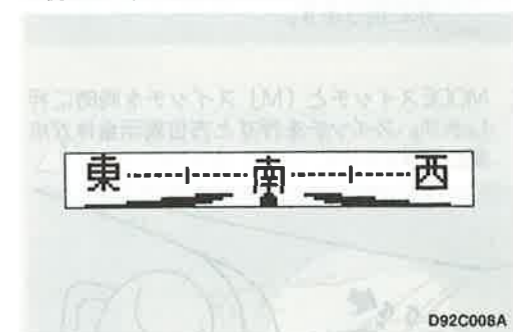
- 1 一方向表示
2 一目盛り(1目盛りは45度です。)
3 一進行方向表示矢印

方位計の見方

<例1> 車両が北東を向いているときの表示



<例2> 車両が真南を向いているときの表示



注意 ●磁石で取り付けるタイプのスキーキャリア、アンテナなどは装着しないでください。方位計が正しく働かなくなります。

アドバイス ●つぎのような地磁気が乱れている場所では方位計が正しい方位を示さないことがあります。
・トンネル内 ・線路沿い
・高架下 ・変電所近く
・ビル街 ・地下鉄の上など
地磁気が安定した場所に車を移動すれば方位計は再び正しい方位を示します。万一、方位計が正しい方位を示さない場合は方位修正を行ってください。

方位修正のしかた

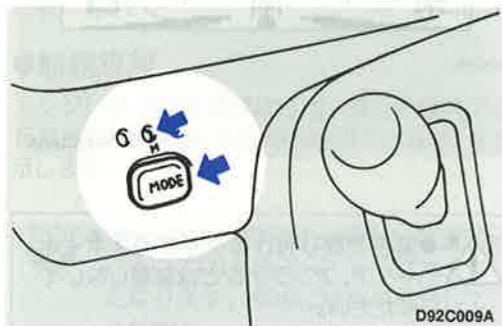
車体着磁(車体が磁気をおびること)の場合や、バッテリーの接続をはずしたときは、進行方向表示矢印が点滅し、方向表示にずれをおこしていることを示します。

この場合はつぎの要領で方位修正を行ってください。

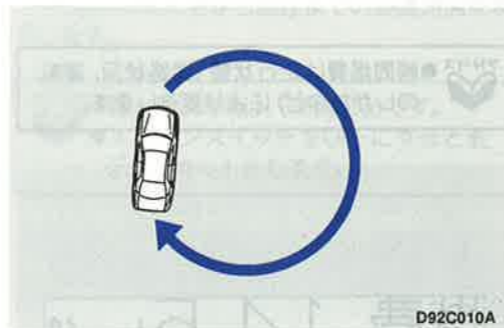
1. 近くに建物や車のない安全な場所へ停車する。

- 注意**
- 運転中の操作は危険です。
 - 地磁気の乱れている場所では修正を行わないでください。
 - 誤操作したときは、一旦エンジンを止めてもう一度かけ直すと、元の方位表示に戻ります。

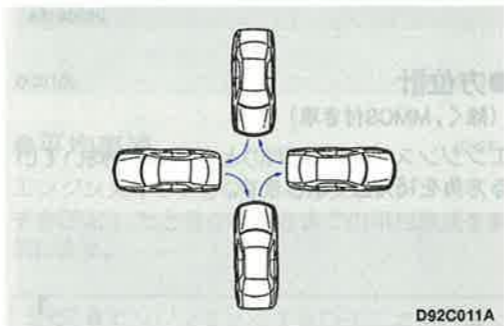
2. MODEスイッチと「M」スイッチを同時に押します。スイッチを押すと方位表示全体が点滅します。



3. 車をゆっくり360度以上回転させます。方位表示が点滅から点灯に変わると方位修正は完了し、正しい方位を示します。



回転する適当な場所がないときは、切りかえしで車を1回転させてください。(左右どちらまわりでも修正できます。)



- 注意**
- たびたび修正してもすぐに方位がずれるときは、三菱販売会社で点検を受けてください。

スイッチ

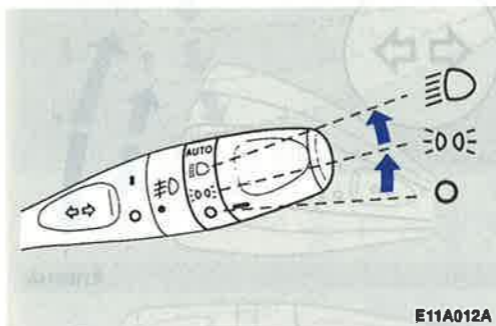
ライトスイッチ

JE31A-CA

手動点灯・消灯

ツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ランプ名称	☾	☼	○
ヘッドランプ	○	—	—
車幅灯	○	○	—
尾灯	○	○	—
番号灯	○	○	—
計器類照明灯	○	○	—



- 注意**
- エンジン停止時、ヘッドランプなどを長時間つけたままにしないでください。バッテリーが上がり、エンジンがかからなくなることがあります。

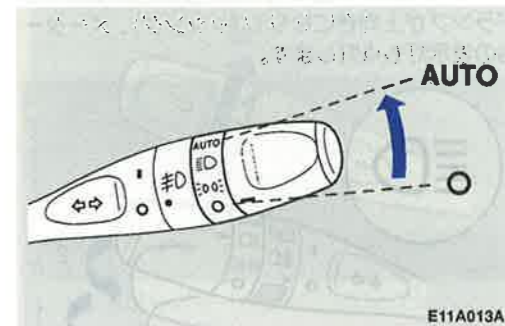
●ライト消し忘れブザー

ライト(含むフォグランプ)を消し忘れたままでキーを抜き、運転席のドアを開くとブザーが連続的に鳴ってライトの消し忘れを知らせます。

自動点灯・消灯

ツマミをAUTO位置にします。車外の明るさに応じてヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動的に点灯・消灯します。

エンジンを止めると自動的に消灯します。



- 注意**
- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないようにしてください。

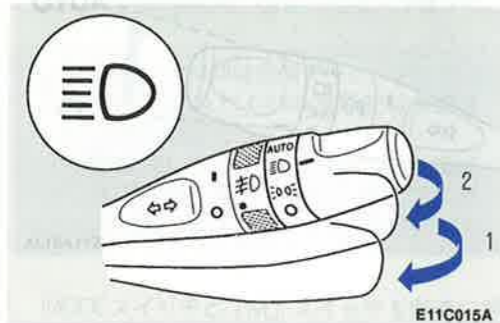


- 注意**
- AUTOの位置で点灯、消灯しないときは、手動でスイッチを操作し、三菱販売会社で点検を受けてください。

上下切り換え・追い越し合図 (パッシング)

JE11B-EA

レバーを(1)まで引くたびにヘッドランプの照らす方向が上向き、下向きと交互に切り換わります。レバーを(2)まで軽く引くと、引いている間ヘッドランプが上向きになり(パッシング)、メーター内の表示灯も点灯します。



E11C015A

- 1 上下切り換え
- 2 追い越し合図 (パッシング)

アドバイス ●追い越し合図(パッシング)はライトスイッチがOFFでも使用できます。

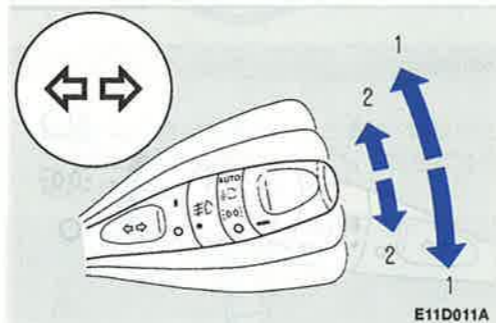
方向指示レバースイッチ

JE11D-BA

エンジンスイッチがONのときにレバーを(1)まで操作すると、方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。

車線変更などのときは、レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



E11D011A

- 1 方向指示
- 2 車線変更

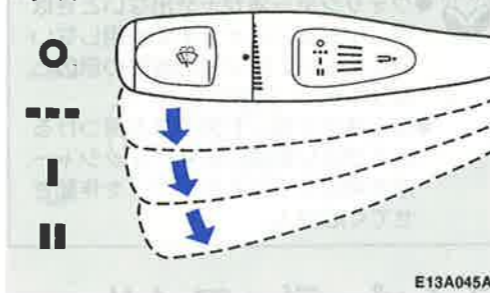
フロントワイパー・ウォッシャースイッチ

JE13A-N

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

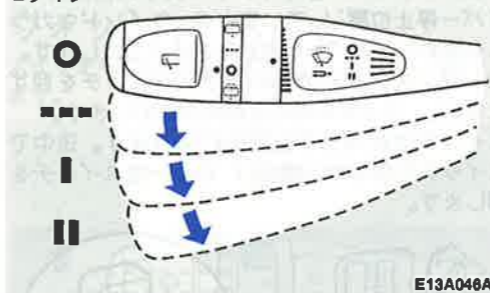
ワイパースイッチ

Aタイプ



E13A045A

Bタイプ



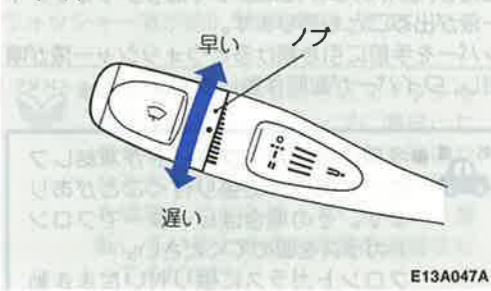
E13A046A

- 一停止
- 一車速感応
車速に応じて間けつ時間を自動的に調整します。
- I 一低速作動
- II 一高速作動

間けつ時間の設定のしかた

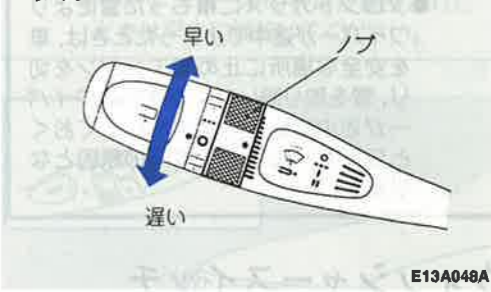
レバーが--- 位置のときにノブを回して調整します。

Aタイプ



E13A047A

Bタイプ



E13A048A

●ワイパーミスト機能

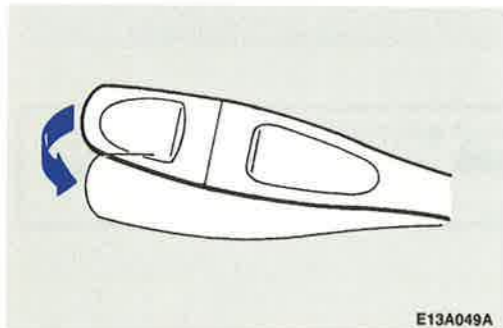
レバーを手前に引く(約0.6秒以下)とワイパーが1回作動します。霧雨のときなど1回だけワイパーを作動させたいときにご使用ください。ただし、操作のしかたによっては多少ウォッシャー液が出ることもあります。レバーを手前に引き続けるとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

処置 ●冬期にワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり、ワイパーモーター故障の原因となります。

●フロントガラスに積もった雪によりワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてエンジンを切り、雪を取り除いてください。ワイパーが途中で止まったままにしておくとワイパーモーター故障の原因となります。

ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。ワイパーが作動していないときや間欠作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。



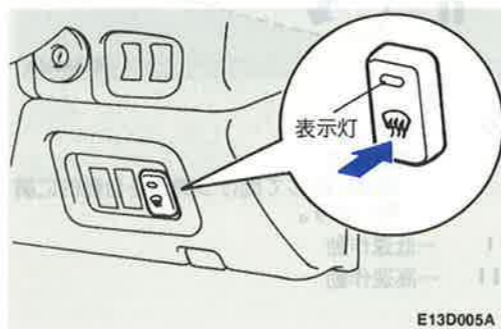
注意 ●寒冷時にウォッシャー液を使用するときは先にフロントガラスをヒーターにより暖めてください。フロントガラスに噴射された液が凍結し、視界を妨げることがあります。

アドバイス ●ウォッシャー液が十分出ないときはウォッシャースイッチを使用しないでください。ポンプの故障の原因となります。

●空ぶきはフロントガラスを傷つけることがあります。必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。

ワイパーディアイサースイッチ★

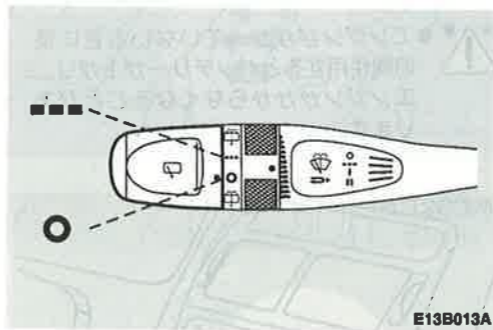
フロントワイパーがウインドウガラスに凍結(ワイパー停止位置)しているとき、ウインドウガラスを暖めてワイパーが作動できるようにします。エンジンスイッチがONのときにスイッチを押すと作動し、スイッチ内の表示灯が点灯します。スイッチは約10分で自動的に切れます。途中でスイッチを切りたい場合は、もう一度スイッチを押します。



リヤワイパー
・ウォッシャースイッチ★

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

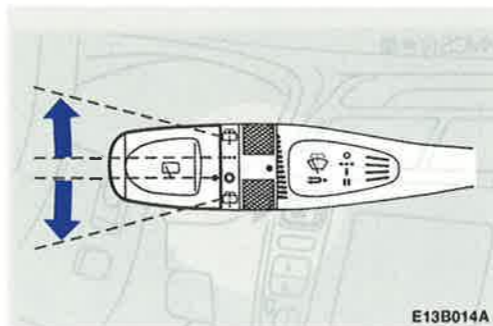
ワイパースイッチ



--- 一約8秒おきに作動
○ 一停止

ウォッシャースイッチ

スイッチを回している間ウォッシャー液が噴射します。



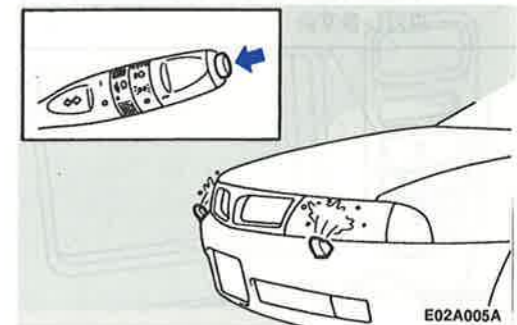
ヘッドランプウォッシャー
スイッチ★

ヘッドランプが汚れたときなど、ウォッシャー液をヘッドランプに噴射してきれいにするができます。ライトスイッチがONのとき、スイッチを押すとウォッシャー液が約0.5秒間噴射します。

アドバイス ●車が止まっているときにスイッチを操作するとヘッドランプに噴射したウォッシャー液が周囲の人や物にかかるおそれがありますので必ず周囲を確認してから行ってください。運転しているときでも周囲の確認を行ってください。

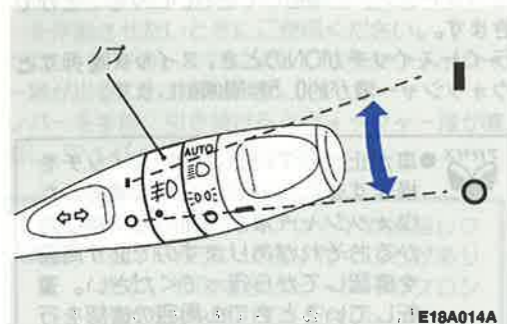
●ウォッシャー液がヘッドランプに正しく当たっていることを確認してください。

●ウォッシャー液の不足が警告されたときは早めに補給してください。



フォグランプスイッチ★

JE18A-I



E18A014A

ノブを回すと点灯(消灯)します。

- ! 一点灯
- 二点灯

アドバイス ●フォグランプスイッチをONにすると車幅灯、尾灯、番号灯、計器類照明灯も点灯します。

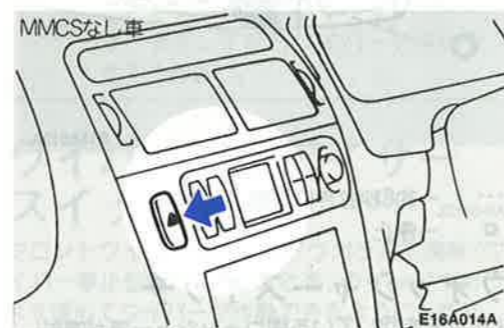
非常点滅灯スイッチ

JE16A-FB

故障したときなど、やむをえず路上に車を止めたいときに使用します。

スイッチを押すと全ての方向指示灯が点滅し、メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

注意 ●エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がリ、エンジンがかからなくなることがあります。



E16A014A



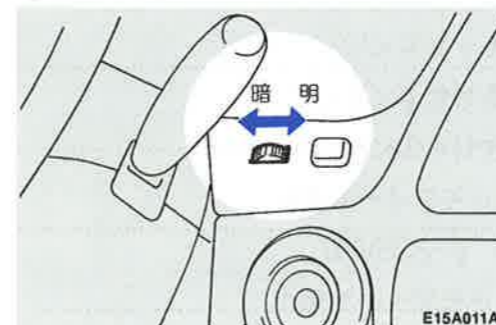
E16A015A

OMGN

メーター照度調整ダイヤル★

JE15A-G

ライト(含むフォグランプ)が点灯しているときにダイヤルを右へ回すと明るくなり、左へ回すと暗くなります。

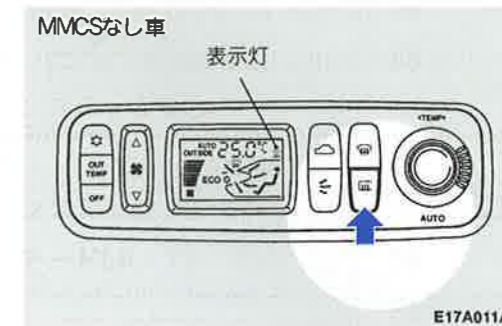


E15A011A

リヤガラスデフォッガー(曇り取り)スイッチ

JE17A-P

リヤガラスの曇りを取るときに使用します。エンジンスイッチがONのときにスイッチを押すと作動し、表示灯が点灯します。スイッチは約20分後に自動的に切れます。途中でスイッチを切りたいときはもう一度押します。



E17A011A



E17A012A

ヒートドドアミラー付き車はデフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。→P. 84

アドバイス ●デフォッガースイッチは雪を溶かすためのものではありません。
●リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が電熱線に当たると切れることがあります。
●リヤガラスの内側を清掃するときは、柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

運転装置

エンジンスイッチ	66
エンジンをかける前に	66
エンジンのかけ方	68
4速オートマチックトランスミッション (INVECS-II 4A/T)	68
5速オートマチックトランスミッション (INVECS-IIスポーツモード5A/T)	74
駐車ブレーキ	81
ハイチルトステアリング	81
電動チルト・テレスコピックステアリング	81
ルームミラー	82
ドアミラー	83
電子制御パワーステアリング	84
アンチロックブレーキシステム (ABS)	85
クルーズコントロール	86
プレビューディスタンスコントロール (車間距離制御システム)	88
トラクションコントロール (TCL)	94
フルタイム4WD	96

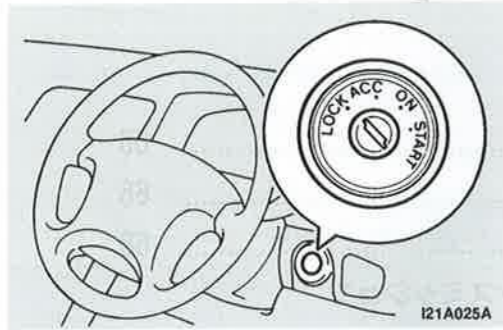
MEMO

MEMO section with horizontal dotted lines for writing.

運転装置

エンジンスイッチ

J141A-F



I21A025A

各位置の働き

LOCK
(ロック)

キーの抜き差しができます。キーを抜くとハンドルがロックされます。

ACC
(アクセサリ)

エンジンを止めたままでもオーディオ、ミラーなどが使用できます。

ON
(オン)

すべての電気系統が働きます。エンジン回転中の位置です。

START
(スタート)

エンジンがかかります。エンジンがかかったら、キーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります。

- 注意**
- エンジンを止めたままACCでラジオ、カセットステレオ等電気製品を長時間使用しないでください。バッテリー上がりの原因となります。
 - エンジンが回転しているときは、キーをSTARTの位置に回さないでください。スターティングモーターが破損することがあります。

キーを抜くときは

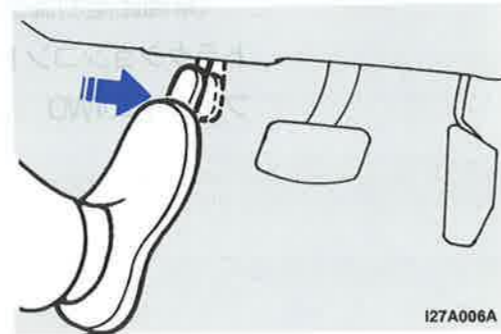
LOCKまで回して抜きます。セレクターレバーがPでないとキーを抜くことはできません。ACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。

- アドバイス**
- キーがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンをかける前に

J147A-F

1. 正しい運転姿勢をとります。ブレーキペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シート位置を調整します。
2. 駐車ブレーキをかけていることを確認します。



I27A006A

3. セレクターレバーがPにあることを確認します。

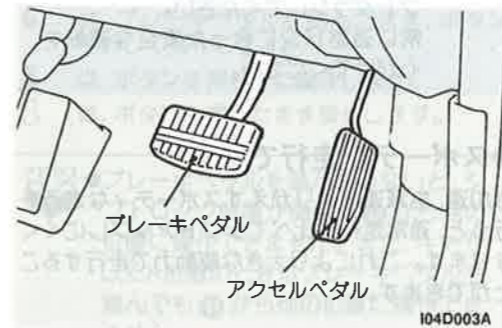
- アドバイス**
- セレクターレバーがPまたはN以外ではエンジンがかかりません。安全のため車輪が固定できるPでエンジンをかけてください。



I28A022A

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。

- 注意**
- 踏みまちがいを防ぐため、ブレーキペダルとアクセルペダルを右足で踏み、その位置を確認して足におぼえさせておくことが大切です。



I04D003A

- 注意**
- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。ガス中毒になるおそれがあります。
 - 押しがけやけん引によりエンジンをかけることは危険ですので行わないでください。
 - エンジンがかかったらキーから手を離してください。STARTのままにしているとスターティングモーターが破損するおそれがあります。
 - バッテリー上がりを防ぐため、STARTにして10秒以上スターティングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは、一旦キーをLOCKに戻してしばらく待ってから再度エンジンをかけてください。
 - エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは、変速走行を避けてただちに三菱販売会社で点検を受けてください。
 - エンジンが冷えているときや、再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり、高速運転は避けてください。

エンジンのかけ方

J147B-D

●通常時

1. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったら、しばらく暖機運転をします。
始動直後はエンジン回転が高くなりますが、暖機が終われば自動的に回転は下がります。



●暖機運転は水温計の針が動き出す(エンジン回転数が下がる)程度で十分です。
●長時間暖機運転をすると、燃費が悪くなります。
●エンジン始動直後にカチカチ音がすることがありますがエンジンの構造的なものです。そのまま暖機運転を続ければ音は止まります。

●厳寒時

1. アクセルペダルを半分程度踏み込んだままエンジンスイッチをSTARTに回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。



●エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
・アクセルペダルをいっぱい踏み込んだままエンジンをかけてください。
・エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

4速オートマチック トランスミッション (INVECS—II 4A/T)

J104A-J

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle Electronic Control System

フルオートマチックトランスミッションは、全運転域での最適制御と学習制御によりあらゆる道路状況を判断して、適切なシフトチェンジを行います。

●上り坂では

アクセルペダルをもどしても不必要なシフトアップを防止し、加速する場合のもたつきをなくしてスムーズな加速が得られます。

●下り坂では

状況に応じて自動的にシフトダウンを行ってエンジンブレーキをかけ、運転者のブレーキを踏む回数を低減します。



●走行開始直後でオートマチックトランスミッションオイルの温度が低いときは、自動的にシフトダウンしない場合があります。その場合は必要に応じてブレーキを踏んだり、手でシフトダウンしてください。
常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

●スポーティ走行では

急加速、急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと、通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

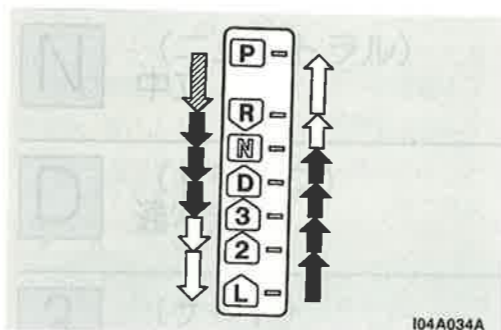
「これだけはお守りください：オートマチック車の取り扱い」もあわせてお読みください。

→P. 8

セレクターレバーの動かし方 (4A/T)



104A031A



104A034A

- ↘ は、ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
- ↓ は、ボタンを押さずに操作します。
- ⇓ は、ボタンを押したまま操作します。



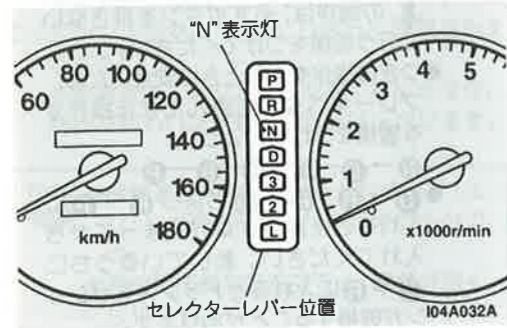
●ブレーキペダルを踏んでいないと、シフトロック装置が働いてPから他の位置に操作できません。また、キーがLOCK位置のときはブレーキペダルを踏んでもPから他の位置に操作できません。



●いつもボタンを押したまま操作すると誤ってP R 3 2 Lに入れてしまうおそれがあります。
↓の操作は、必ずボタンを押さないで行う習慣をつけてください。
●つぎの操作をするときは安全のため、ブレーキペダルを踏んだまま操作する習慣をつけましょう。
N → D, N → R, R → P
●D → R, R → D および R → P に入れるときは必ず車が止まってから入れてください。動いているうちにPやRに入れるとトランスミッションが破損することがあります。

●表示灯

セレクターレバーの位置をランプで表示します。



“N”表示灯が点滅したときは装置の故障が考えられます。つぎの方法で処置してください。

- 処置**
- **D** で走行中に“N”表示灯が速く点滅(1秒間に約2回)しているときは：オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。車を安全な場所に止め、セレクターレバーを **P** に入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。しばらくしたらセレクターレバーを **D** に入れて“N”表示灯が消灯するか確認します。消灯したらもとのように走行できます。消灯しないときや、たびたび点滅するときは三菱販売会社で点検を受けてください。消灯は **D** に入れて確認してください。
 - **D** 以外では“N”表示灯は点滅しません。
 - **D** で走行中に“N”表示灯がゆっくり点滅(1秒間に約1回)しているときは：トランスミッションに何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバーの位置・働き

- | | | |
|----------|----------------------------|---|
| P | (パーキング)
駐車およびエンジンをかけるとき | 車輪が固定されます。駐車の際は必ず P にしてください。
P でのみエンジンスイッチからキーが抜けます。 |
| R | (リバース)
後退させるとき | R にするとブザーが鳴り、 R にあることを運転者に知らせます。

注意 ●ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。 |
| N | (ニュートラル)
中立 | 動力が伝達されません。この位置でもエンジンをかけることができますが安全のため P で行ってください。 |
| D | (ドライブ)
通常走行 | 発進から高速走行まで自動的に変速されます。道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。 |
| 3 | (サード)
ゆるやかな下り坂走行 | 軽いエンジンブレーキが必要なときに使います。

アドバイス ●高速道路の長い下り坂などに有効です。 |
| 2 | (セカンド)
下り坂走行 | エンジンブレーキが必要なときに使います。 |
| L | (ロー)
急な下り坂走行 | 強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。

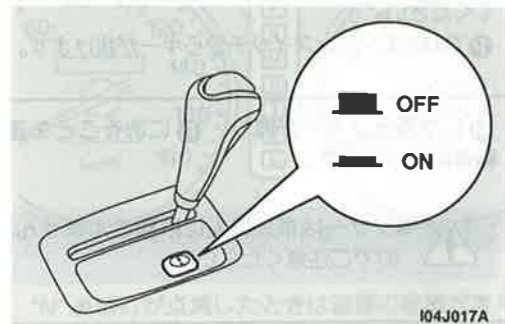
アドバイス ●スピード値が45km/h以下のときにお使いください。

注意 ●ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして危険です。 |

A/Tモードコントロール スイッチ (4A/T)

J104J-P

A/T: オートマチックトランスミッション
オートモード、ホールドモードの2種類の走行モードを選択することができます。



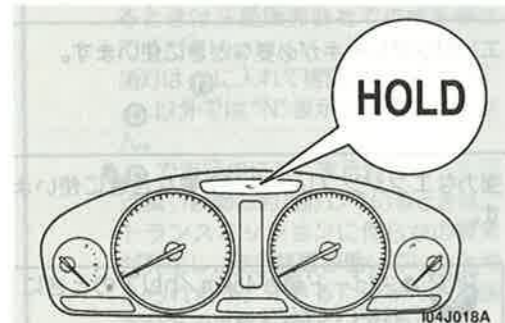
104J017A

●オートモード (通常走行)

スイッチをONにします。燃費のよい経済的な走行から登坂路走行、パワフル走行まで、路面状況や走行条件に応じた最適な変速を行います。

●ホールドモード (雪道発進)

スイッチをOFFにします。メーター内の表示灯が点灯します。雪道などのすべりやすい路面の発進時には、セレクターレバーをDにすると2速発進となり、スリップしにくくなります。



104J018A

運転のしかた (4A/T)

J104D-E

発進

J104M-D

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

注意 ●セレクターレバーをD③②①またはR④に入れるとクリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
特に暖機運転中やエアコン作動中などエンジン回転が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

クリーブ現象とは・・・

セレクターレバーをP、N以外に入れると動力がつながった状態となり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動き出すオートマチック車特有の現象です。

2. セレクターレバーを前進はD、後退はRに入れます。

注意 ●セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故の原因につながります。



128A023A

3. セレクターレバーの位置を目で確認します。
4. 周囲の安全を確認し、駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま、ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら、車が動き出す感触を確認してから、駐車ブレーキを解除して発進します。

走行

J104N-C

注意 ●走行中はセレクターレバーをNに入れないでください。エンジンブレーキが効かないため、思わぬ事故の原因になります。

●通常走行

セレクターレバーをDで走行します。発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。屈曲路、下り坂でも、全運転域での最適制御と学習制御により走行状況を判断し、適切なエンジンブレーキを自動的にかけます。

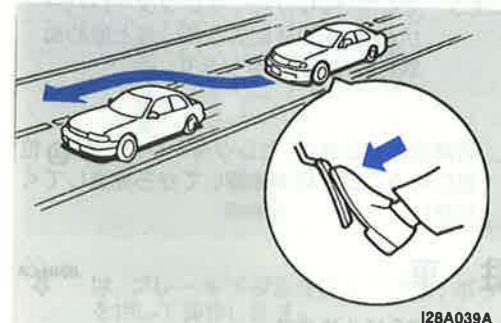


128A036A

●急加速したいとき

J104F-FB

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



128A039A

停車

J104G-CB

1. セレクターレバーはDのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

注意 ●エアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、車が動き出さないように、特に注意してください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

注意 ●急な上り坂ではクリーブ現象が働いても、車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み、しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
●上り坂でブレーキペダルを踏まずに、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーを **N** に入れます。

注意 ● 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一、セレクターレバーが **P**、**N** 以外に入っていると急発進の原因になります。

4. 再発進するときは、セレクターレバーが **D** 位置にあることを目で確認してから発進してください。

駐車

J104H-CA

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを **P** に入れます。

注意 ● **P** では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが **P** に入っていることを確認してください。
● 車が完全に止まらないうちに **P** に入ると、急停止して危険な上、トランスミッションを破損するおそれがあります。

4. エンジンを止めます。

注意 ● 車から離れるときは必ずエンジンを止め、キーを抜いてください。エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクターレバーが **P** 以外に入っていた場合、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

5速オートマチック トランスミッション (INVECS-II スポーツ モード5A/T)

J104A-K

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle
Electronic Control System

フルオートマチックトランスミッションは、全運転域での最適制御と学習制御によりあらゆる道路状況を判断して、適切なシフトチェンジを行います。

●上り坂では

アクセルペダルをもどしても不必要なシフトアップを防止し、加速する場合のもたつきをなくしてスムーズな加速が得られます。

●下り坂では

状況に応じて自動的にシフトダウンを行ってエンジンブレーキをかけ、運転者のブレーキを踏む回数を低減します。

注意 ● 走行開始直後でオートマチックトランスミッションオイルの温度が低いときは、自動的にシフトダウンしない場合があります。その場合は必要に応じてブレーキを踏んだり、手動でシフトダウンしてください。常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

●スポーティ走行では

急加速、急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと、通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

●スポーツモード

「スポーツモード」では、マニュアルトランスミッション感覚でダイナミックな運転を楽しむことができます。

→「スポーツモード」P. 78

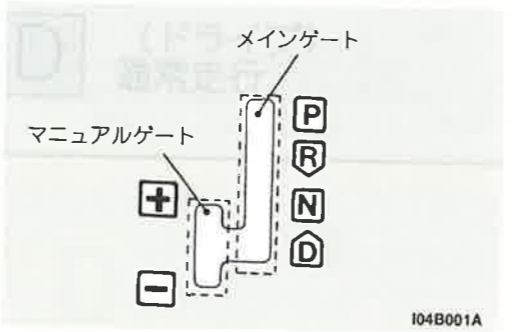
「これだけはお守りください：オートマチック車の取り扱い」もあわせてお読みください。

→P. 8

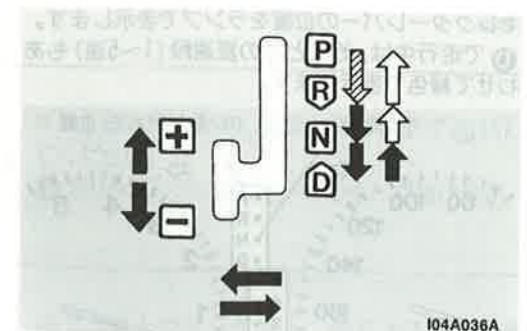
セレクターレバーの動かし方 (5A/T)



I04A035A



I04B001A



I04A036A

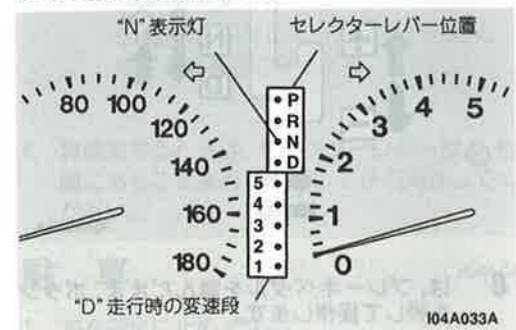
- ↕ は、ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
- ↓ は、ボタンを押さずに操作します。
- ⇩ は、ボタンを押したまま操作します。

アドバイス ● ブレーキペダルを踏んでいないと、シフトロック装置が働いて **P** から他の位置に操作できません。また、キーがLOCK位置のときはブレーキペダルを踏んでも **P** から他の位置に操作できません。
● マニュアルゲートの使い方は「スポーツモード」の項をご覧ください。
→P. 78

注意 ● いつもボタンを押したまま操作すると誤って **P**、**R** に入れてしまうおそれがあります。
↓ の操作は、必ずボタンを押さないで行う習慣をつけてください。
● つぎの操作をするときは安全のため、ブレーキペダルを踏んだまま操作する習慣をつけましょう。
N → **D**、**N** → **R**、**R** → **P**
● **D** → **R**、**R** → **D** および **R** → **P** に入れるときは必ず車が止まってから入れてください。動いているうちに **P** や **R** に入るとトランスミッションが破損することがあります。

●表示灯

セレクターレバーの位置をランプで表示します。
 ①で走行中は、そのときの変速段(1~5速)もあわせて緑色で表示します。



“N”表示灯が点滅したときは装置の故障が考えられます。つぎの方法で処置してください。

- 処置 ● ①で走行中に“N”表示灯が速く点滅(1秒間に約2回)しているときは：
 オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。車を安全な場所に止め、セレクターレバーをPに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。しばらくしたらセレクターレバーをDに入れて“N”表示灯が消灯するか確認します。消灯したらもとのように走行できます。消灯しないときや、たびたび点滅するときは三菱販売会社で点検を受けてください。消灯はDに入れて確認してください。P、R、Nでは“N”表示灯は点滅しません。
- ①で走行中に“N”表示灯がゆっくり点滅(1秒間に約1回)しているときは：
 トランスミッションに何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバーの位置・働き(メインゲート)

J104B-I

P (パーキング) 駐車およびエンジンをかけるとき
 車輪が固定されます。駐車の際は必ずPにしてください。Pでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。

R (リバース) 後退させるとき
 Rにするとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。
 注意 ●ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N (ニュートラル) 中立
 動力が伝達されません。この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためPで行ってください。

D (ドライブ) 通常走行
 発進から高速走行まで自動的に変速されます。道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。

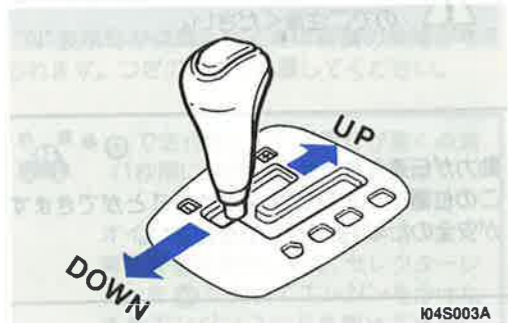
アドバイス ●マニュアルゲートの使い方は「スポーツモード」の項をご覧ください。 →P. 78

スポーツモード (5A/T) J104S-B

停車中や走行中に、**D** からセレクターレバーをマニュアルゲートに入れることで、スポーツモードが選択されます。通常の**D** 走行に戻りたいときは、セレクターレバーをメインゲートに戻します。

スポーツモードでは、セレクターレバーを前後に動かすだけで、素早くシフトチェンジすることができます。マニュアルトランスミッションと違って、アクセルペダルを踏み込んだままギヤチェンジをすることができます。

カーブの直前またはコーナー立ち上がり直後の軽快なダウンシフトにより、ダイナミックなスポーツドライブを楽しむことができます。



I04S003A

+ (UP) -1操作で1段ずつシフトアップ
- (DOWN) -1操作で1段ずつシフトダウン

注意 ●スポーツモードでは自動的にシフトチェンジしません。その時の道路状況に合わせて、エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。

●スポーツモードは1速から5速の前進ギヤしか選択できません。後退、駐車するときは、**R**、**P** に入れてください。

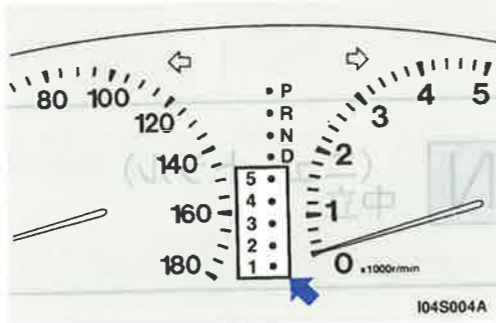
●走行性能を確保するため、または安全のため、セレクターレバーを操作しても希望する変速段へシフトしない場合があります。

アドバイス ●セレクターレバーを - (DOWN) 側へすばやく2回操作すると3速→1速, 4速→2速, 5速→3速とシフトダウンすることができます。なお、急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因となります。道路状況, スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。

●スポーツモードで走行時に停車すると1速に入ります。

●表示灯

スポーツモードで走行中は変速段をメーター内に赤色で表示します。



I04S004A

アドバイス ●スポーツモードを選択しているときは "D" 表示灯は消灯しています。

運転のしかた (5A/T) J104D-F

発進 J104M-E

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

注意 ●セレクターレバーを **D**、**R** またはマニュアルゲートに入れるとクリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。特に暖機運転中やエアコン作動中などエンジン回転が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

クリーブ現象とは・・・

セレクターレバーを **P**、**N** 以外に入れると動力が繋がった状態となり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動き出すオートマチック車特有の現象です。

2. セレクターレバーを前進は **D**、後退は **R** に入れます。

注意 ●セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故の原因につながります。



I28A023A

3. セレクターレバーの位置を目で確認します。
4. 周囲の安全を確認し、駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま、ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら、車が動き出す感触を確認してから、駐車ブレーキを解除して発進します。

走行 J104N-C

注意 ●走行中はセレクターレバーを **N** に入れないでください。エンジンブレーキが効かないため、思わぬ事故の原因になります。

●通常走行

セレクターレバーを **D** で走行します。発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。屈曲路, 下り坂でも、全運転域での最適制御と学習制御により走行状況を判断し、適切なエンジンブレーキを自動的にかけます。

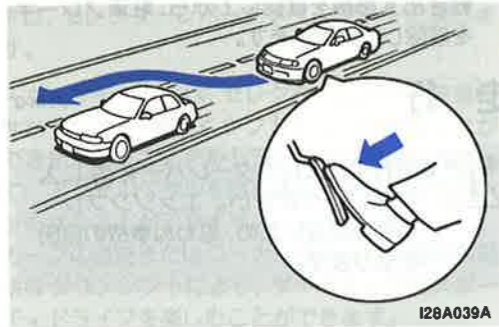


I28A038A

●急加速したいとき

J104F-FB

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



I28A039A

停車

J104G-CB

1. セレクターレバーは **D** のままブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。

注意 ● エアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、車が動き出さないように、特に注意してください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

注意 ● 急な上り坂ではクリーブ現象が働いても、車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み、しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
● 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときは、セレクターレバーを **N** に入れます。

注意 ● 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一、セレクターレバーが **P**、**N** 以外に入っていると、急発進の原因になります。

4. 再発進するときは、セレクターレバーが **D** 位置にあることを目で確認してから発進してください。

駐車

J104H-CA

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを **P** に入れます。

注意 ● **P** では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが **P** に入っていることを確認してください。
● 車が完全に止まらないうちに **P** に入れると、急停止して危険な上、トランスミッションを破損するおそれがあります。

4. エンジンを止めます。

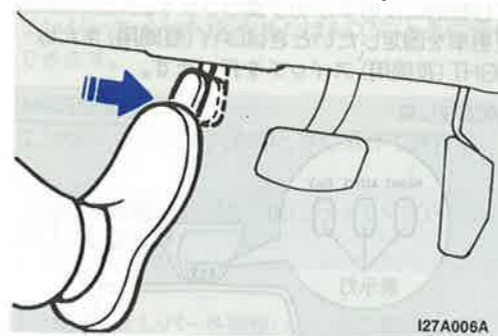
注意 ● 車から離れるときは必ずエンジンを止め、キーを抜いてください。エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクターレバーが **P** 以外に入っていた場合、クリーブ現象で車がひとりで動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

駐車ブレーキ

J107A-P

駐車するときは

ペダルをいっぱいまで踏み込みます。

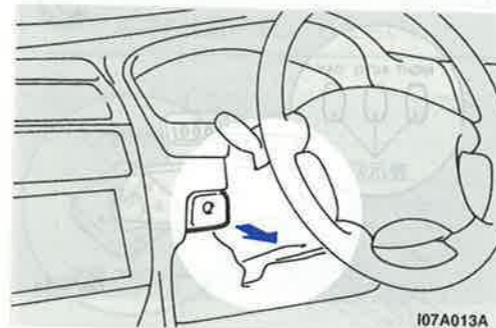


I27A006A

戻すときは

解除レバーを引きます。

戻したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



I07A013A

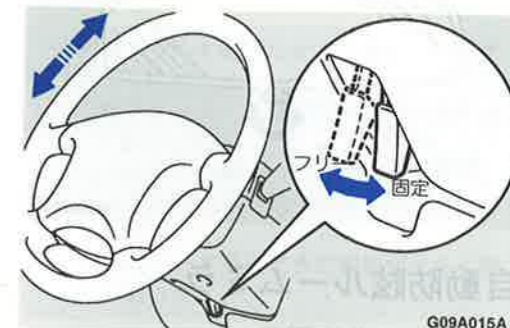
注意 ● 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ、セレクターレバーを **P** に入れてください。
● 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

ハイチルトステアリング★

JG09A-I

注意 ● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。
● 調整後はハンドルを上下に動かして確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

レバーを引き上げ、ハンドルを上下に動かして調整します。レバーを下げ、奥まで押し込んで確実に固定します。



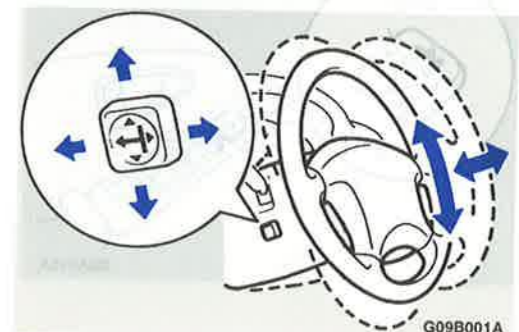
G09A015A

電動チルト・テレスコピックステアリング★

JG09B-B

エンジンスイッチがONのときに調整できます。スイッチを操作している間、ハンドルが上下・前後します。

注意 ● 調整は走行前に行ってください。走行中の調整は危険です。



G09B001A

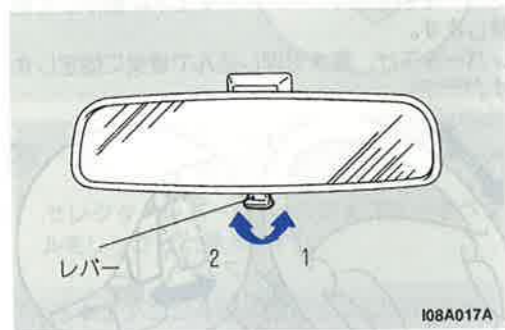
ルームミラー

J108A-1A

注意 ●調整は必ず走行前に行ってください。

デイトライト(防眩)ミラー

- 1 一昼間の位置
後方視界が十分に確認できる位置に調整します。
- 2 一夜間の位置
後続車のライトがまぶしいとき使用します。



自動防眩ルームミラー

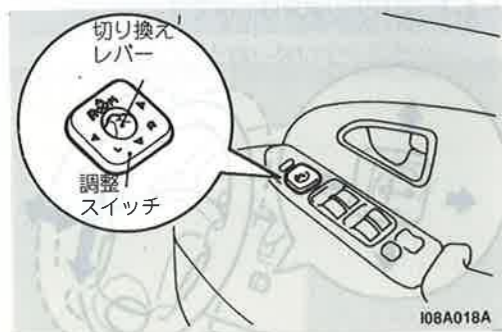
●ミラーの角度調整

MICS無し車

後方の視界が十分に確認できる位置に手で調整します。

MICS付き車

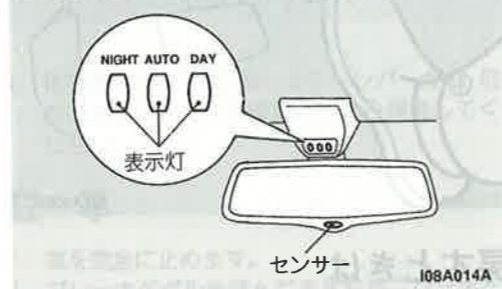
エンジンスイッチがONのときに調整できます。切り換えレバーを「ROOM」側へ倒し、調整スイッチを押します。



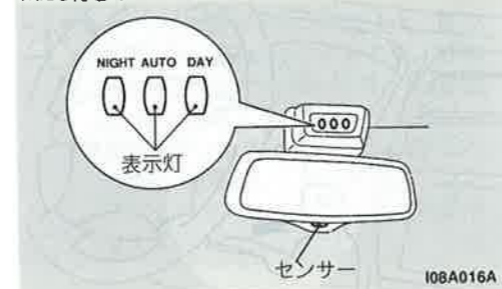
●反射率切り換え

通常はAUTOでご使用ください。まぶしさに応じて自動的に反射率が切り換わります。反射率を固定したいときはDAY(昼間用)またはNIGHT(夜間用)スイッチを押します。

MICSなし車



MICS付き車



アドバイス ●夜間走行時、AUTOでもまぶしいときや、頻繁に切り換わる時はNIGHTスイッチを使用してください。

注意 ●センサー部にマスコット類を下げたおいたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が悪くなる可能性があります。

ドアミラー

J118B-1

ミラーの角度調整

MICS無し車

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

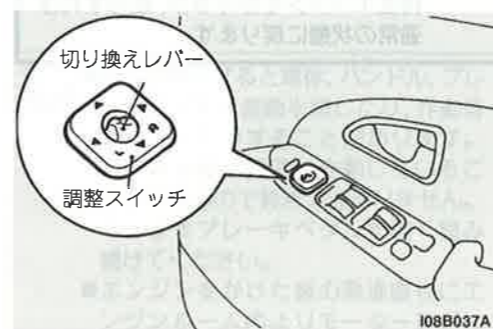
MICS付き車

エンジンスイッチがONのときに操作できます。

注意 ●調整は必ず走行前に行ってください。

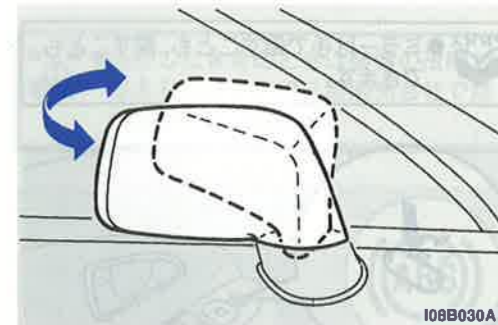
1. 切り換えレバーを調整したい側に動かします。
L: 左側ミラーの調整
R: 右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス ●調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの倒し方

ミラーを車両後方に倒すことができます。戻すときは車両前方へ起こします。

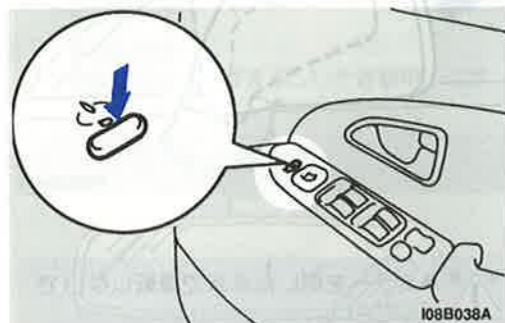


注意 ●ミラーを倒したままで運転しないでください。
●フェンダーミラーに比べつぎの点が異なります。
●ミラーの張り出しが大きくなります。
●ミラーに映る像の距離感が異なります。
●ミラーを見るときに視線が大きく移動します。

●ミラー格納スイッチ

スイッチを押すとドアミラーが倒れます。もう一度押すともとの位置に戻ります。

アドバイス ●ミラーは手で倒すことも、戻すこともできます。



タイマー機構

エンジンスイッチを切った後でも、約30秒間はミラーを格納することができます。

注意 ●凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

ヒートッドドアミラー★

エンジンスイッチがONのときにリヤウインドウデフォグスイッチを押すと、ドアミラー内部のヒーターが作動し、ミラーの曇りを取ります。ヒーターは約20分後に自動的に切れます。

→「リヤウインドウデフォグ(曇り取り)スイッチ」P. 63

電子制御パワーステアリング★

J109A-C

電子制御パワーステアリングとは車速に応じてハンドル操作力を電子制御する装置です。低速走行時のハンドル操作は軽く、高速走行時は適度な重さになります。

処置 ●低速走行時、ハンドル操作が通常より重く感じる場合はパワーステアリング装置に何らかの異常が考えられます。また、4WS付車は、4WS装置に異常があると、ハンドル操作が通常より重くなります。このようなときは、一旦、安全な場所に車を止めてからエンジンを止めます。再度エンジンをかけてハンドルの操作力が通常の状態に戻れば異常ありません。再び重く感じるときは三菱販売会社で点検を受けてください。

●2WS付車は、中速で走行中に急ブレーキで停車したあと、ハンドル操作が通常より重く感じる場合があります。再度エンジンをかけるか、走行すれば通常の状態に戻ります。

アンチロックブレーキシステム (ABS) ★

J124A-KB

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは、急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し、制動力を維持し、かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

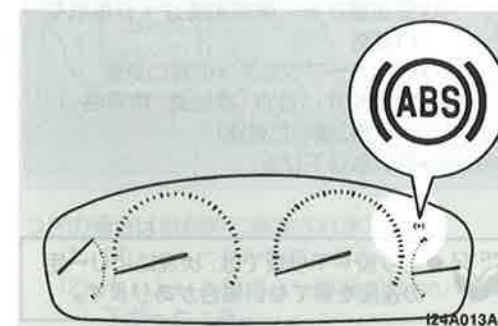
注意 ●ABSが作動した状態でも車両姿勢の安定やハンドル操舵性には限界がありますので、過信せず、安全運転に心がけてください。
●砂利道や深い新雪などの道路では、ABSの付いていない車に比べて制動距離が長くなる場合がありますので、速度はひかえめにし、車間距離を十分とって運転してください。
●雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイールに付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。

アドバイス ●ABSが作動すると車体、ハンドル、ブレーキペダルに振動を感じたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
●エンジンをかけた後の発進直後にエンジンルーム内よりモーター音がします。これはABS装置の作動をチェックしている音で異常ではありません。

ABS警告灯

正常なときは、エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

処置 ●点灯したままのときは装置の故障が考えられますので三菱販売会社で点検を受けてください。



走行中に警告灯が点灯したときは

1. 安全な場所に車を止めてから、エンジンを止めます。再度エンジンをかけて警告灯が点灯しなければ異常ありません。エンジンをかけた後も点灯しているときや、走行後再び点灯するときは三菱販売会社で点検を受けてください。この場合、ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。
2. プラスターケーブルによりエンジンを始動した後、充電が不十分のまま車を発進させると、エンジンの回転むらが生じると共にABS警告灯が点灯し走行できないことがあります。これはバッテリー電圧不足によるものでABSの故障ではありません。このようなときは、アイドリング回転でバッテリーを充電してから走行してください。

クルーズコントロール★ (自動定速走行装置)

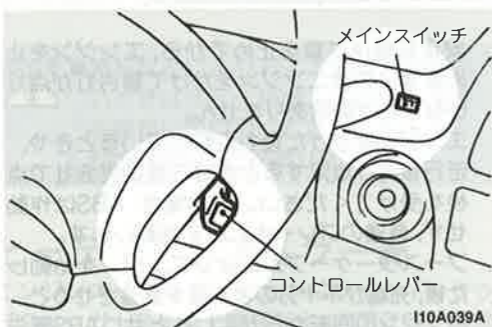
J110B-DB

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード(約40~100km/hの間)で定速走行する装置です。

- 注意** ● 次のような道路では安全のため、使用しないでください。
- 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
 - 急なカーブや見通しの悪い道路
 - 滑りやすい道路(凍結路、積雪路、じりり路、濡れた道路)
 - 長い急な下り坂

アドバイス ● 上り坂や下り坂では、状況により一定の速度を保てない場合があります。

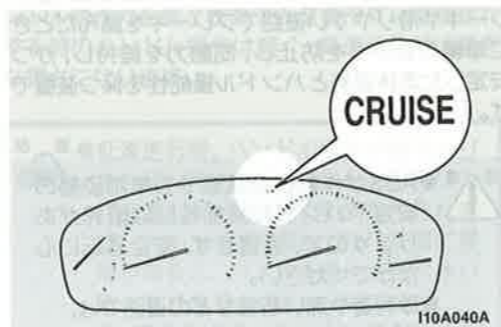
●メインスイッチ/コントロールレバー



- アドバイス** ● 定速走行しないときは、安全のためメインスイッチを切っておいてください。
- エンジンを止めるとメインスイッチは自動的にOFFになります。

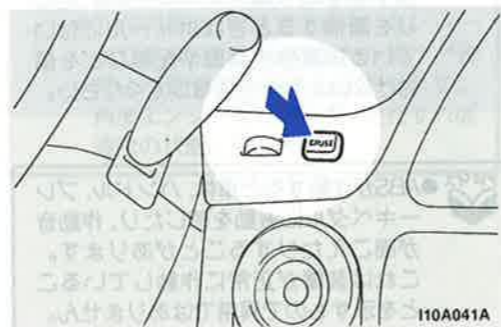
●クルーズコントロール表示灯

自動定速走行しているときに点灯します。

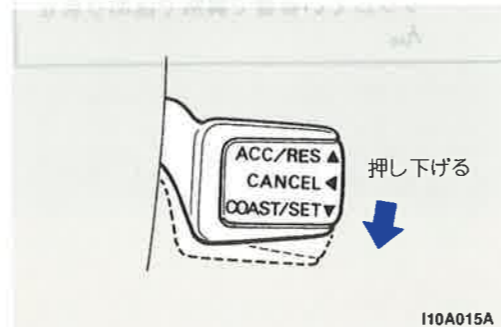


セットのしかた

1. メインスイッチを押してONにします。スイッチ内の表示灯が点灯します。



2. アクセルペダルを踏んで希望の車速になったらコントロールレバーを下げ、手を離します。自動定速走行になると、メーター内の表示灯が点灯します。



設定車速の変更のしかた

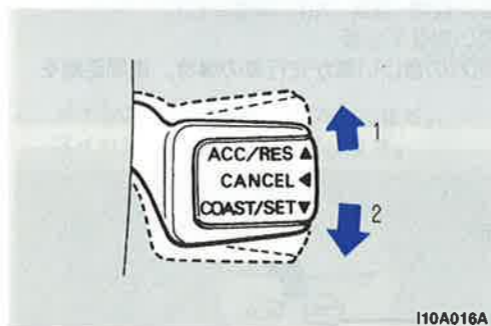
●アクセルペダル、ブレーキペダルを使って

希望車速まで加速または減速し、希望車速になったらコントロールレバーを下げ、手を離します。

●コントロールレバーを使って

希望車速になるまでコントロールレバーを操作し、希望車速になったら手を離します。

- 1-加速したいとき
- 2-減速したいとき



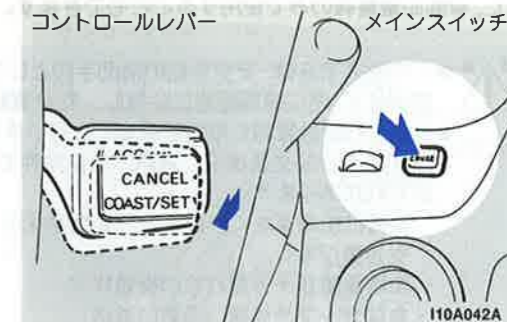
アドバイス ● コントロールレバーを軽く上または下に操作して手を離すと、速度が約1.5km/hずつ変化して設定車速を微調整することができます。

アドバイス ● アクセルペダルで加速したときは、ペダルから足を離すともとの設定車速に戻ります。

解除のしかた

つぎのいずれかの方法で解除します。

- ・コントロールレバーを手前に引く
- ・メインスイッチをOFFにする



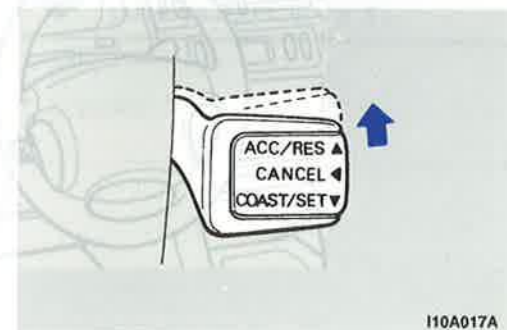
つぎの場合は自動的に解除されます。

- (1) ブレーキペダルを踏んだとき
- (2) セットした速度より車速が15km/h以上下がったとき
- (3) 車速が40km/h以下になったとき

注意 ● セレクターレバーをNにしてもシステムは自動的に解除されますが、走行中はレバーをNに入れないでください。エンジンブレーキが効かないため、思わぬ事故の原因になります。

解除前の設定車速に戻るとき

コントロールレバーを手前に引いて解除した場合、または上記(1)~(3)のように自動的に解除された場合は、車速が40km/h以上であれば、コントロールレバーを上げると、もとの設定車速に戻ることができます。



プレビューディスタンスコントロール★ (車間距離制御システム)

J138A-BA

プレビューディスタンスコントロールは、希望する車速(設定車速)をセットすると先行車との車間距離を適切に保つように制御するシステムです。

先行車の減速の度合いや他車の割り込みなどにより、適切な車間距離が保てなくなるおそれがあるときは、車間距離警報(警告灯と警報ブザー)を発し、運転者に注意を促します。先行車がない場合は、あらかじめセットした設定車速で走行します。

また、車間距離警報のみで使用することもできます。

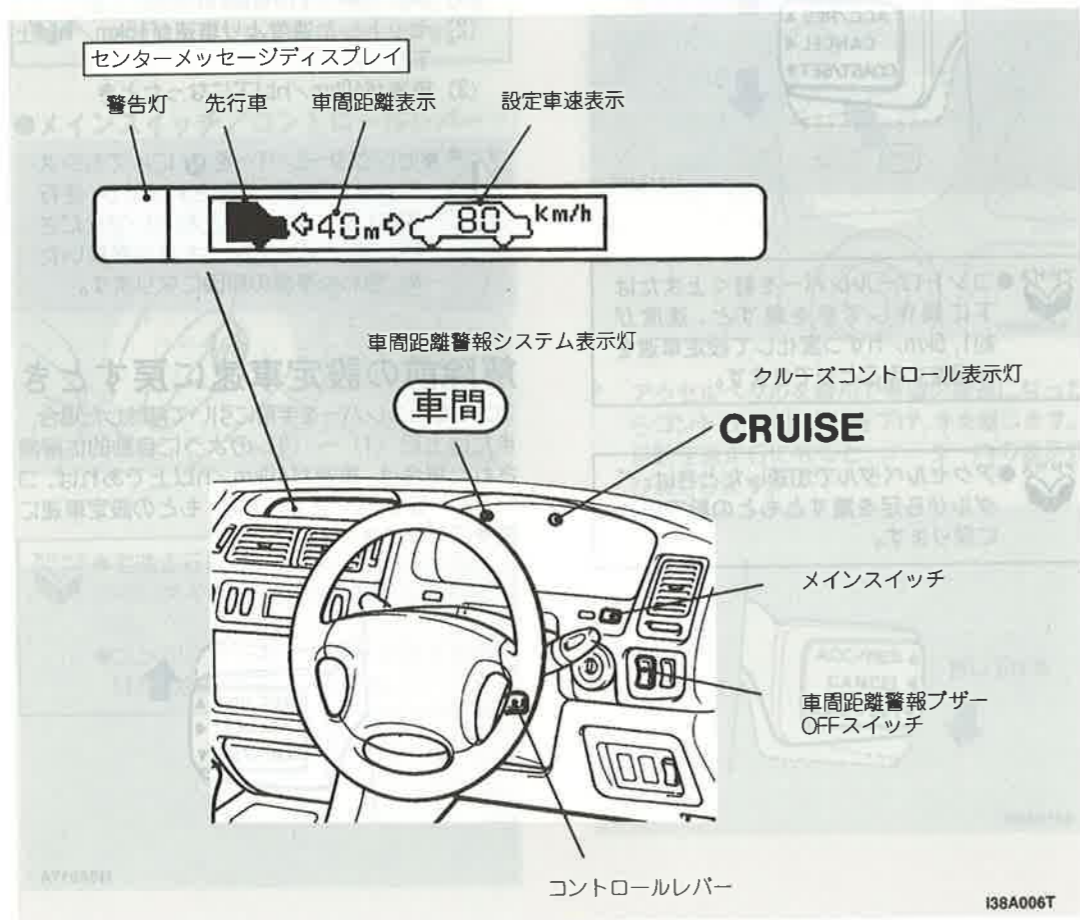
注意 ●このシステムは、安全運転の補助手段として活用するものです。制御には限界がありますので過信せず、常に車間距離に注意し、安全運転に心がけてください。

●低速走行時は警報も車間距離表示も行いませんので、注意して運転してください。

●つぎのような交通状況、道路、気象条件では、使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・頻繁に加減速をくり返すような交通状況
- ・滑りやすい道路(凍結路、積雪路、ジャリ道、濡れた道路など)
- ・交通量が多く、車間距離が十分取れない交通状況
- ・悪天候時(濃霧、大雨、降雪など)
- ・急なカーブや見通しの悪い道路
- ・長い急な下り坂

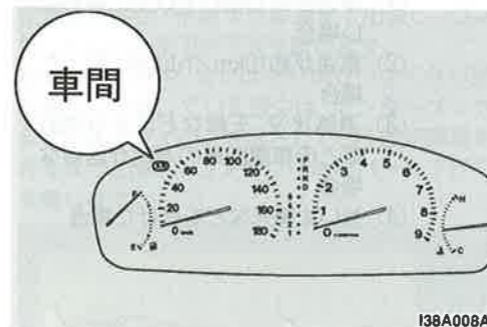
●トレーラーなど地上高が高い車やリフレクターの汚れの激しい車が先行車の場合、車間距離を適切に保てなくなる場合があります。



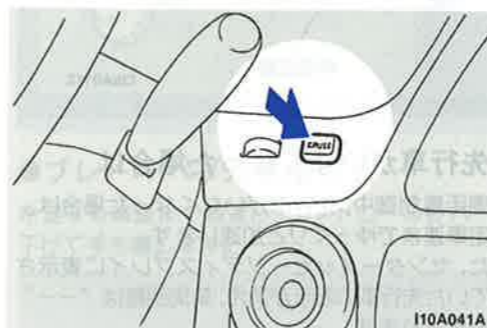
セットのしかた

J138A-CA

1. エンジンスイッチをONにします。メーター内に車間距離警報システム表示灯が点灯します。



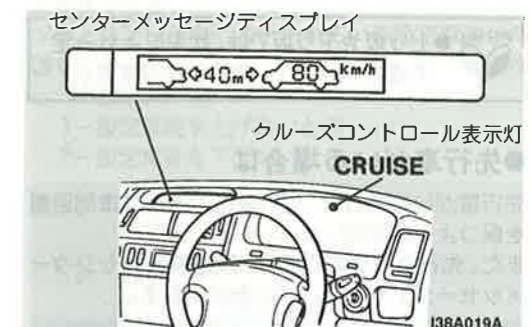
2. メインスイッチを押してONにします。スイッチ内の表示灯が点灯します。



3. アクセルペダルを踏んで希望の車速(約40~100km/hの間)になったらコントロールレバーを下げ、手を離します。



4. メーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯します。センターメッセージディスプレイはプレビューディスタンスコントロールの表示に切り換わります。



アドバイス ●センターメッセージディスプレイの表示を他の表示(航続距離、瞬間燃費など)に切り換えた後は、設定車速を設定または変更すると、一時的にプレビューディスタンスコントロールの表示となり、約8秒後にもとの表示に戻ります。
「センターメッセージディスプレイ」→P. 50

注意 ●車間距離制御システムを使用しないときは、安全のためメインスイッチを切っておいてください。

アドバイス ●エンジンを止めるとメインスイッチは自動的にOFFになります。

システムの作動

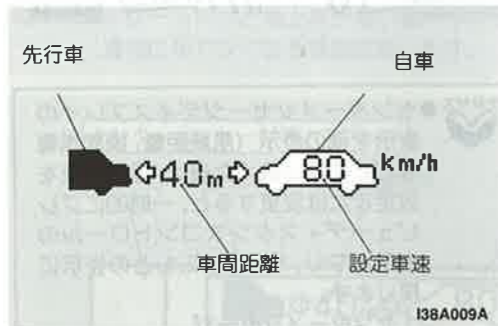
J138A-GA

システムをセットすると設定車速になるように車速を制御します。先行車がいる場合は、先行車との車間距離を適切に保つように制御します。

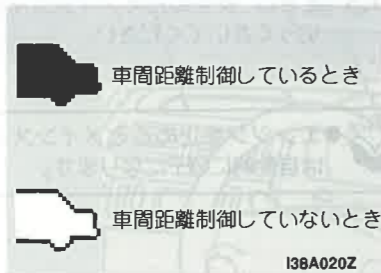
アドバイス ●上り坂や下り坂では、状況により一定の速度を保てない場合があります。

●先行車がいる場合は

先行車がいる場合は、先行車との適切な車間距離を保つように制御します。また、先行車との車間距離、設定車速をセンターメッセージディスプレイに表示します。

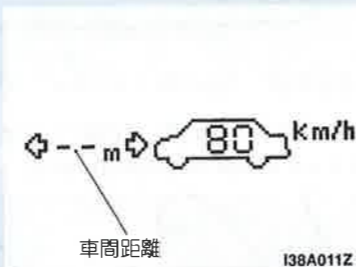


アドバイス ●車間距離は0~99mまで表示します。
●先行車の表示



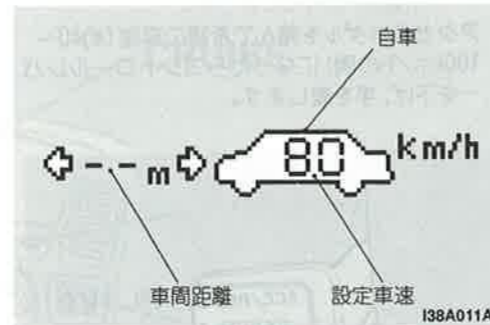
注意 ●つぎの場合は車間距離表示は“—”の表示になり、警報も車間距離制御も行いません。注意して運転してください。

- (1) 車速が約15km/h以上にならない場合
- (2) 車速が約10km/h以下になった場合
- (3) 道路状況、天候などにより先行車との車間距離の測定が困難な場合
- (4) 強い太陽光などを受けた場合



●先行車がいなくなった場合は

車間距離制御中、先行車がいなくなった場合は、設定車速までゆっくりと加速します。また、センターメッセージディスプレイに表示されていた先行車の表示が消え、車間距離は“—”と表示されます。



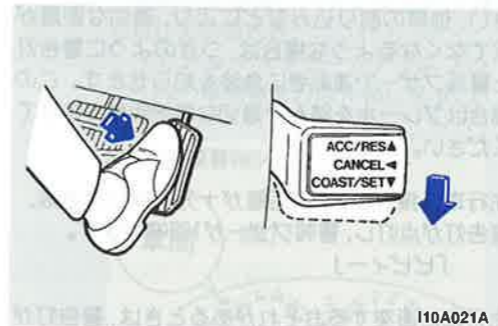
アドバイス ●設定した車速以上にはなりません。
●加速中に先行車が現れれば、再び車間距離制御を行います。

設定車速の変更のしかた

J138A-DA

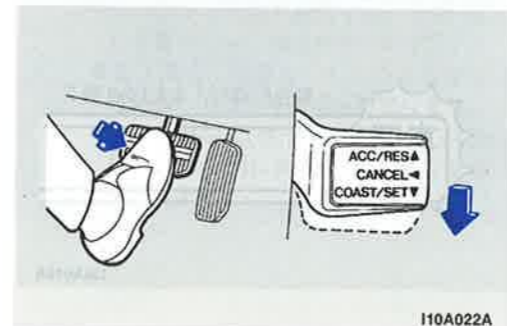
●アクセルペダルを使って

定速走行中は、希望する車速まで加速し、コントロールレバーを下げて手を離します。車間距離制御中、または先行車がいなくなり設定車速まで加速している最中は、センターメッセージディスプレイ内に表示されている設定車速を越えるまで加速し、コントロールレバーを下げて手を離します。



●ブレーキペダルを使って

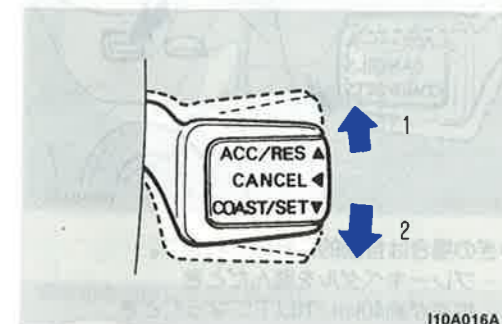
希望する車速まで減速し、コントロールレバーを下げて手を離します。



●コントロールレバーを使って

定速走行中は、希望する車速までコントロールレバーを操作し、手を離します。車間距離制御中、または先行車がいなくなり設定車速まで加速している最中は、センターメッセージディスプレイ内に表示されている設定車速が希望する車速になるまでコントロールレバーを操作し、手を離します。

- 1-設定車速を上げたいとき
- 2-設定車速を下げたいとき



アドバイス ●アクセルペダルで加速したときは、ペダルから足を離すともの設定車速に戻ります。
●コントロールレバーを軽く上または下に操作して手を離すと、設定車速が約1.0km/hずつ微調整できます。
●車間距離制御中、または設定車速まで加速している最中は、自車速度（スピードメーターで表示している速度）と設定車速（センターメッセージディスプレイで表示している速度）は異なります。設定車速を変更するときは、メッセージディスプレイ内の設定車速表示を見て変更してください。

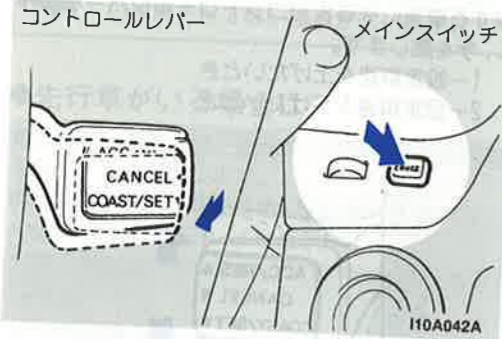
解除のしかた

J138A-E

つぎのいずれかの方法で解除します。

- ・コントロールレバーを手前に引く
- ・メインスイッチをOFFにする

システムを解除すると、メーター内のクルーズコントロール表示灯は消灯します。



つぎの場合は自動的に解除されます。

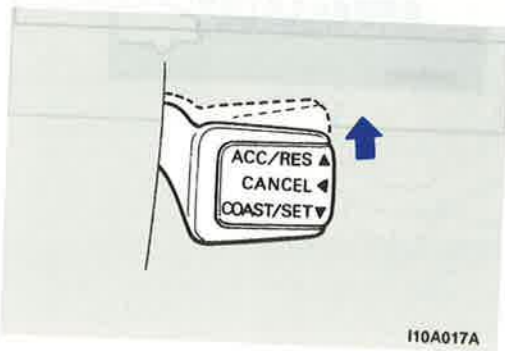
- ・ブレーキペダルを踏んだとき
- ・車速が約40km/h以下になったとき

注意 ●セレクトレバーをNにしてもシステムは自動的に解除されませんが、走行中はレバーをNに入れないうでください。エンジンブレーキが効かないため、思わぬ事故の原因になります。

解除後、再び使用するとき

J136A-FA

コントロールレバーを手前に引いて解除した場合、またはブレーキを踏んで解除した場合は、車速が40km/h以上であれば、コントロールレバーを上げると、メーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯し、システムを再作動させることができます。



アドバイス ●車速が35km/h以下になった場合、またはメインスイッチをOFFした場合は、センターメッセージディスプレイ内の車速表示が消え、コントロールレバーを上げてシステムを再作動させることはできません。もう一度セットし直してください。

車間距離警報

J138A-HA

車速が約40km/h以上のとき、先行車の減速の度合い、他車の割り込みなどにより、適切な距離が保てなくなるような場合は、つぎのように警告灯と警報ブザーで運転者に危険を知らせます。この場合はブレーキを踏んで適切な車間距離をあけてください。

先行車に接近し、車間距離が十分でないときは、警告灯が点灯し、警報ブザーが1回鳴ります。
「ピピイー」

先行車に衝突するおそれがあるときは、警告灯が点滅し、警報ブザーが断続的に鳴ります。
「ピッ、ピッ、ピッ・・・」

センターメッセージディスプレイ



I38A012A

- 注意**
- 警報ブザーが鳴らないような運転を心がけて下さい。
 - つぎの場合は警報しません。
 - ・車速が約40km/h以下のとき
 - ・方向指示器が作動しているとき
 - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ・レーザー汚れ表示が点灯しているとき → 「レーザー汚れ」 P. 94
 - ・車間距離警報システム表示灯が点滅しているとき
 - つぎの場合は警報ブザーは鳴りません。
 - ・車間距離警報システム表示灯が点灯しているとき
(センターメッセージディスプレイ内の車間警告灯は作動します。)

車間距離警報システム表示灯

車間 消灯!

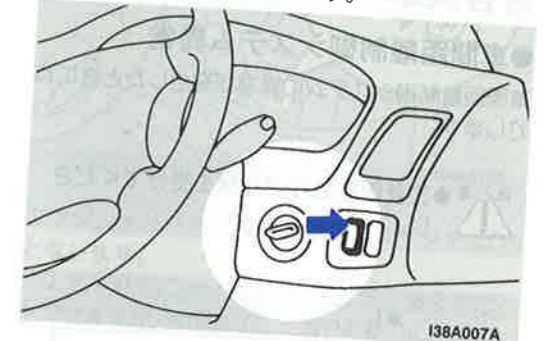


I38A008Z

- 雨、霧、雪などの気象条件、先行車のリフレクターの汚れ具合などにより、正しく警報しない場合があります。
- 道路周辺に設置されている反射物などに誤って反応する場合があります。
- カーブ路など、走行条件によっては他レーンの車両に誤って反応する場合があります。

●警報ブザーを止めるときは

車間距離警報ブザーOFFスイッチを押します。メーター内の車間距離警報システム表示灯は消灯します。表示灯が消灯しているときは警報ブザーは鳴りません。もう一度押すとONに戻ります。



I38A007A

車間距離制御システム表示灯

車間 消灯!



I38A008A

- アドバイス**
- 車間距離制御システム作動中(含む、定速走行中)は車間距離警報ブザーOFFスイッチを押しても警報ブザーを止めることはできません。
 - 車間距離制御システムをセットすると、車間距離警報システム表示灯が点灯します。ただし、車間距離制御システムが解除されると、もとのスイッチの設定状態に戻ります。
 - エンジンをかけると自動的に車間距離警報スイッチはONになります。
 - 警報ブザーを止めてもセンターメッセージディスプレイ内の警告灯は点灯します。

●警報のみ使用するときは

車間距離制御システム(含む、定速走行)を作動させないで走行すると、車間距離警報(警告灯と警報ブザー)のみ作動させることができます。

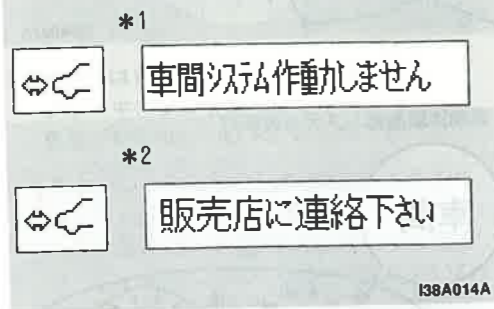
警告表示

J138A-1A

●車間距離制御システム異常

車間距離制御システムに異常が発生したときに点灯します。

注意 ●三菱販売会社で点検を受けてください。

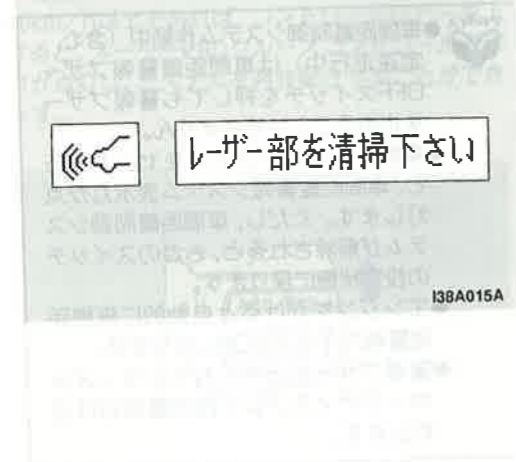


I38A014A

*1と*2を交互に表示します。

●レーザー汚れ

レーザー受発光部が汚れて車間距離の測定が困難な場合に点灯します。



I38A015A

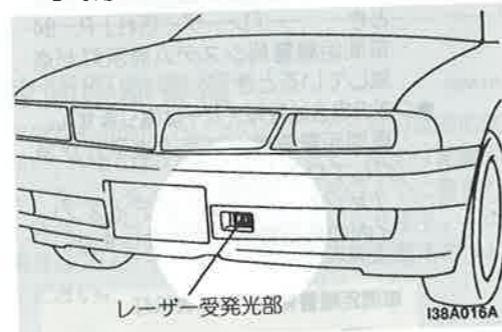
お手入れ

J138A-JA

●レーザー受発光部

レーザー受発光部が汚れているときは、つぎの要領で清掃してください。

- 1. エンジンを切り、レーザー受発光部を水洗いして汚れを落とします。



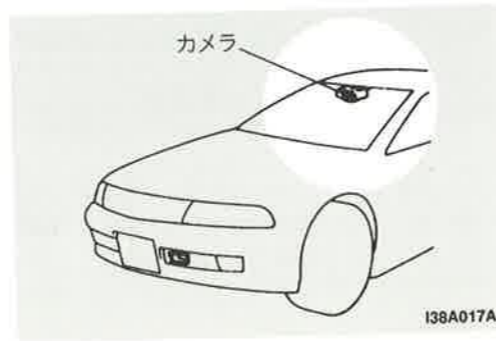
I38A016A

- 2. 約15km/h以上で10秒以上走行した後、表示が点灯しないことを確認します。

注意 ●清掃後も点灯するときは三菱販売会社で点検を受けてください。
●走行前に「レーザー汚れ」警告灯が点灯していないことを確認してください。
●レーザー受発光部は常にきれいにしておいてください。

●カメラ

ルームミラーの裏側に、先行車を確認するためのカメラが装着されています。清掃が必要な場合は三菱販売会社にご相談ください。



I38A017A

注意 ●カメラのレンズ周辺およびカメラ前方のウィンドウガラスにはステッカー、アクセサリなどを取り付けないでください。
●カメラのレンズに指などが触れないようにしてください。
●ルームミラーに強い衝撃、力を与えないでください。カメラの光軸が狂い、正しく機能しなくなるおそれがあります。万一、ルームミラーに強い衝撃を与えた場合は、カメラの機能を確認するため三菱販売会社で点検を受けてください。

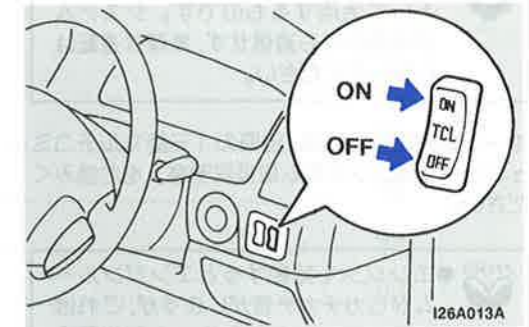
トラクションコントロール (TCL)★

J126A-DA

トラクションコントロール(TCL)は滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に、旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を確保する装置です。ただし、TCLが作動中でも過信せず、無理な運転はしないでください。

注意 ●TCLには積極的にブレーキをかける機能はありません。カーブの手前では十分に速度を落としてください。
●雪道、凍結路を走るときはタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着し、控えめな速度で運転してください。
●TCL表示灯が点灯したときは路面が滑りやすい状態が、加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめ、控えめな運転をしてください。
●応急用タイヤなどサイズの異なるタイヤを装着したときは、TCLスイッチをOFFにしてください。

TCLスイッチ



I26A013A

エンジンをかけると自動的にTCLスイッチはONとなります。TCLスイッチによりTCL OFFに切り換えることもできますが、通常はTCL ONでお使いください。

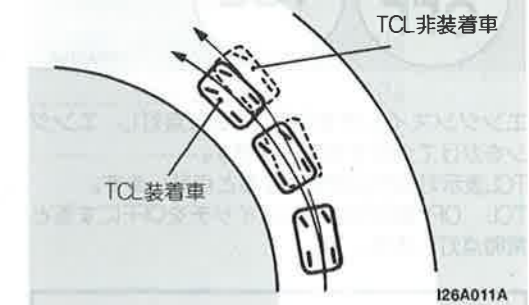
TCLにはSLIP制御とTRACE制御の2つの機能があります。

●SLIP(スリップ)制御

滑りやすい路面での発進時や旋回加速時に生じる駆動輪の空転を防止し、駆動力を確保します。

●TRACE(トレース)制御

旋回加速時に生じる車体軌道の外側へのふくらみを抑え、安定したコーナーリングが行えます。



I26A011A

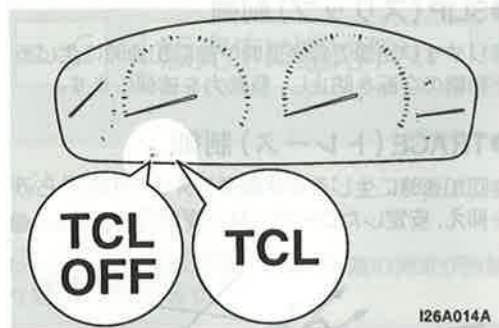
MMCS付き車は、オーバースピードでのカーブ進入が予測される場合は、カーブ進入前に自動的に減速します。この制御はルート案内に従って走行している場合に作動します。

アドバイス ●このシステムは安全運転の補助手段として活用するものです。システムが作動中でも過信せず、無理な運転はしないでください。

ルート案内については、別冊の「三菱マルチコミュニケーションシステム取扱説明書」をお読みください。

アドバイス ●エンジンを始動するとエンジンルームからカチカチ音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。
●ぬかるみ、新雪などからの脱出時、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転が上がらない場合があります。

表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。TCL表示灯はTCLが作動すると点灯します。TCL OFF表示灯はTCLスイッチをOFFにすると常時点灯します。

注意 ●TCL OFF表示灯が点灯したまま、または点滅したときは装置の故障が考えられますので三菱販売会社で点検を受けてください。

フルタイム4WD

J142A-A

走行について

●オンロード専用車です。無理な運転はしないで

フルタイム4WD車といってもどこでも走れる万能車ではありません。一般の車と同様、ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い次のような点に注意し、安全運転に心がけてください。

1. オフロード走行は避ける。
2. 渡河などの水中走行はしない。
3. 滑りやすい路面では十分な車間距離をとる。
4. 後輪がぬかるみにはまったときはむやみに空転させない。

(リミテッドスリップディファレンシャル付き車)

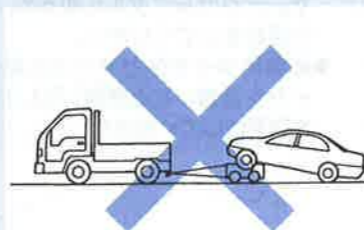
けん引について

J142C-AA

●必ず4輪を持ち上げて搬送してください

フルタイム4WD車は通常のレッカー車によるけん引ができません。必ず4輪を持ち上げてけん引してください。

注意 ●前輪や後輪を台車などに乗せてレッカー車でけん引することは、絶対にしないでください。駆動装置が過熱し、焼き付きを起こしたり、車が前に飛び出し危険です。レッカー車による搬送のしかたは三菱販売会社にご相談ください。



N25A047Z

室内装備

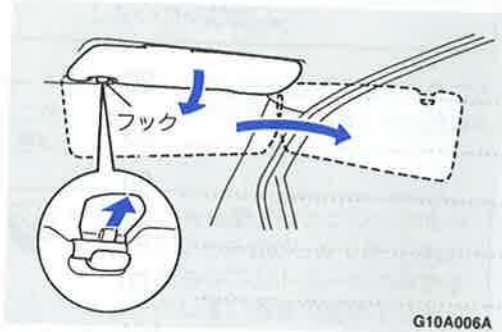
サンバイザー	98
バニティーミラー	98
灰皿	99
シガレットライター	100
アクセサリーソケット	100
ルームランプ	101
マップランプ	101
リヤパーソナルランプ	101
イルミネーテッドエントリーシステム	102
時計	102
グローブボックス	102
フロアコンソールボックス	103
カップホルダー	103
コインボックス	103
プッシュ式カードホルダー	104
小物入れ	104
シークレットボックス	104
リヤシェルフボックス	104
トランクフロアボックス	105

サンバイザー

JG10A-E

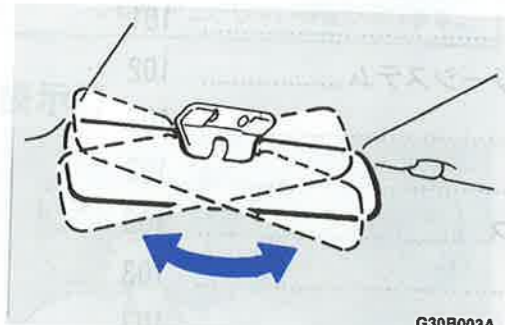
左右サンバイザー

前面だけでなく、フックから外せば側面にも回せます。



G10A006A

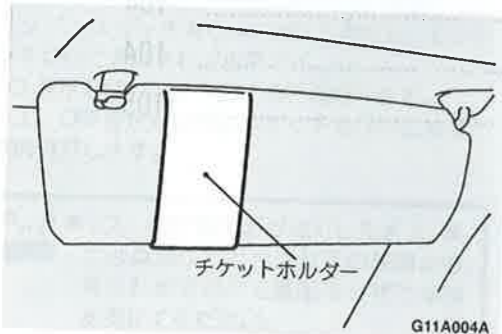
センターバイザー★



G30B003A

チケットホルダー

運転席サンバイザーの裏側にあり、通行券などをはさむことができます。



G11A004A

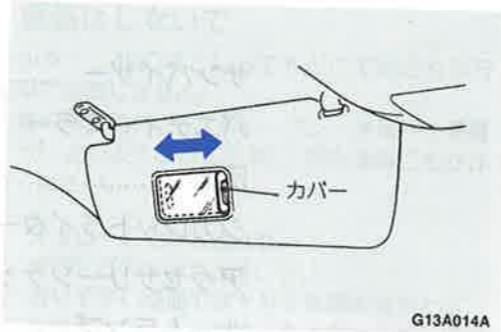
バニティーミラー

JG13A-M

助手席サンバイザーの裏側にあります。

照明無し

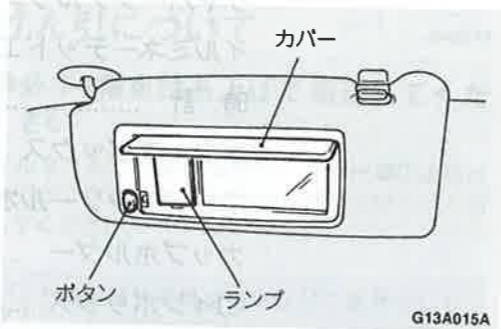
カバーをスライドさせます。



G13A014A

照明付き

ボタンを押すとカバーが開きます。



G13A015A



●ライトスイッチがON またはOFFの位置のとき、カバーを開くとランプが点灯します。

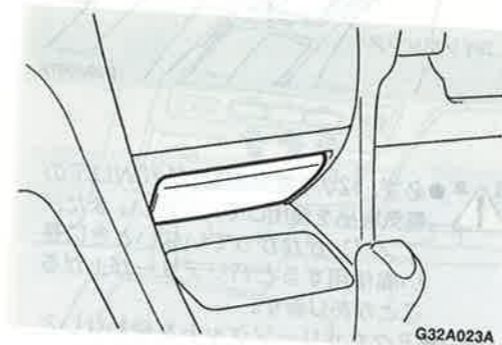
灰皿

JG32A-J

- 注意 ●タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ、使用後は必ず閉めてください。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり、紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。火災の原因となります。

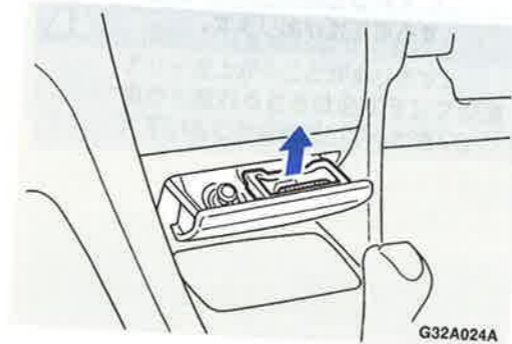
●前席用

Aタイプ 灰皿を押すと自動的に出てきます。
Bタイプ 灰皿を手前に引き出します。



G32A023A

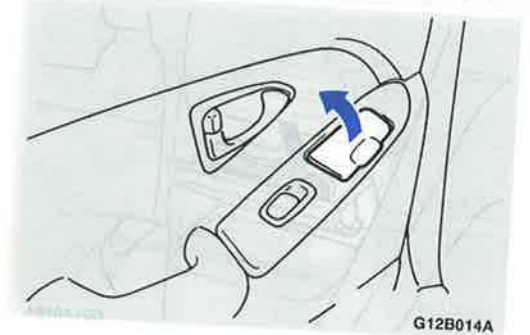
掃除するときは、灰皿のふちを持って引き上げます。



G32A024A

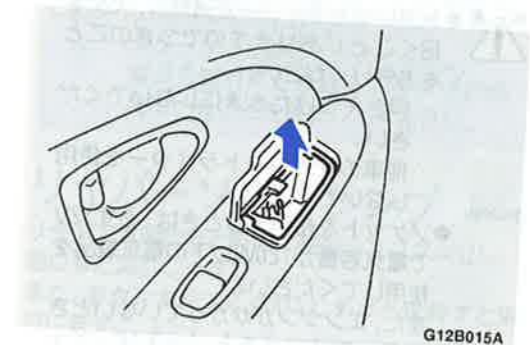
●後席用

使用するときにはフタを開けます。



G12B014A

掃除するときは灰皿のフタを持って引き上げます。



G12B015A

シガレットライター JG31A-GA

エンジンスイッチがONまたはACCのときにシガレットライターを押し込んで手を離します。しばらくすると音がして戻ります。



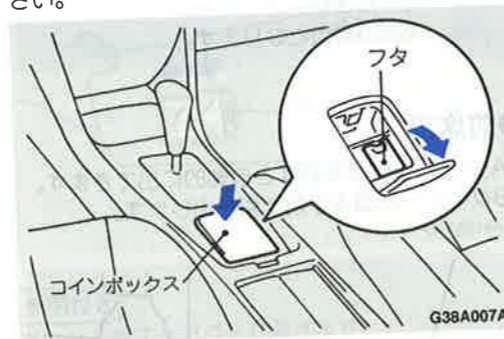
G31A016A

- 注意**
- シガレットライターが過熱し、火災を招くことがありますのでつぎのことをお守りください。
 - ・押さえつけたままにしないでください。
 - ・他車のシガレットライターを使用しないでください。
 - ソケットを使用するときは、必ず12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。また、エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
 - 子供にシガレットライターを扱わせないでください。
 - シガレットライターを扱うときは、熱している部分や、その近くはさわらずにノブのみをさわってください。

処置 ●シガレットライターを押し込んでから30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き抜き、三菱販売会社で点検を受けてください。

アクセサリースOCKET JG38A-G

コインボックス内にあります。フタを開け、エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。



G38A007A

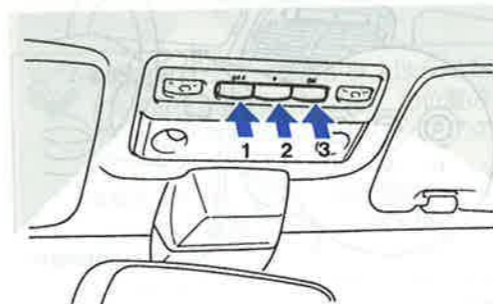
- 注意**
- 必ず、12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。また、エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
 - アクセサリースOCKETを使わないときはフタを閉めておいてください。プラグタイプ以外のものをソケットに入れると故障したり、またショートする可能性があります。

ルームランプ JE29A-FA

- 1 (OFF) ーすべてのドアの開閉に関係なく消灯します。
- 2 (●) ーいずれかのドアを開けると点灯、閉じると徐々に減光しながら約7秒後に消灯します。ただし、エンジンスイッチがONのときは減光しません。

アドバイス ●ドアが開まっているときに、キーを抜くと、5秒間減光点灯し、徐々に減光して約5秒後に消灯します。

- 3 (ON) ーすべてのドアの開閉に関係なく点灯します。

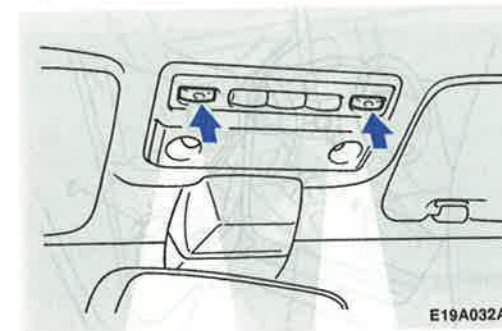


E19A031A

- 注意**
- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

マップランプ JE09C-CA

ボタンを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



E19A032A

- 注意**
- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

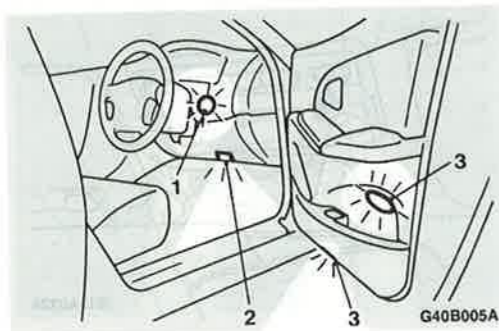
リヤパーソナルランプ JE09D-B

リヤドアを開けると開けた側のランプが点灯し、閉じると消灯します。また、ボタンを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



E19A033A

イルミネーテッド エントリーシステム JG40B-C



1 エンジンキー穴照明
運転席ドアを開いている間およびドアを閉めてから約15秒間、エンジンキー照明ランプを点灯させ夜間にキーの差し込みが楽に行えます。

アドバイス ●エンジンスイッチをONにすると消灯します。

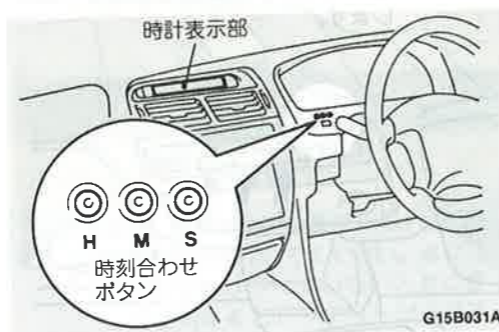
- 2 一足元照明
ドアを開くと点灯し、閉じると数秒間で減光しながら消灯します。ただし、エンジンスイッチがONのときは減光しません。
- 3 ドア照明
ドアを開くと点灯し、閉じると消灯します。

時計 JG15B-N

時刻の合わせ方

それぞれのボタンを指やペン先で押して調整します。

- H — “時” 合わせ
押している間“時”を早送りします。
- M — “分” 合わせ
押している間“分”を早送りします。
- S — 時報合わせ
押すと同時につきのように修正されます。
・ 0~29分は切り下げ
・ 30~59分は切り上げ

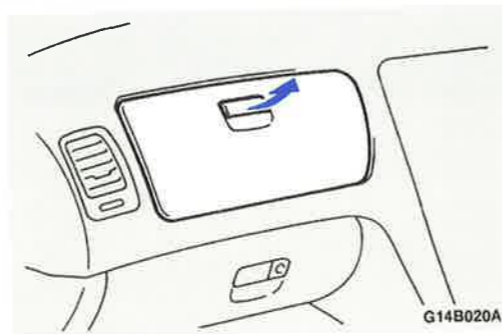


アドバイス ●バッテリー端子をはずし、再接続したときは時刻を合わせてください。

グローブボックス JG14B-Q

●アッパーグローブボックス

助手席エアバッグ非装着車
レバーを引くと開きます。



●キー付きグローブボックス(照明付き)

レバーを引くと開きます。
マスターキーで施錠・解錠ができます。

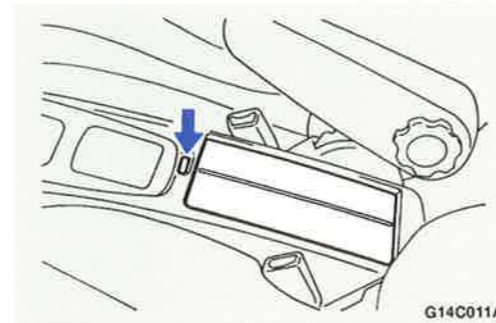


アドバイス ●照明付きグローブボックスはライトスイッチがON またはOFF の位置のときにボックスを開くとランプが点灯します。
●車を離れるときはグローブボックス内に貴重品を入れたままにしないでください。

注意 ●走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合、フタや内部の小物だけがをるおそれがあります。

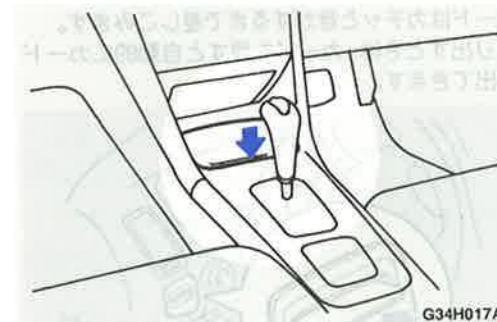
フロアコンソールボックス★ JG14C-I

ボタンを押すと開きます。

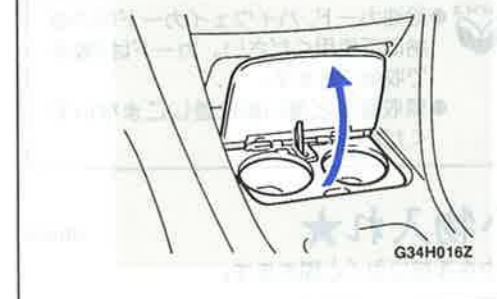


カップホルダー JG34H-J

フタの手前側を押すとフタが開きます。

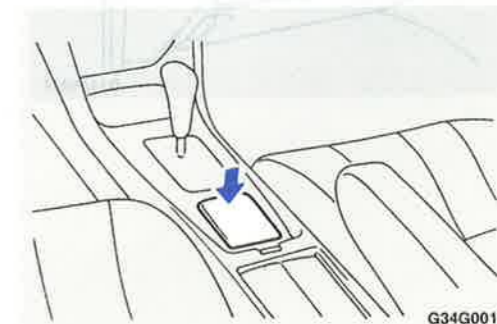


アドバイス ●ホルダーを上げると小物入れとしても使用できます。



コインボックス (アクセサリソケット内蔵) JG34G-A

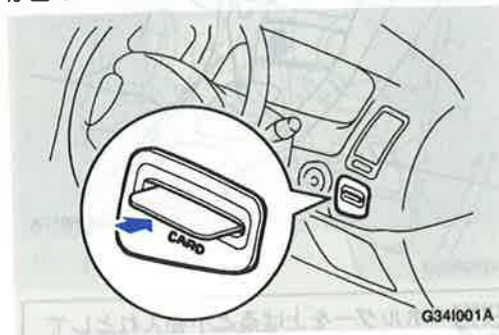
フタの前側を押すとフタが開きます。



プッシュ式カードホルダー★

JG34I-A

カードはカチッと音がするまで差しこみます。取り出すときは、カードを押すと自動的にカードが出てきます。



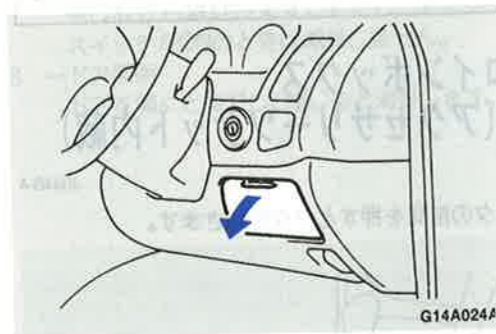
G34I001A

- アドバイス**
- 給油カード、ハイウェイカード等の収納にご使用ください。カードは3枚まで収納できます。
 - 領収書など薄い紙は差しこまないでください。

小物入れ★

JG14J-B

フタを手前に引くと開きます。

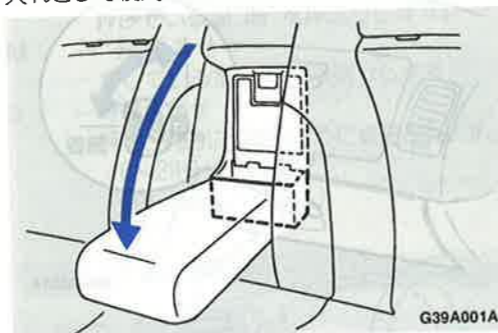


G14A024A

シークレットボックス (リヤシートアームレスト内)

JG39A-B

アームレストを倒すと、その奥のスペースを小物入れとして使用できます。

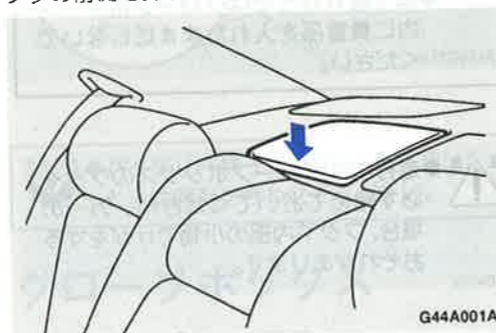


G39A001A

リヤシェルフボックス★

JG44G-A

フタの前側を押すとフタが開きます。

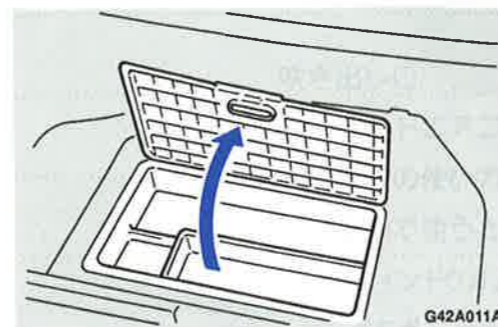


G44A001A

トランクフロアボックス

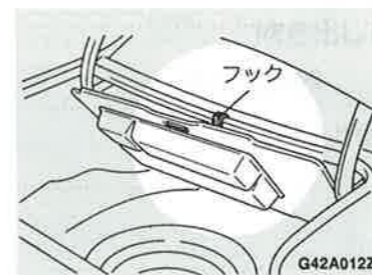
JG42A-D

トランクルーム内に小物入れがあります。工具、停止表示板、救急箱などを収納できます。



G42A011A

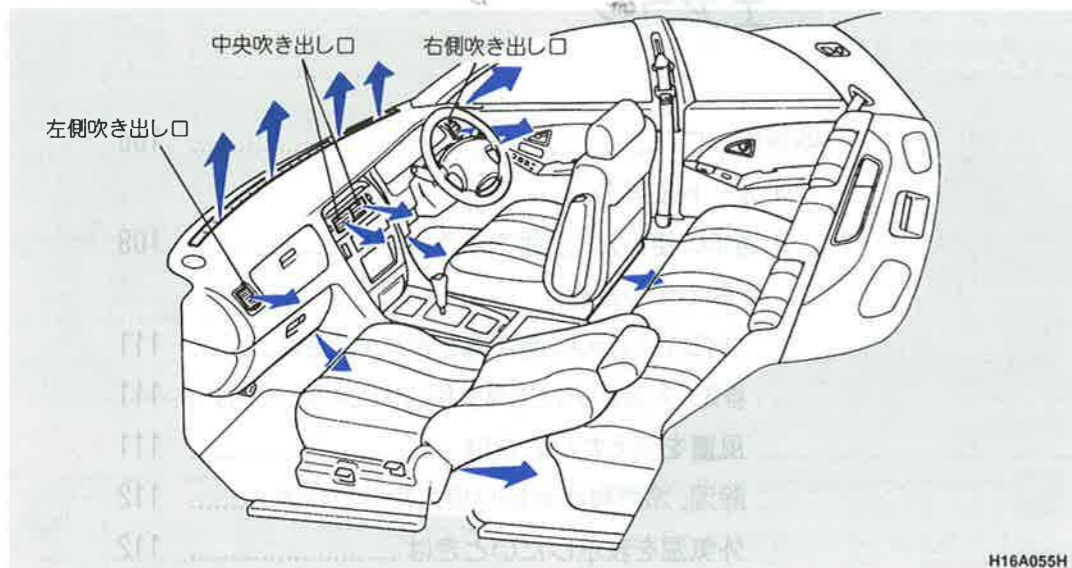
- アドバイス**
- スペアタイヤ脱着時には、ウェザーストリップにフックを掛けて、トランクフロアボックスを固定することができます。



G42A012Z

吹き出し口

JH16A-V



H16A055H

風量・風向き調整

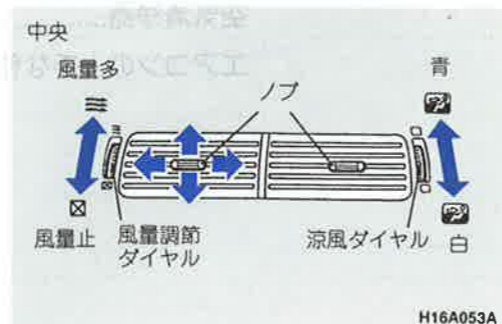
ノブ・ダイヤルを動かして調整します。

涼風ダイヤル

☀️ (暖房), 🌬️ (暖房およびウィンドウガラス送風), 🌀 (曇り取り) のとき、温風による上半身のほてりを解消するため、中央吹き出し口から涼風を出すことができます。

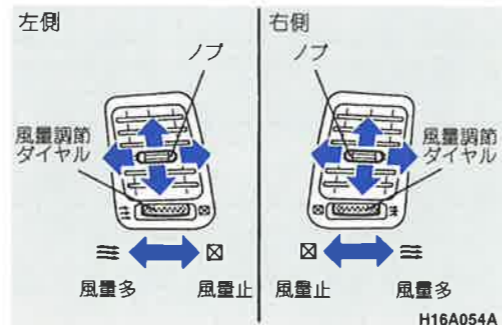
🟢 (青) の位置にすると、外気導入時やエアコン作動時に常に涼風を出します。

🟡 (白) の位置にすると、涼風が止まります。ただし、🌬️, 🌀 のときは送風されます。



H16A053A

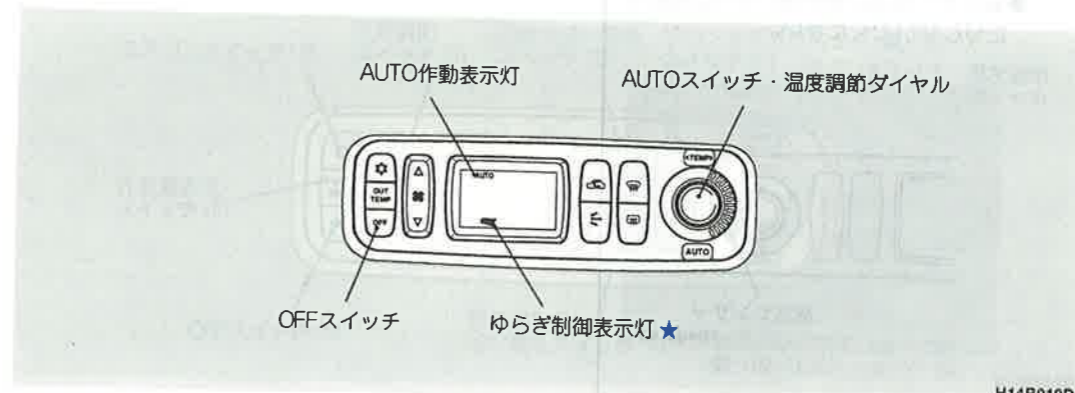
アドバイス ● 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。



H16A054A

フルオートエアコン

JH14B-SA



H14B019D

通常の使い方(自動で使うとき)

1. AUTOスイッチを押します。
2. 温度調節ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を17~32の間で調節できます。

吹き出し口の切り換え(🌬️, 🌀を除く), 風量, エアコンのON/OFFおよび、内外気の切り換えの自動調整をします。

作動を止めたいときはOFFスイッチを押します。

ゆらぎ制御★

風量に強弱の変化をつけて自然の風のような快適さを与えます。

🌬️ のとき、AUTOスイッチを押すと自動的にゆらぎ制御となり、ゆらぎ制御表示灯が点灯します。もう一度押すと風量は一定になります。

アドバイス ● 風量が最大のときにはゆらぎ制御は作動しません。

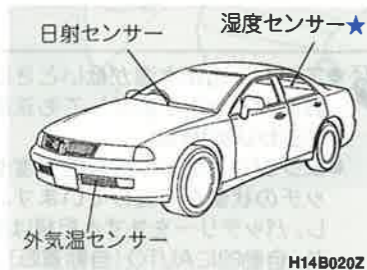
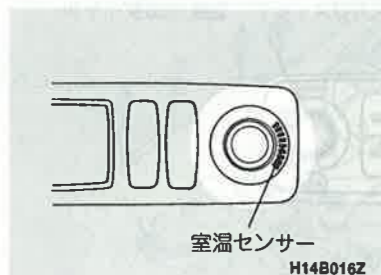
オートドライ機能★

車室内の湿度が高くなると自動的にエアコンをドライ運転に切り換えます。

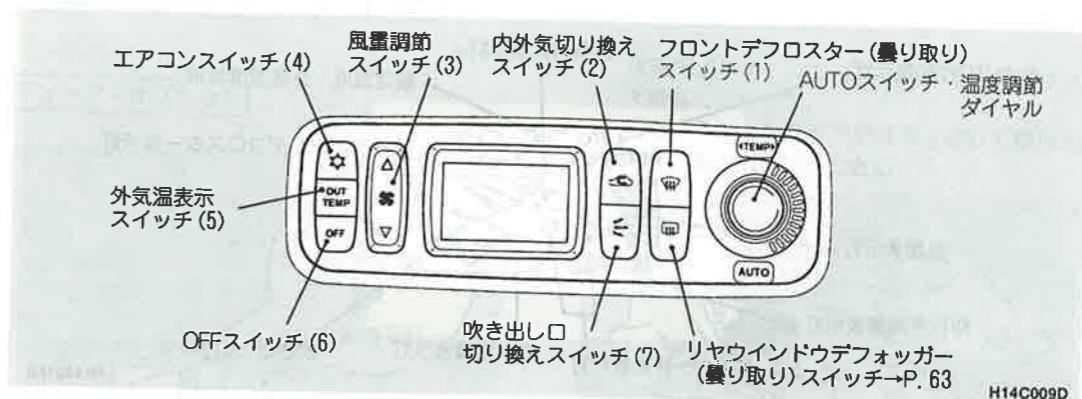
アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調節ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- エンジンを切っても設定温度やスイッチの状態を記憶しています。ただし、バッテリーを外すと記憶は消去され、自動的にAUTO(自動運転), 設定温度は25.0に設定されます。
- AUTO作動中に風量調節スイッチ, 吹き出し口切り換えスイッチ, 内外気切り換えスイッチまたはフロントデフロスタースイッチを押すと押したスイッチの機能が優先し、AUTO作動表示灯は消灯します。
- エアコンの表示灯は、ライトスイッチの操作によって明るく点灯したり、減光したりします。ライトスイッチを消し忘れたままでトンネルから出たときなどは表示灯が減光したままになる場合もありますが、異常ではありません。

●センサーの上に物を置いたり、おおったりしないでください。



注意 ●エアコン作動表示灯が点滅したときは、エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチ(☆)を押してエアコンを切ってから再度スイッチを押してエアコンをONにしてください。これでエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。再び点滅するときは三菱販売会社で点検を受けてください。



手で使うとき

JH14C-EB

お好みに合わせてスイッチを操作してください。AUTO(自動)作動中でも、押したスイッチの機能が優先されます。押したスイッチ以外は自動制御されます。すべての作動をAUTOに戻したいときは、AUTOスイッチを押してください。停止するときはOFFスイッチを押します。

●ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは

フロントデフロスター(曇り取り)スイッチ(1)を押します。表示灯が点灯し、自動的にエアコンが作動し、吹き出し口を FRONT に固定します。早く曇り、霜を取りたいときは風量調節スイッチで風量を最大にし、温度調節ダイヤルで温度を最高に設定してください。

アドバイス ●ドアウインドウガラスの曇りを取りたいときは両側の吹き出し口をドアウインドウに向けてください。

●排気ガス、ほこりなどを車室内に入れたくないときは

トンネルや渋滞など外気がよごれているときは内外気切り換えスイッチ(2)を押して内気循環にします。スイッチを押すと外気導入(外気を車室内に入れる)と内気循環(外気をシャ断する)の切り換えができます。

注意 ●通常は外気導入で使用してください。
●長時間内気循環(内気循環)にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなります。

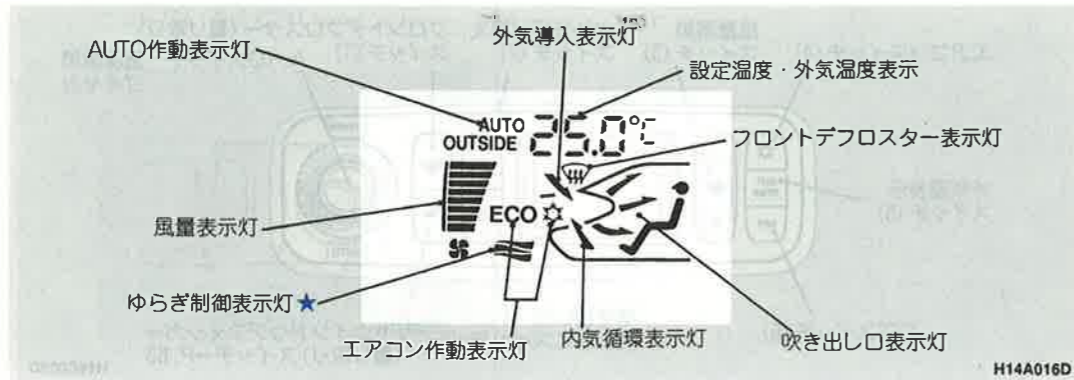
●風量を変えたいときは

風量調節スイッチ(3)を押して好みの風量にします。

- ▲ 風量が多くなる。
- ▼ 風量が少なくなる。



H14A012A



●除湿・冷房機能を切り換えたいときは

エアコンスイッチ(4)を用途に合わせて押します。スイッチを押すごとにECO[☆], [☆], エアコン停止、に切り換わり、同時に表示灯も切り換わります。

ECO[☆] (省エネ運転)

一春、秋などの湿度の低いときにご使用ください。エアコンのコンプレッサーを必要に応じて作動させ、省エネ運転を行います。

[☆] (常時エアコン作動)

一特に暑いとき、除湿するときに効果があります。エアコンのコンプレッサーを常時作動させ、除湿・冷房運転を行います。

コンプレッサーとは

冷房をするには、エンジンによって回されるコンプレッサーを作動させる必要があります。コンプレッサーは家庭用エアコンの室外機の一部に相当します。

●外気温を表示したいときは

外気温表示スイッチ(5)を押すと外気の温度を表示します。もう一度押すと設定温度表示に戻ります。なお、外気温が0℃以下になるとアラーム音が鳴り、自動的に一時、外気温を表示します。

アドバイス ●停車中など、外気温センサーがエンジンルームの熱や路面の照り返しの影響を受け易いときは、表示される外気温度は実際の温度より高くなる場合があります。

●すべての作動を停止したいときはOFFスイッチ(6)を押します。

●吹き出し口を切り換えたいときは

吹き出し口切り換えスイッチ(7)を押すごとに吹き出し口が切り換わります。

	上半身に送風したいとき
	上半身と足元に送風したいとき
	足元に送風したいとき
	足元とウインドウガラスに送風したいとき
	ウインドウガラスに送風したいとき

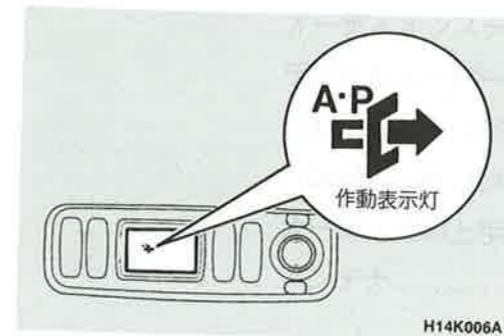
アドバイス ●ウインドウガラスの曇りを取りたいときはフロントデフロスター(曇り取り)スイッチを押してください。

→P. 111

空気清浄器
(エアピュリファイヤ)

JH14K-C

ディーラーオプション



ファンが作動すると空気清浄器が作動し、作動表示灯が点灯します。なお、作動表示灯が約60秒間点滅し、その後空気清浄器が自動停止した場合は、フィルターの洗浄が必要です。また、作動表示灯が点滅し続ける場合は、故障が考えられますので三菱販売会社へ依頼してください。

アドバイス ●雨の日や霧の日などに外気導入で走行を続けると、作動表示灯が点滅することがあります。これはシステム保護のため、空気清浄器の作動を一時的に停止したことによるものです。天気が回復した後、再び点滅しなければ異常ではありません。

エアコンの上手な使い方

対応の車種 JH04J-Y

1. 長時間炎天下に駐車したとき車室内の温度は大変高くなります。このようなときはドアガラスを開けて熱風を車外に追い出してください。



2. 長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので、少し涼しいと感じる温度に調整してください。



3. 暑くなる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

冷媒ガス量の点検

エアコンを最大冷房にして、エンジンルームにあるレシーバーの点検窓をのぞき、泡の状態を観察します。
点検窓は、エンジンルーム内のバッテリーカバーを開けるとあります。



H04J008A

- 少量の泡 — 適正
- 多量の泡 — 不足
- 無色 — なし

アドバイス ●冷媒が不足またはない場合は三菱販売会社で補充を受けてください。

注意 ●エンジンルームを点検するときは、ファンやドライブベルトなどに衣服や髪、手等を巻きこまれないように注意して作業してください。

オーディオ

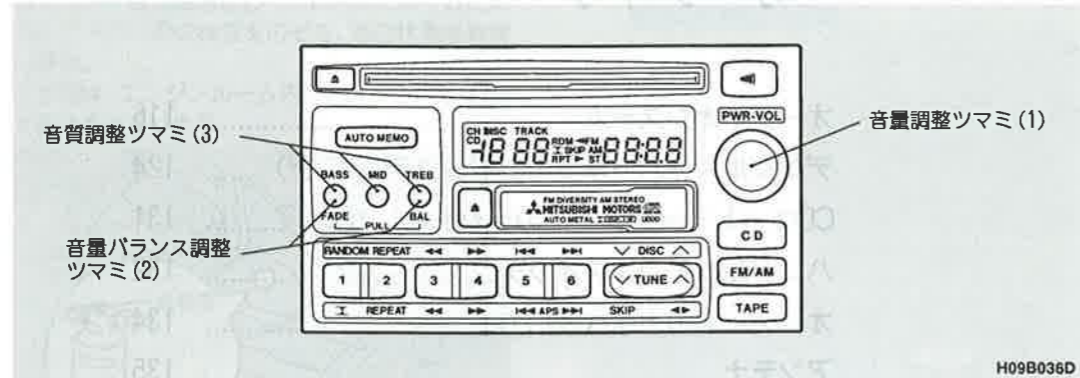
オーディオシステム	116
デジタルスーパーサラウンドシステム (DS ³)	124
CDオートチェンジャーのセットのしかた	131
ハンドルリモコンスイッチ	132
オーディオの上手な使い方	134
アンテナ	135



オーディオシステム

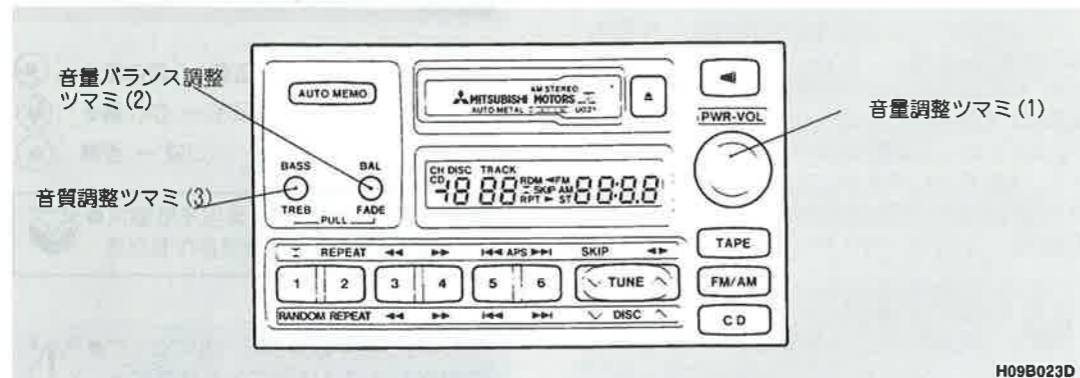
JH09B-F

Aタイプ



H09B036D

Bタイプ

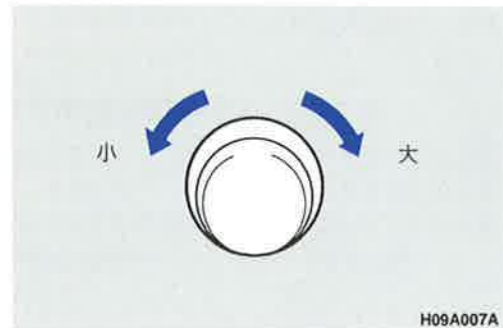


H09B023D

音量・音質調整のしかた

●音量調整

音量調整ツマミ(1)で調整します。



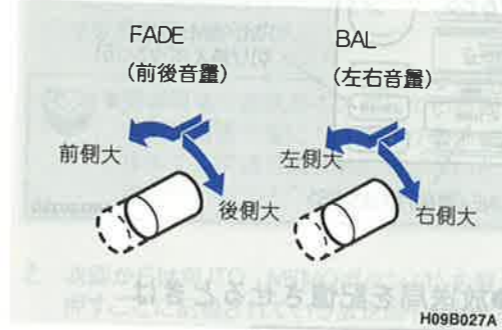
H09A007A

注意 ●運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。

●音量バランス調整

Aタイプ

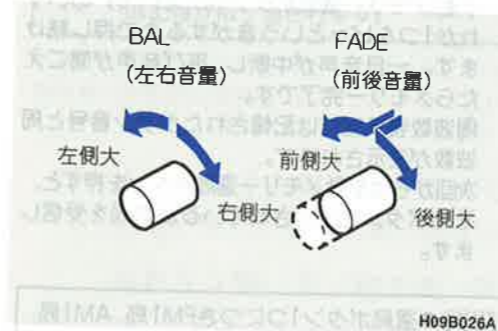
音量バランス調整ツマミ(2)を押しとび出したあと、さらに引き出して調整します。調整後はツマミを押しして元に戻します。



H09B027A

Bタイプ

左右音量は、音量バランス調整ツマミ(2)を押し、とび出した状態で調整します。前後音量はツマミをさらに引き出して調整します。調整後はツマミを押しして元に戻します。

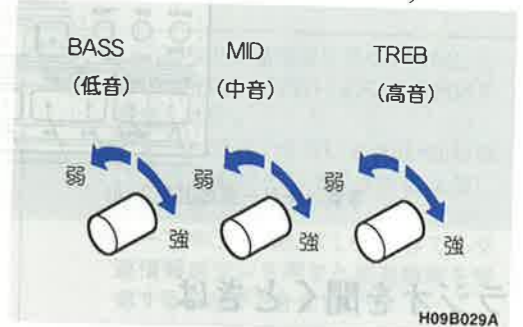


H09B026A

●音質調整

Aタイプ

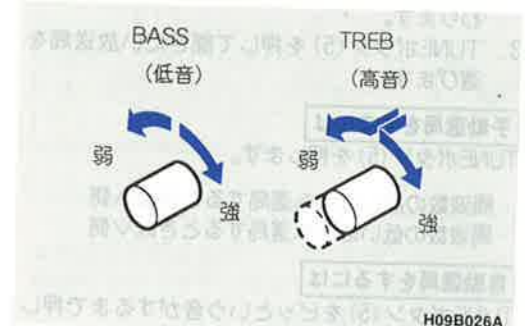
音質調整ツマミ(3)を押し、とび出した状態で調整します。調整後はツマミを押しして元に戻します。



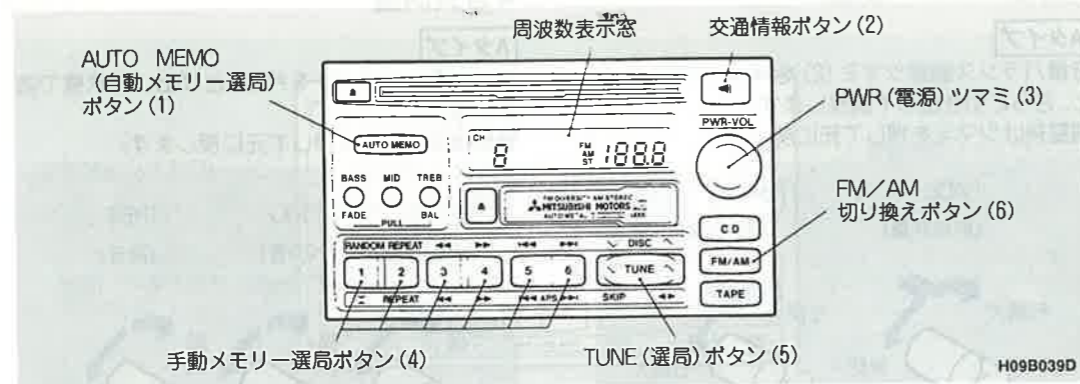
H09B029A

Bタイプ

低音は、音質調整ツマミ(3)を押し、とび出した状態で調整します。高音はツマミをさらに引き出して調整します。調整後はツマミを押しして元に戻します。



H09B026A



ラジオを聞くときは

1. エンジンスイッチがONまたはACCのときにPWRツマミ(3)を押して電源を入れます。止めたいときはもう一度ツマミを押します。
2. FM/AM切り換えボタン(6)を押します。ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり、ラジオの状態のときはFM/AMが切り換わります。
3. TUNEボタン(5)を押して聞きたい放送局を選びます。

手動選局をするには

TUNEボタン(5)を押します。

- ・周波数の高いほうへ選局するときは△側
- ・周波数の低いほうへ選局するときは▽側

自動選局をするには

TUNEボタン(5)をピッと音がするまで押し続けます。

- ・周波数の高いほうへ選局するときは△側
- ・周波数の低いほうへ選局するときは▽側

アドバイス ●受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

●放送局を記憶させるときは

手動で記憶させるときは

FM, AM放送局を各6局まで記憶させることができます。

1. TUNEボタン(5)を押して記憶させたい放送局を受信します。
2. 手動メモリー選局ボタン(4) [1~6] のいずれか1つをピッと音がするまで押し続けます。一旦音声が中断し、再び音声が聞こえたらメモリー完了です。周波数表示窓には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
3. 次回からは手動メモリー選局ボタンを押すと、そのボタンに記憶されている放送局を受信します。

アドバイス ●選局ボタン1つにつきFM1局, AM1局の2局を記憶することができます。
●バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

自動で記憶させるときは

受信可能なFM, AM放送の各10局を受信状態の良好な順に自動で記憶することができます。周波数や放送局がわからない地方で記憶するときには有効です。

1. AUTO MEMOボタン(1)をピッと音がするまで押し続けます。

アドバイス ●受信可能な放送局をさがしている間は周波数表示窓に“A”文字が表示されます。受信可能な放送局がないときは“———”と表示されます。

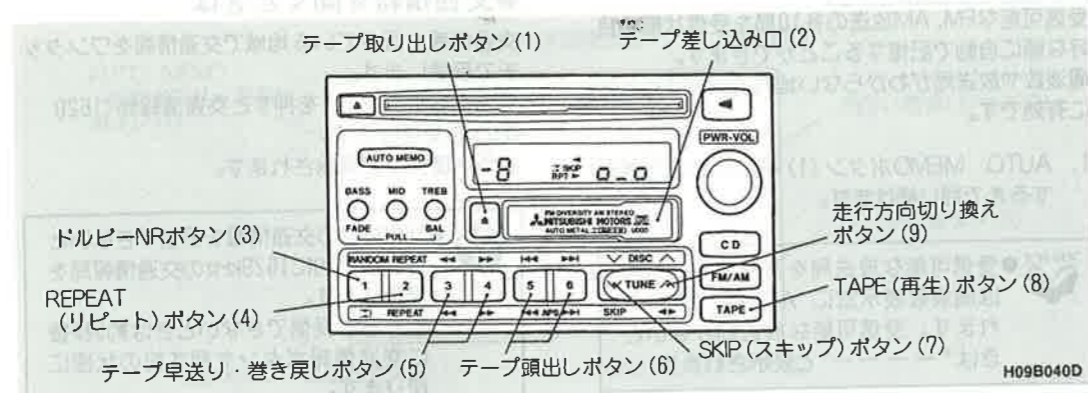
2. 次回からはAUTO MEMOボタン(1)を軽く押しごとに記憶されている放送局を受信状態の良好な順に受信します。

アドバイス ●受信可能な放送局が10局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
●バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

●交通情報を聞くときは

交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。交通情報ボタン(2)を押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。もう一度押すと解除されます。

アドバイス ●1620kHzの交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。どちらも受信できないときは約5秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
●テープやCDを聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。



テープを聞くときは

エンジンスイッチがONまたはACCのときにテープをテープ差し込み口(2)に入れ、軽く押し込むと再生が始まります。

テープの片面が終了したときは自動的にもう一面の演奏を開始します。

ラジオやCDを聞いていてテープに切り換えたいときはTAPEボタン(8)を押してください。

アドバイス ●メタルまたはクロムテープを入れるだけで自動的にメタル対応となります。

●ドルビー*NRボタンについて

ドルビーNRで録音したテープを使用するときはドルビーNRボタン(3)を押します。ボタンを押すと表示窓に表示灯が点灯します。もう一度押すと解除されます。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、およびダブルD記号はドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

●テープを取り出すときは

テープ取り出しボタン(1)を押します。テープモードのときボタンを押すと電源が切れます。

●早送り、巻き戻しをするときは

早送りをするときはテープ早送り・巻き戻しボタン(5)の▶▶側を、巻き戻しをするときは◀◀側を押します。

早送り・巻き戻しボタンをもう一度押すか、走行方向切り換えボタン(9)を押すと早送り(巻き戻し)が止まり再生が始まります。

●テープの走行方向を変えるときは

走行方向切り換えボタン(9)を押します。

●同じ曲を繰り返し聞くときは

REPEAT(リピート)ボタン(4)を押します。周波数表示窓に“RPT”と表示されます。もう一度押すと解除されます。

●無音部分を飛ばして聞くには

SKIP(スキップ)ボタン(7)を押します。周波数表示窓に“SKIP”と表示されます。もう一度押すと解除されます。

●頭出しをするときは

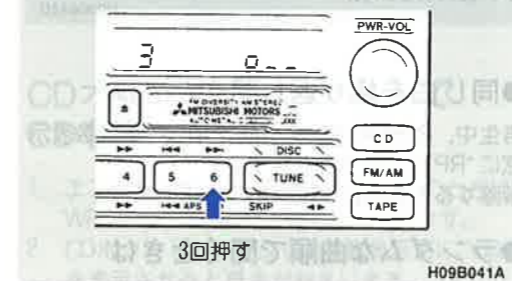
いま聞いている曲の前後7曲の中で聞きたい曲の頭出しをすることができます。

聞いている曲より後に聞きたい曲があるときは

1. テープ頭出しボタン(6)の▶▶側を飛び越したい曲数だけ押します。周波数表示窓には指定された曲数が表示されます。

2. 曲の初めまでテープが早送りされ、再生が始まります。

例：聞いている曲より3曲後の曲を聞きたいとき

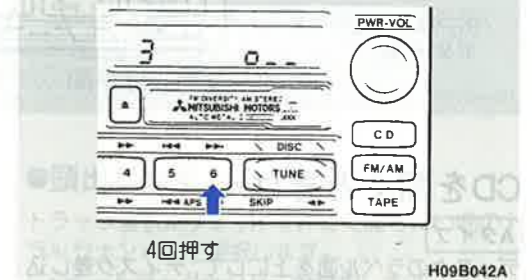


聞いている曲より前に聞きたい曲があるときは

1. テープ頭出しボタン(6)の◀◀側を飛び越したい曲数だけ押します。この場合、いま聞いている曲も曲数に含まれます。周波数表示窓には指定された曲数が表示されます。

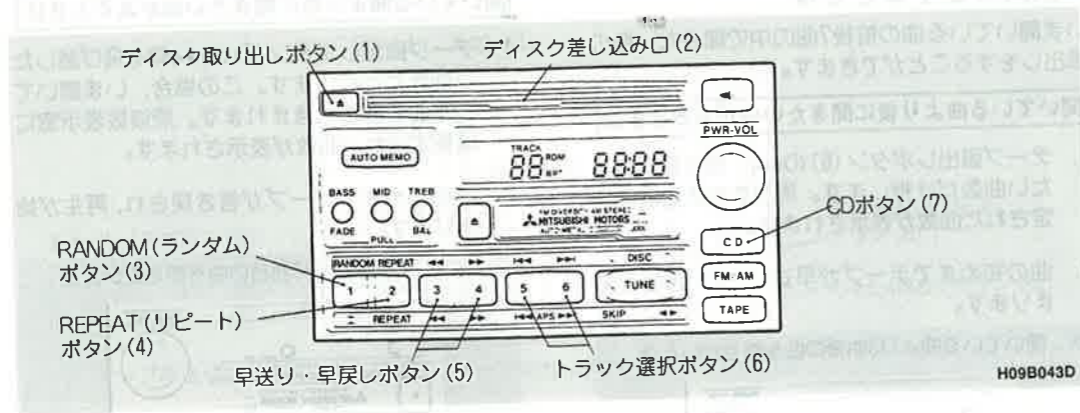
2. 曲の初めまでテープが巻き戻され、再生が始まります。

例：聞いている曲より3曲前の曲を聞きたいとき



アドバイス ●曲と曲との間の無音部分が4秒以内のときや、曲の間に大きな雑音が録音されていると、曲の頭で止まらないことがあります。

●声が途切れた状態が長く続いたり、ピアノシモのように非常に低いレベルの音が長く続くとそこで止まる場合があります。



CDを聞くときは

Aタイプ

ディスクのラベル面を上にして、ディスク差し込み口 (2) に入れ、軽く押し込むと再生が始まります。

アドバイス ●CDシングル (8cmディスク) はアダプターなしでそのまま使用できます。差し込み口のほぼ中央から差し込んでください。

ラジオやテープを聞いていてCDに切り換えたいときは、CDボタン (7) を押してください。

●CDを取り出すときは

ディスク取り出しボタン (1) を押します。CDモードのときボタンを押すと電源が切れます。

●早送り、早戻しをするときは

再生中、早送りするときは早送り・早戻しボタン (5) の▶▶ 側を、早戻しするときは◀◀ 側を押します。ボタンを押している間、早送り、早戻しとなります。

●頭出しをするときは

トラック選択ボタン (6) を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。
▶▶ トラックナンバーが増加します。
◀◀ トラックナンバーが減少します。

●同じ曲を繰り返し聞くときは

再生中、REPEATボタン (4) を押して周波数表示窓に“RPT”を表示させます。解除するときはもう1回ボタンを押します。

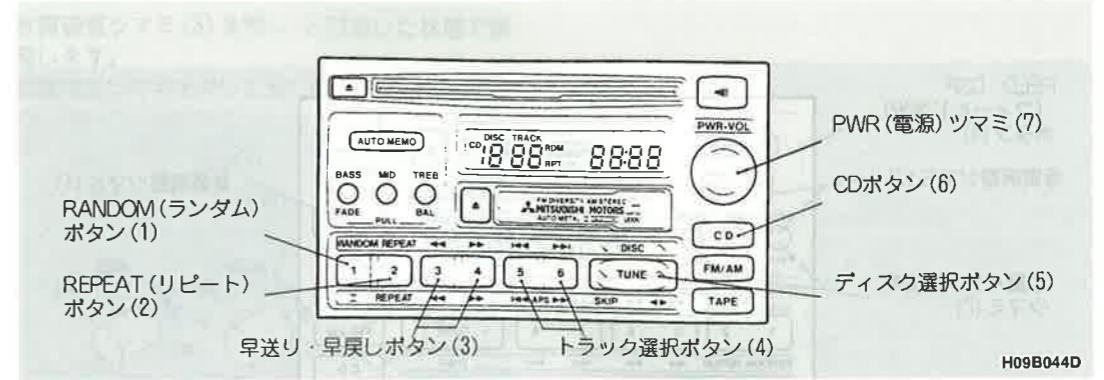
●ランダムな曲順で聞くときは

RANDOM (ランダム) ボタン (3) を押します。周波数表示窓に“RDM”と表示され、ディスクの曲順と異なった順に曲が再生されます。解除するときはもう1回ボタンを押します。

●CDオートチェンジャーに切り換えるときは★

CDボタン (7) を押して周波数表示窓に“CD”を表示させます。
「CDオートチェンジャーでCDを聞くときは」→P. 123

注意 ●外気温などによりプレーヤーが高温になると、プレーヤー内部を保護するため周波数表示窓に“E hot”と表示され、自動的にプレーヤーの機能を停止させます。プレーヤーの温度が下がれば表示は消え操作することができます。



CDオートチェンジャーでCDを聞くときは★

1. エンジンスイッチがONまたはACCのときにPWRツマミ (7) を押して電源を入れます。
2. CDボタン (6) を押して周波数表示窓に“CD”を表示させると再生が始まります。CDを止めるときはPWRツマミ (7) を押して電源を切るか、FM/AM切り換えボタン又はTAPEボタンを押して他のモードにします。

アドバイス ●CDオートチェンジャーでCDを聞いていて、CDプレーヤーに切り換えたいときは、もう一度CDボタン (6) を押します。(Aタイプのみ)

●早送り、早戻しをするときは

再生中、早送りするときは早送り・早戻しボタン (3) の▶▶ 側を、早戻しするときは◀◀ 側を押します。ボタンを押している間、早送り、早戻しとなります。

●ディスクを選択するときは

ディスク選択ボタン (5) を押して聞きたいディスクを選択します。
▲ ディスクナンバーが増加します。
▼ ディスクナンバーが減少します。

●頭出しをするときは

トラック選択ボタン (4) を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。
▶▶ トラックナンバーが増加します。
◀◀ トラックナンバーが減少します。

●同じ曲を繰り返し聞くときは

再生中、REPEATボタン (2) を押して周波数表示窓に“RPT”を表示させます。解除するときはもう1回ボタンを押します。

●ランダムな曲順で聞くときは

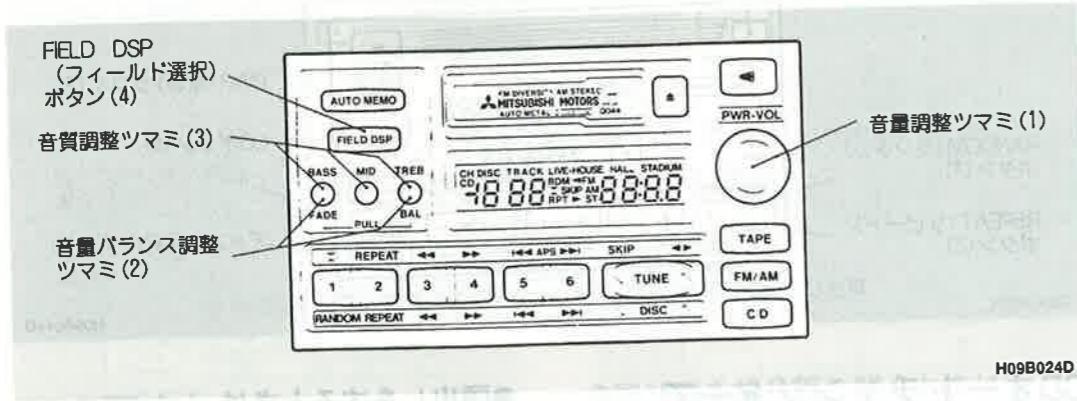
RANDOM (ランダム) ボタン (1) を押します。周波数表示窓に“RDM”と表示されます。セットした全てのディスクからオートチェンジャーがランダムに選曲し、再生されます。解除するときはもう1回ボタンを押します。

●CDをセットするときは

CDのセットのしかたについては「CDオートチェンジャーのセットのしかた」をお読みください。→P. 131

デジタルスーパーサラウンドシステム(DS³)

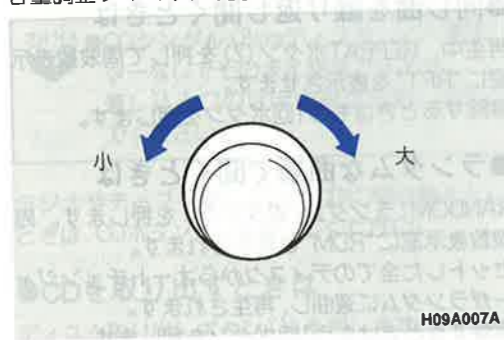
JH09B-E



音量・音質などの調整のしかた

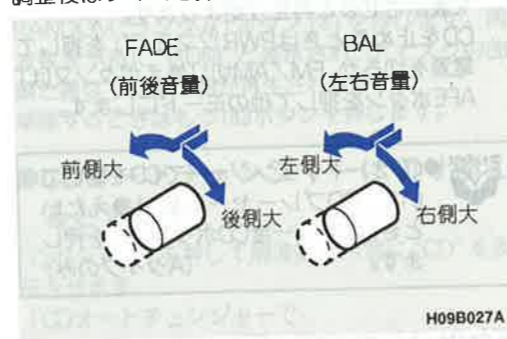
●音量調整

音量調整ツマミ(1)で調整します。



●音量バランス調整

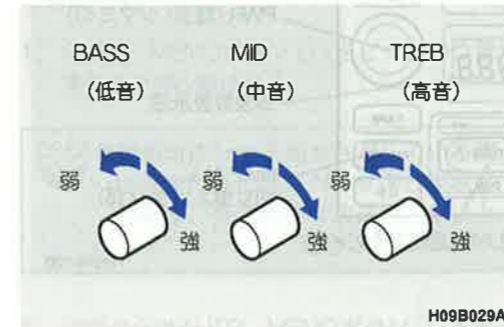
音量バランス調整ツマミ(2)を押しとび出したあと、さらに引き出して調整します。調整後はツマミを押しして元に戻します。



注意 ●運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。

●音質調整

音質調整ツマミ(3)を押し、とび出した状態で調整します。調整後はツマミを押しして元に戻します。



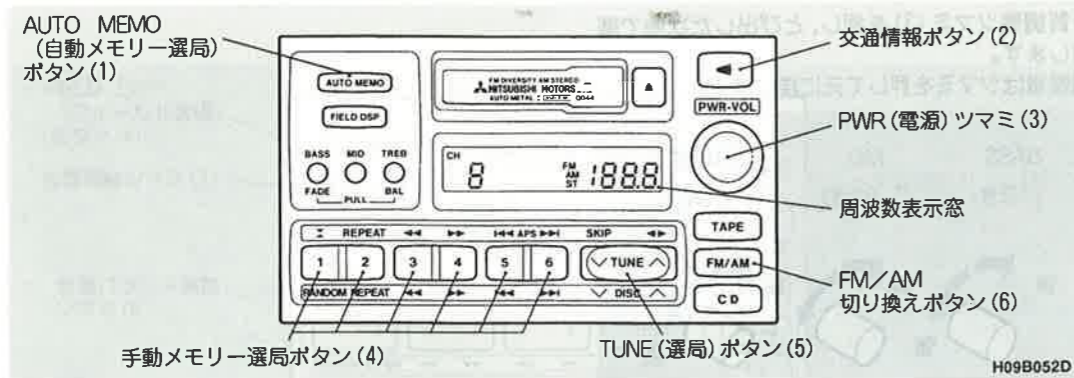
●フィールド(音場)の選択

FIELD DSP(フィールド選択)ボタン(4)を押すごとにフィールドが変わり、選択したフィールドが表示されます。

OFF → LIVE HOUSE → HALL
→ STADIUM → OFF



●交通情報ボタンを押すと、フィールド選択は“OFF”になりますが、交通情報を解除すれば元のフィールドに戻ります。



ラジオを聞くときは

1. エンジンスイッチがONまたはACCのときにPWRツマミ (3) を押して電源を入れます。止めたときはもう一度ツマミを押します。
2. FM/AM切り換えボタン (6) を押します。ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり、ラジオの状態のときはFM/AMが切り換わります。
3. TUNEボタン (5) を押して聞きたい放送局を選びます。

手動選局をするには

TUNEボタン (5) を押します。

- ・周波数の高いほうへ選局するときは△側
- ・周波数の低いほうへ選局するときは▽側

自動選局をするには

TUNEボタン (5) をピッと音がするまで押し続けます。

- ・周波数の高いほうへ選局するときは△側
- ・周波数の低いほうへ選局するときは▽側

アドバイス ●受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

●放送局を記憶させるときは

手動で記憶させるときは

FM, AM放送局を各6局まで記憶させることができます。

1. TUNEボタン (5) を押して記憶させたい放送局を受信します。
2. 手動メモリー選局ボタン (4) [1~6] のいずれか1つをピッと音がするまで押し続けます。一旦音声が中断し、再び音声が聞こえたらメモリー完了です。周波数表示窓には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
3. 次回からは手動メモリー選局ボタンを押すと、そのボタンに記憶されている放送局を受信します。

アドバイス ●選局ボタン1つにつきFM1局, AM1局の2局を記憶することができます。
●バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

自動で記憶させるときは

受信可能なFM, AM放送の各10局を受信状態の良い順に自動で記憶することができます。周波数や放送局がわからない地方で記憶するときには有効です。

1. AUTO MEMOボタン (1) をピッと音がするまで押し続けます。

アドバイス ●受信可能な放送局をさがしている間は周波数表示窓に“A”文字が表示されます。受信可能な放送局がないときは“———”と表示されます。

2. 次回からはAUTO MEMOボタン (1) を軽く押すごとに記憶されている放送局を受信状態の良い順に受信します。

アドバイス ●受信可能な放送局が10局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
●バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

●交通情報を聞くときは

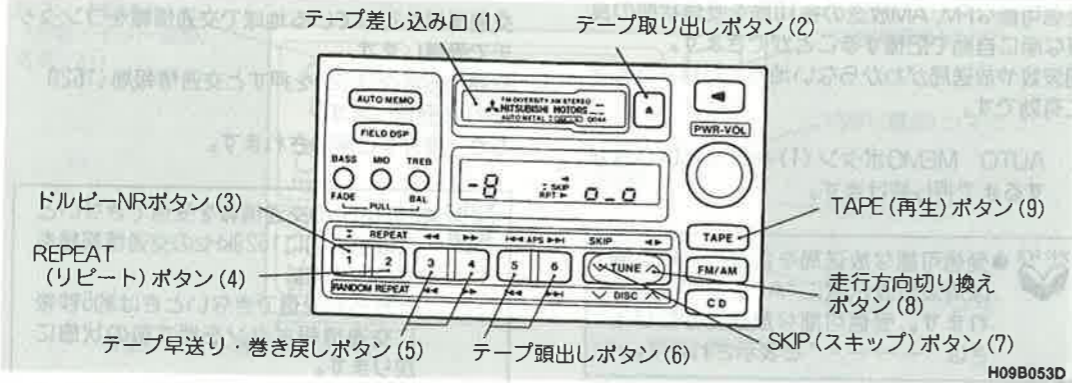
交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。

交通情報ボタン (2) を押すと交通情報局 (1620 kHz) を受信します。

もう一度押すと解除されます。

アドバイス ●1620kHzの交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。
どちらも受信できないときは約5秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。

●テープやCDを聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。



テープを聞くときは

エンジンスイッチがONまたはACCのときにテープをテープ差し込み口 (1) に入れ、軽く押し込むと再生が始まります。テープの片面が終了したときは自動的にもう一面の演奏を開始します。ラジオやCDを聞いていてテープに切り換えたいときはTAPEボタン (9) を押してください。

アドバイス ●メタルまたはクロムテープを入れるだけで自動的にメタル対応となります。

●ドルビー*NRボタンについて

ドルビーNRで録音したテープを使用するときはドルビーNRボタン (3) を押します。ボタンを押すと表示窓に表示灯が点灯します。もう一度押すと解除されます。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー, DOLBY, およびダブルD記号 はドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

●テープを取り出すときは

テープ取り出しボタン (2) を押します。テープモードのときボタンを押すと電源が切れます。

●早送り, 巻き戻しをするときは

早送りをするときはテープ早送り・巻き戻しボタン (5) の▶▶ 側を、巻き戻しをするときは◀◀ 側を押します。早送り・巻き戻しボタンをもう一度押すと、走行方向切り換えボタン (8) を押すと早送り (巻き戻し) が止まり再生が始まります。

●テープの走行方向を変えるときは

走行方向切り換えボタン (8) を押します。

●同じ曲を繰り返し聞くとときは

REPEAT (リピート) ボタン (4) を押します。周波数表示窓に“RPT”と表示されます。もう一度押すと解除されます。

●無音部分を飛ばして聞くには

SKIP (スキップ) ボタン (7) を押します。周波数表示窓に“SKIP”と表示されます。もう一度押すと解除されます。

●頭出しをするときは

いま聞いている曲の前後7曲の中で聞きたい曲の頭出しをすることができます。

聞いている曲より後に聞きたい曲があるときは

1. テープ頭出しボタン (6) の▶▶ 側を飛び越したい曲数だけ押します。周波数表示窓には指定された曲数が表示されます。
2. 曲の初めまでテープが早送りされ、再生が始まります。

例：聞いている曲より3曲後の曲を聞きたいとき



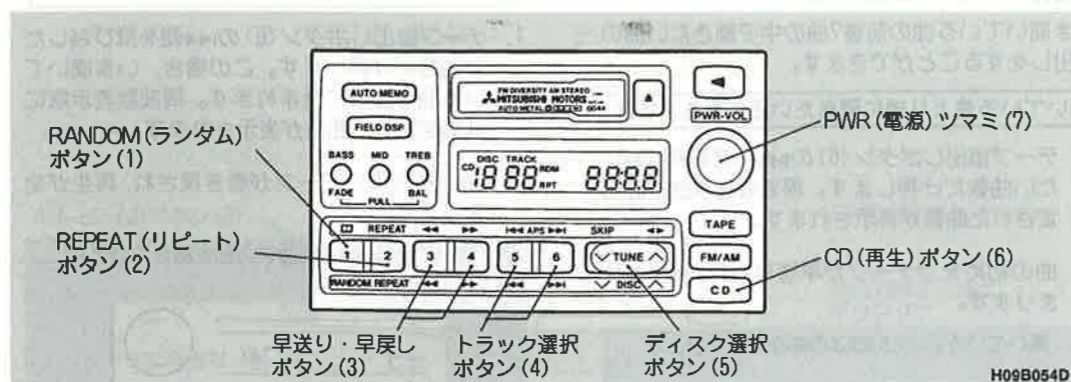
聞いている曲より前に聞きたい曲があるときは

1. テープ頭出しボタン (6) の◀◀ 側を飛び越したい曲数だけ押します。この場合、いま聞いている曲も曲数に含まれます。周波数表示窓には指定された曲数が表示されます。
2. 曲の初めまでテープが巻き戻され、再生が始まります。

例：聞いている曲より3曲前の曲を聞きたいとき



アドバイス ●曲と曲との間の無音部分が4秒以内のときや、曲の間に大きな雑音が録音されていると、曲の頭で止まらないことがあります。
●声が途切れた状態が長く続いたり、ピアノシモのように非常に低いレベルの音が長く続くとそこで止まる場合があります。



CDオートチェンジャーでCDを聞くときは★

1. エンジンスイッチがONまたはACCのときにPWRツマミ(7)を押して電源を入れます。
2. CDボタン(6)を押すと再生します。CDを止めるときはPWRツマミ(7)を押して電源を切るか、FM/AM切り換えボタンまたは、TAPEボタンを押して他のモードにします。

●早送り、早戻しをするときは

再生中、早送りするときは早送り・早戻しボタン(3)の▶▶側を、早戻しするときは◀◀側を押します。ボタンを押している間、早送り、早戻しとなります。

●ディスクを選択するときは

ディスク選択ボタン(5)を押して聞きたいディスクを選択します。
 ▲ディスクナンバーが増加します。
 ▼ディスクナンバーが減少します。

●頭出しをするときは

トラック選択ボタン(4)を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。
 ▶▶ートラックナンバーが増加します。
 ◀◀ートラックナンバーが減少します。

●同じ曲を繰り返し聞くときは

再生中、REPEATボタン(2)を押して周波数表示窓に“RPT”を表示させます。解除するときはもう1回ボタンを押します。

●ランダムな曲順で聞くときは

RANDOM(ランダム)ボタン(1)を押します。周波数表示窓に“RDM”と表示されます。セットした全てのディスクからオートチェンジャーがランダムに選曲し、再生されます。解除するときはもう1回ボタンを押します。

●CDをセットするときは

CDのセットのしかたについては「CDオートチェンジャーのセットのしかた」をお読みください。
 →P. 131

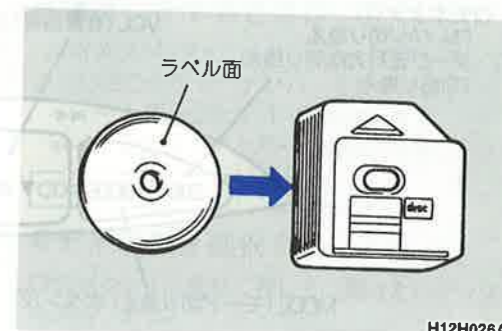
CDオートチェンジャーのセットのしかた★

CDオートチェンジャーはトランクルーム内にあり、12cmディスク対応で、最大10枚まで収納できます。

アドバイス ●カバーはCDマガジンをセットした後、必ず閉めてください。ほこりやごみが入りますと故障の原因になります。
 ●マガジンセット後はCDのセット状態を自動的に約30秒間検索します。
 ●CDシングル(8cmディスク)を再生するときは8cm対応マガジン(市販)を使用してください。

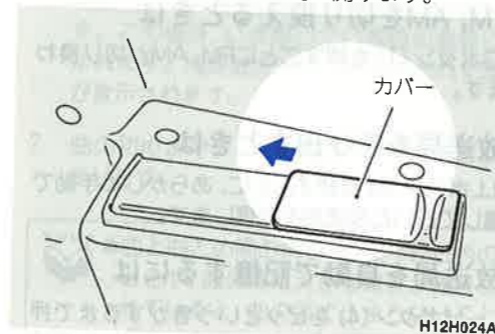
●マガジンのセットのしかた

1. CDのラベル面を上にしてマガジンに挿入します。

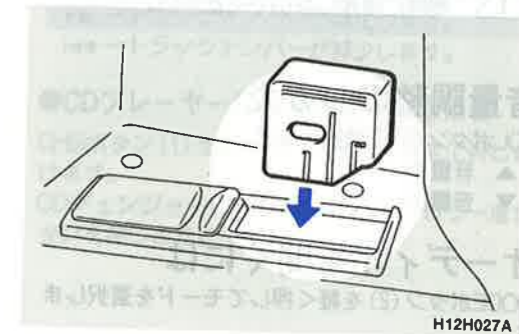
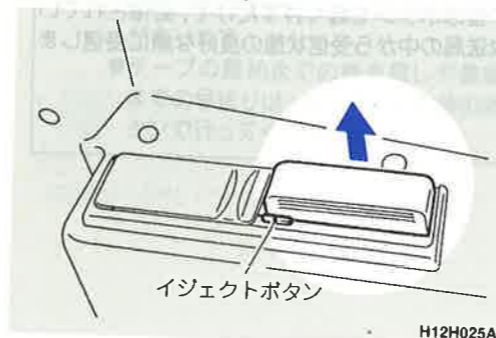


●マガジンの取り出し方

1. カバーを左にスライドして、“カチッ”と音がしてロックするまで完全に開けます。

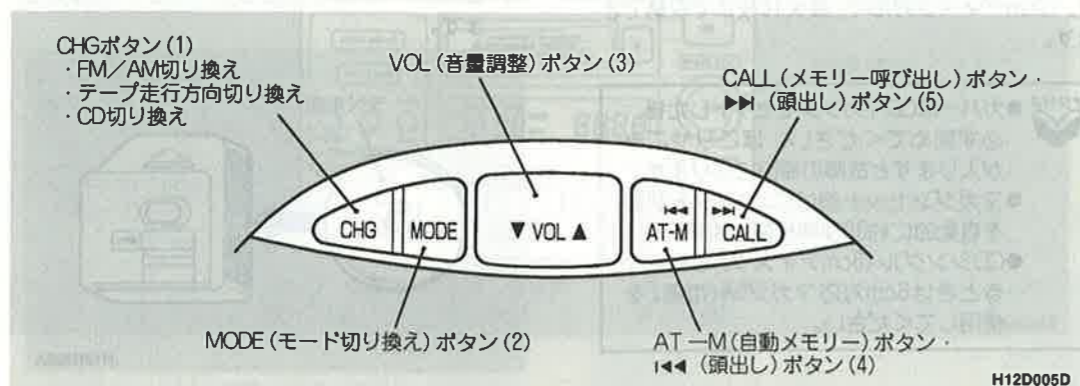


2. イジェクトボタンを押すとマガジンが自動的に押し出されます。



ハンドルリモコンスイッチ★

JH12D-G



注意 ●ハンドルリモコンスイッチは2つ以上同時に操作しないでください。

音量調整のしかた

VOLボタン(3)で調整します。

- ▲ 音量大
- ▼ 音量小

オーディオを聞くには

MODEボタン(2)を軽く押してモードを選択します。

ボタンを押すごとにモードが変わります。

ラジオ→テープ→CD→ラジオ

アドバイス ●テープおよびCDがセットされていないときは、テープ、CDモードの選択はできません。

MODEボタンをピッという音がするまで押し続けると電源が切れます。

ラジオを操作するには

●FM, AMを切り換えるときは

CHGボタン(1)を押すごとにFM, AMが切り換わります。

●放送局を呼び出すときは

CALLボタン(5)を押すごとに、あらかじめ手で記憶しておいた放送局を受信します。

●放送局を自動で記憶するには

AT-Mボタン(4)をピッという音がするまで押し続けるとAUTO(自動メモリー)になり、自動的に受信可能な放送局のFM, AM各10局を記憶することができます。

完了後はボタンを軽く押すだけで、記憶されている放送局の中から受信状態の良好な順に受信します。

テープを操作するには

●テープの走行方向を変えるときは

CHGボタン(1)を押します。

●頭出しをするときは

いま聞いている曲の前後7曲の中で聞きたい曲の頭出しをすることができます。

聞いている曲より後に聞きたい曲があるときは

1. ▶▶ボタン(5)を飛び越したい曲数だけ押しします。周波数表示窓には指定された曲数が表示されます。
2. 曲の初めまでテープが早送りされ、再生が始まります。

聞いている曲より前に聞きたい曲があるときは

1. ◀◀ボタン(4)を飛び越したい曲数だけ押しします。この場合、いま聞いている曲も曲数に含まれます。周波数表示窓には指定された曲数が表示されます。
2. 曲の初めまでテープが巻き戻され、再生が始まります。

アドバイス ●曲と曲との間の無音部分が4秒以内のときや、曲の間に大きな雑音が録音されていると、曲の頭で止まらないことがあります。

●声が途切れた状態が長く続いたり、ピアノのように非常に低いレベルの音が長く続くとそこで止まる場合があります。

●テープの最初までの巻き戻しや最後までまでの早送りは、オーディオ本体のボタンで行ってください。

CDを操作するには★

CDプレーヤーの操作★

●頭出しをするときは

◀◀ボタン(4)または▶▶ボタン(5)を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。

▶▶ トラックナンバーが増加します。

◀◀ トラックナンバーが減少します。

CDオートチェンジャーの操作★

●ディスクを選択するときは

CHGボタン(1)を軽く押して、聞きたいディスクを選択します。

●頭出しをするときは

◀◀ボタン(4)または▶▶ボタン(5)を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。

▶▶ トラックナンバーが増加します。

◀◀ トラックナンバーが減少します。

●CDプレーヤーに切り換えるときは★

CHGボタン(1)をピッという音がするまで押し続けます。

CDチェンジャーに切り換えるときはもう一度ボタンを押します。

オーディオの上手な使い方

JH12I-FA

1. エンジンを止めて聞くときは、必ずエンジンスイッチをACCにしてください。
2. 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
3. 走行中は電波状態が変動するため、受信状態が不安定になることがあります。
4. 車内で携帯電話を使用すると、オーディオから雑音が出る場合がありますが、オーディオの故障ではありません。
この場合は、携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。

テープの取り扱い

1. 120分テープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、カセットデッキに巻き込まれるおそれがあります。
2. テープはケースに入れ、直射日光や磁気のあるものの近くを避けて保存してください。
3. テープはたるみをとって使用してください。
4. ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。テープを取り出せなくなる場合があります。
5. カセットデッキ内部のヘッド部は汚れやすいので、1ヵ月に1度程度市販のクリーニングテープで掃除してください。
6. カセットデッキに油をさしたり、テープ差し込み口に金属品や磁石を入れないでください。故障の原因となります。

コンパクトディスクの取り扱い

1. コンパクトディスクは必ずケースに入れて保管してください。また直射日光の当たる場所や高温、多湿の場所などに置かないでください。
2. ラベルが貼っていない面に直接触れるとディスクが汚れ、音が悪くなる場合がありますので、必ずディスクの中心の穴と端をはさんでお持ちください。



H12F001A

3. 汚れをとるときは、やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向にふきとってください。ベンジン、シンナー、レコードスプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。

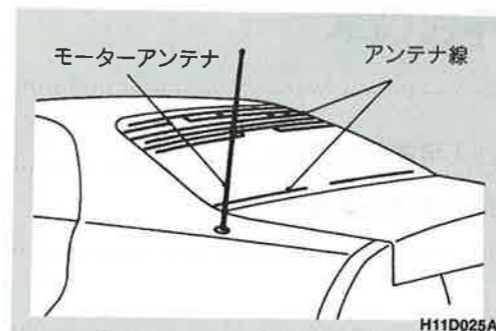


H12F002A

4. ヒビがはいたり、大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障原因になります。
5. ラベル面や演奏面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールなどを貼りつけないでください。
6. CDシングル(8cmディスク)を直接付属のマガジンにセットすると取り出せなくなります。CDオートチェンジャーにCDシングルを使用するときは8cm対応マガジン(市販)を使用してください。

アンテナ

JH11D-H



H11D025A

リヤウインドウアンテナ★

アンテナ線がリヤウインドウガラスの内側に埋め込んであります。

ダイバシティアンテナ★

アンテナ線がリヤウインドウガラスの上部と下部の2ヶ所に埋め込んであります。FM放送受信中はより感度の良いアンテナで受信します。

注意 ●リヤウインドウガラスを清掃するときは、アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。

モーターアンテナ★

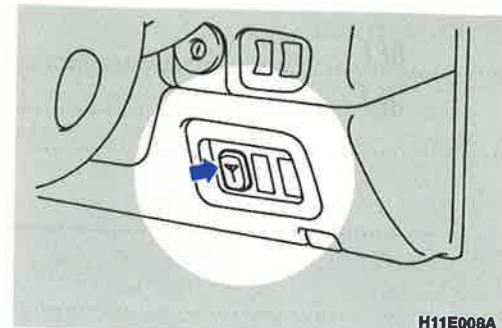
オーディオの電源を入れるとアンテナが伸び、電源を切ると格納されます。エンジンをLOCKにしたときもアンテナは格納されます。

アドバイス ●MMCSおよびライブビジョン装着車はテレビをつけた時もアンテナが伸びます。

MEMO

●モーターアンテナスイッチ

ラジオ受信中に天井の低い駐車場などに入るときは、モーターアンテナスイッチを押してアンテナの長さを半分にすることができます。



H11E008A

注意 ●電源を入れるときは、モーターアンテナの近くに人がいないことを確認してから操作してください。
●自動洗車機を使用するときは、必ずモーターアンテナが格納されていることを確認してください。

内装品のお手入れ

JK23A-DA

水、洗剤を使用後はよくふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させてください。

プラスチック, ビニールレザー, 布材, 植毛部品

JK24A-A

1. 中性洗剤の3%水溶液をガーゼなどの柔らかい布に含ませて軽くふき取ります。
2. 真水にひたした布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。

カーペット材

JK25A-B

1. 電気掃除機でほこりを取り除きます。
2. 中性洗剤の3%水溶液をガーゼなどの柔らかい布に含ませて軽くふき取ります。
3. 真水にひたした布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。

液体芳香剤について

液体芳香剤はその成分によっては樹脂部品、布材の変色、ひび割れをおこすことがあります。液体芳香剤はこぼれないよう容器を確実に固定してください。

本革★

JK27A-C

1. ウール用中性洗剤の5%水溶液をガーゼなどの柔らかい布に含ませて汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした布を固くしぼって、洗剤をふき取ります。
3. 乾いたら柔らかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- より効果的なお手入れとして、専用に開発した三菱純正「レザーシート用クリーナー&ワックスセット」をご利用ください。
- ナイロン・ブラシ、合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは、早めに落としてください。
- ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸、またはアルカリ性の溶剤を使用すると表面が変色することがあります。中性洗剤を使用してください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり、硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。
- 夏期など室内が高温になると、ビニールが変質してシートに付着するおそれがあります。シートの上にビニール類を放置しないでください。

外装品のお手入れ

JK28A-CA

1. 車を美しく保つために、走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
2. つぎのような汚れは、そのままにしておきますと、腐食、変色、しみになるおそれがありますので、できるだけ早く洗車してください。
 - 海水・道路凍結防止剤など
 - 工場のばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質(酸、アルカリ、コールタールなど)など
 - 鳥のふん、虫の死がい、樹液など
3. 下回りを洗うときは、手にけがをしないようにゴム手袋などをご使用ください。

洗車のしかた

JK22A-IA

1. 車体の下回りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら、スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れは、中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは水で十分洗い落とし、必要に応じて三菱純正ワックス(クリーンワックス)で汚れを落としてください。
5. セーム皮か柔らかい布で塗装面にはん点が残らないように十分水をふき取ります。



- エンジンルーム内の電気部品には水をかけないでください。エンジン始動不良等の原因となります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがありますので使用はできるだけひかえてください。とくに濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。
- 洗淨機(コイン洗車機など)は機種によって高温、高圧のものがあります。車体樹脂部品の熱変形、破損、および接着式マーク類のはがれ、室内への水侵入など起こる場合がありますので、つぎのことをお守りください。
 - ・洗車ノズルと車体との距離を十分離す。
 - ・ドアガラス回りを洗うときは、洗車ノズルをガラス面に垂直に向ける。
- 自動洗車機でリヤスポイラー装着車を洗車する場合は、必ず係員にご相談ください。洗車機の種類によってはリヤスポイラーがひっかかって破損したり、車両を傷つけるおそれがあります。

ワックスのかけ方

JK33A-ED

1. 月に1~2回または、水をはじかなくなったときにかけます。
2. 洗車後、塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
3. 三菱純正ワックス(クリーンワックス)の使用をおすすめします。



- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスは使用しないでください。コンパウンド入りワックスを使用すると汚れ落ちはよくなりますが、塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因となります。また使用した布に色が付着することがあり、とくに濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- サンルーフ開口部周囲のワックスがけを行うときは、ウェザーストリップ(黒いゴム)にワックスを付けないでください。ワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなりますのでワックスが付いたときは、よくふき取ってください。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると色ムラなどが起こるおそれがありますので、ワックスをかけないでください。万一付着したときは、すみやかに温水を用いた柔らかい布でふき取ってください。

ウインドウガラスのお手入れ

JK10A-CB

1. ワイパーのふきが悪くなったときは三菱純正のウインドウガラス洗剤(ファインルックZ M-10, ノンギラ等)で清掃してください。ウインドウガラス洗剤は三菱販売会社でお求めください。
2. ワイパーゴムが古くなるとふきが悪くなることがあります。そのときはワイパーゴムを交換してください。

アドバイス ●リヤウインドウガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

サンルーフのお手入れ★

JK30A-CA

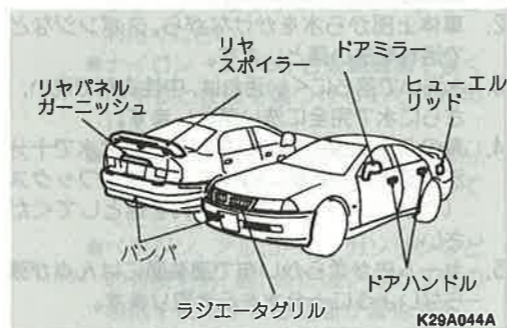
ガラスを清掃するときは、柔らかい布で行います。汚れのひどいときはつぎの要領で行います。

1. スポンジ、ガーゼなどに中性洗剤の5%の水溶液を含ませて汚れをふき取ります。
2. スポンジ、ガーゼなどに真水を含ませて洗剤をふき取ります。

アドバイス ●ガラスの内側には、表面処理がしてありますので、固い布や有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を使用すると表面処理がはげることがあります。

樹脂部品のお手入れ

JK29A-T



スポンジまたはセーム皮で清掃します。バンパやモールディングなどは、黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分にワックスが付着すると白くなることがあります。また、ラジエータグリルやリヤパネルガーニッシュは特殊な表面処理を行っています。万一ワックスが付着したときは温水を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ってください。

- 注意**
- たわしなどの硬いものは表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
 - コンパウンド(みがき粉)入りワックスは樹脂の表面を傷つけるおそれがあるので使用しないでください。
 - ガソリン、ブレーキ液、エンジンオイル、グリース、塗装用シンナー、硫酸(バッテリー液)を付着させると、変色、シミの原因となりますので絶対に避けてください。万一付着したときはすみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布、またはセーム皮などでふき取ります。

MEMO

アルミホイールのお手入れ★

JK35A-BA

1. 汚れが落ちにくいときは三菱純正のアルミホイールクリーナー「スーパークリーナー」をご使用ください。詳しくは「スーパークリーナー」の取扱説明書をお読みください。
2. ブラシなどを使用するとホイール表面に傷がつきます。スポンジ、セーム皮などを使用してください。

アドバイス ●スチームクリーナー等で直接熱湯をかけないでください。
●海水、道路凍結防止剤等が付いたときは早めに洗い落としてください。

塗装の補修

JK08A-C

飛び石や引っかき傷などは腐食の原因となります。見つけたら早めに三菱純正タッチアップペイントで補修してください。

冬期前の点検と準備

JL30A-C

●エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。→「エンジンオイルの粘度」P. 164

●冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液の濃度を50%にします。

●ウォッシャー液

ウォッシャー液の濃度を50%以上にします。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

注意 ●ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

●タイヤチェーン, または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り替えるときは、4輪とも交換します。→P. 154

●燃料タンクの水抜き

三菱純正の水分除去剤を使用して燃料タンクの水抜きをします。

●ワイパー

寒冷地用ワイパーブレードに交換するときは、必ず三菱純正品をご使用ください。

また、寒冷地仕様車は、降雪に備えてワイパーをフルコンシールド式からセミコンシールド式に切り換えることができます。→P. 145

走行前の点検

JL30B-AA

「メンテナンスノート」の日常点検, または「整備手帳」の走行前点検時につぎの点検を追加してください。

●ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また、ワイパーがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

●足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

●ドアの凍結

ドアが凍結した場合は無理に開けようとするとうドア回りのゴムがはがれたり, き裂が入るおそれがありますので, 湯をかけて氷を溶かしてください。なお, 後で水分を十分ふき取ってください。

アドバイス ●三菱純正ハイシリコンスプレーを使用すればゴムの凍結を防ぎ, ドアを楽に開けることができます。

●車に乗る前に

ペダルのすべりや, ウインドウガラスの曇りを防止するため, 靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

●ペダル, ハンドルの確認

ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

雪道, 凍結路の走行

JL30C-AA

●雪道や凍結した道路はスリップに注意

1. 速度はひかえめにし, タイヤチェーンを前輪に装着, または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
2. 橋の上, 日陰, 水たまり, トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ, 急ブレーキ, 急ハンドル, 急なアクセル操作は避けてください。

●車間距離は十分に

雪道, 凍結路では路面のグリップ力が低下するため, ブレーキの効きが悪くなります。

●フェンダー裏側の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー裏側に着氷しハンドルの切れが悪くなる場合があります。氷塊を取り除いてください。

●ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し, ブレーキの効きが悪くなる場合があります。走行中は前後の車や道路状況に注意し, とくとき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

●洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

JL30D-C

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず, セレクターレバーをPに入れさらに輪止めをしてください。また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス ●車の前方を風下に向けて駐車しておく, エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
●ワイパーアームを立てておけば, ワイパーがウインドウガラスに凍りついたりするのを防ぐことができます。
(寒冷地仕様車)

ワイパー

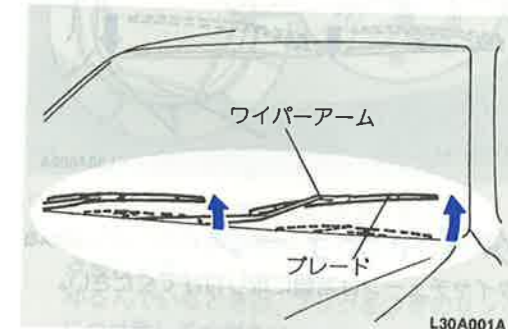
JL30E-A

寒冷地仕様車

フロントガラスに多量の雪が積もる場合は, 次の方法でフルコンシールド式からセミコンシールド式に切り換えてください。

セミコンシールド式にするときは

助手席側のワイパーアームを持ち, ガラス面に沿って「カクン」という感じがするまで引き上げます。

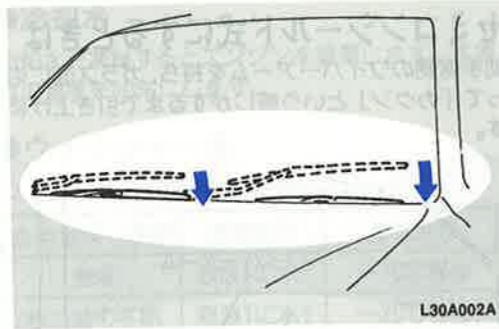


注意 ●ブレードを持って操作すると, ブレードが変形するおそれがあります。必ずアーム部を持ってください。

アドバイス ●フルコンシールド式の状態でワイパー作動中, ワイパー停止位置に雪がたまりと自動的にフルコンシールド式からセミコンシールド式に切り換わる構造になっています。雪のたまりかたによっては切り換わらないことがありますので手で切り換えてください。

フルコンシールド式にするときは

助手席側のワイパーアームを持ち、ガラス面に沿って「カクン」という感じがするまで押し下げて下さい。



L30A002A

タイヤチェーン

JL23A-Q

タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。

注意 ●タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンはタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

タイヤサイズ	適合タイヤチェーン
205/65R15	JISチェーン 45102
215/60R16	三菱純正 スプリングチェーン

215/60R16タイヤを装着しているときは三菱純正スプリングチェーンをご使用ください。その他のチェーンを装着すると、ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱販売会社にご相談ください。取り付け要領は、タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。



L23A003A

- 注意** ●応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクした場合は後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは、交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで固い場所を選びます。また、非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。
 - 車体の端部などで手にけがをしないように作業してください。
 - ホイールカバーは、チェーンにより傷がつきますので取り外してください。 →P. 156
 - アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールに傷をつけるおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
 - タイヤチェーンを装着したときは30 km/h以下で走行してください。
 - 雪道、凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、避けてください。

タイヤチェーンの取り付け方

1. 駐車ブレーキを十分かけ、チェーンを装着するタイヤと対角線のタイヤの前後に輪止めをかけます。

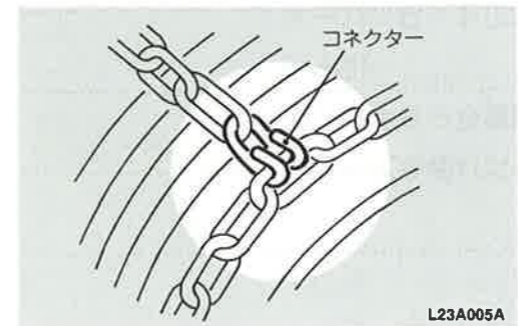
アドバイス ●輪止めは三菱販売会社でお買い求めください。

2. 車をジャッキアップします。 →P. 153

注意 ●ジャッキアップ中は危険ですからエンジンをかけたり、車の下に降り込んだり、のぞき込まないでください。

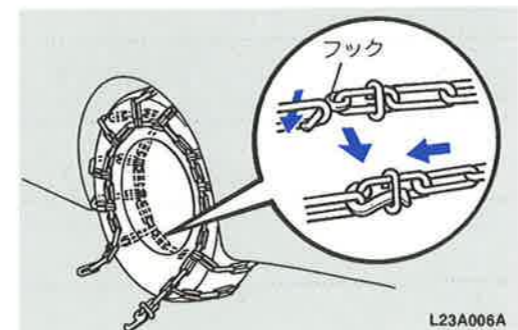
アドバイス ●三菱純正スプリングチェーンを装着する場合は、タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

3. コネクターの折り曲げ部が外側になるようにしてチェーンをタイヤにかぶせます。



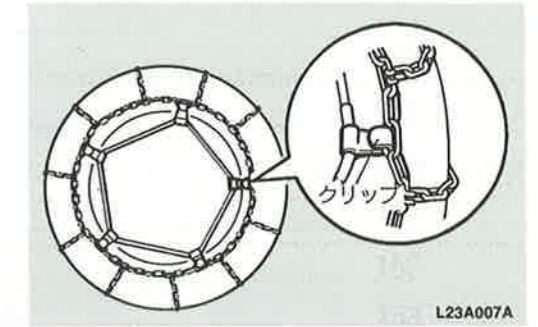
L23A005A

4. タイヤチェーンの両端をいっぱい引っ張りゆるみがないように内側のフックから先に連結します。



L23A006A

5. 余ったリンクはボデーなどに当たらないように針金などで確実に固定します。
6. チェーンバンドのクリップの爪を外向きにして等間隔に取り付けます。



L23A007A

7. ジャッキを下げ、輪止めをはずします。
8. しばらく走行(約500m)して、ゆるみがないか点検します。ゆるんでいるときは、フックをつぎのリンクにかけ直してください。

注意 ●走行中異音がある場合は、ただちに車を安全な場所に止め、タイヤチェーンの装着状態を確認してください。

タイヤチェーンの取り外し方

1. チェーンバンドを取り外し、リンクを固定した針金なども外します。
2. フックを内側から先に外します。
3. 車を少し動かしてチェーンを取り出します。

もしものときの処置

故障したときは!

JN40B-AA

●一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させるか、赤旗、停止表示板などで表示します。

●高速道路、自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では車両後方に停止表示板または停止表示灯を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず、路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス ●停止表示板、停止表示灯は別売のものをご使用ください。

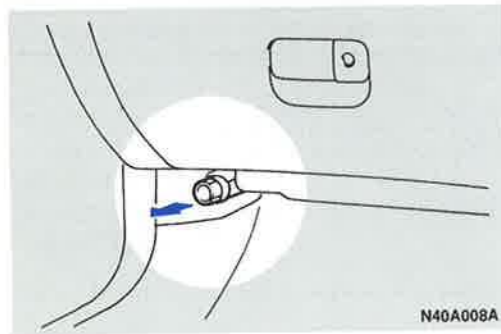
休日、夜間の修理連絡先

別冊の「メンテナンスノート（整備手帳）」をご覧ください。

発炎筒を使うときは!

JN40A-AA

高速道路や踏切などで故障したときに使用します。発炎筒はグローブボックス左下部に備えつけてあります。
有効期限（発炎筒に記載）がありますので使用したときや期限切れのときは三菱販売会社でお求めください。



N40A008A

アドバイス ●使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。



- お子さまには発炎筒をいじらせないでください。
●人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどの危険があります。
●発炎時間は約5分ですので非常点滅灯を併用してください。→P. 62
●ガソリンなどの燃えやすいものの近くでは火災をまねくおそれがありますので使用しないでください。
●トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり危険です。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

エンストしたときは!

JN40C-D

走行中にエンストしたときは

運転操作に変化がおきますのでつぎの方法で車を安全な場所に止めてください。

1. ブレーキ倍力装置が働かなくなりますので、ブレーキの効きが悪くなります。通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
2. パワーステアリング装置が働かなくなりますので、ハンドル操作が重くなります。通常よりハンドルを強く操作してください。

エンストして始動できなくなったときは

1. 同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押して移動します。
2. 踏切内でエンストしてすぐに車を動かさないときは、すみやかに同乗者を避難させ、踏切の非常ボタンを押します。

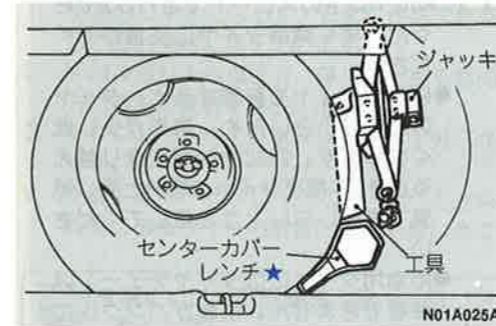


- 電車が来そうになったり、緊急を要する場合は発炎筒で合図してください。
●エンジンスイッチをSTARTにしても車を動かすことはできません。

工具とジャッキ

JN01A-R

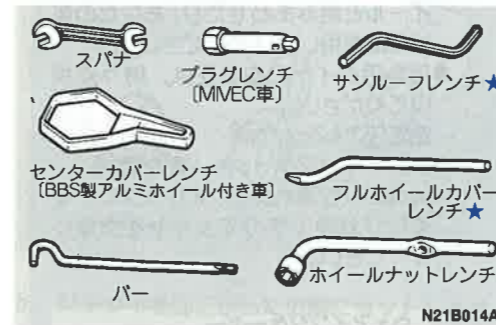
格納場所



N01A025A

工具

JN21B-I

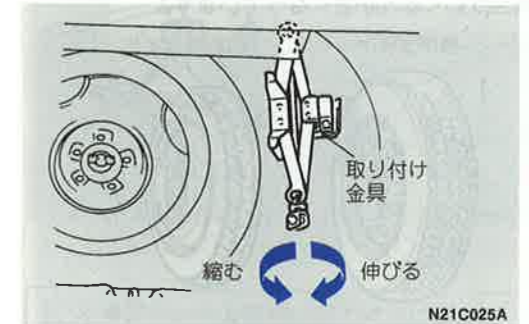


N21B014A

ジャッキの脱着

JN21C-CA

取り出すときは、ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します。
格納するときはジャッキを伸ばして取り付け金具に固定します。



N21C025A



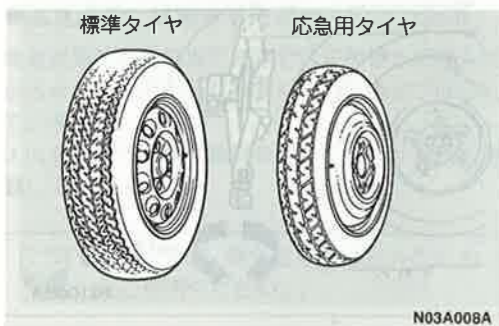
- 工具の種類、ジャッキの使い方は万が一の場合困らないようあらかじめ確認しておきましょう。
●高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器による表示義務がありますので、常時携帯するようにしましょう。

スペアタイヤ

JN33A-FA

応急用タイヤ

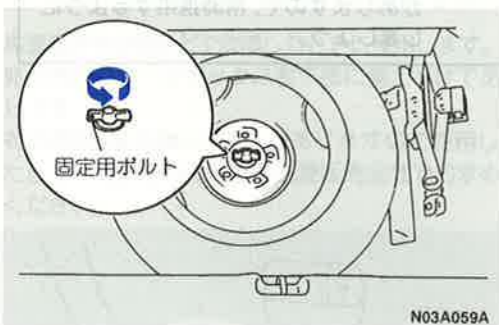
タイヤがパンクしたとき、パンク修理するまでの応急用として、一時的に使用するタイヤです。応急用タイヤは、図のように標準タイヤに比べて、直径がいくぶん小さくなっています。



N03A008A

応急用タイヤの取り出し方

応急用タイヤはトランクルームに格納されています。固定用ボルトを左に回して外し、タイヤを取り出します。



N03A059A

注意 ● 応急用タイヤを装着したときは、100 km/h以下のスピードで走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

● 応急用タイヤを装着すると、タイヤの直径が小さいため、車高が少し低くなります。突起物などを乗り越えるときは、標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。

● 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクした場合は後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。

● この応急用タイヤとホイールはあなたのお車専用です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり、あなたの車以外に使用しないでください。

● 応急用タイヤの空気圧は、時々点検してください。

空気圧：4.2kg/cm² (冷間時)

● ウェアインジケータ（溝の深さ1.6 mm以下）が現れたら、スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

ウェアインジケータ
(磨耗限度表示)



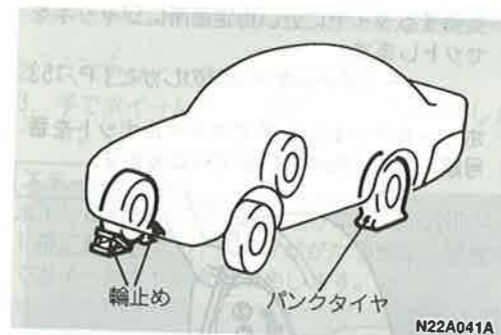
N03A014Z

ジャッキアップのしかた

JN22A-OA

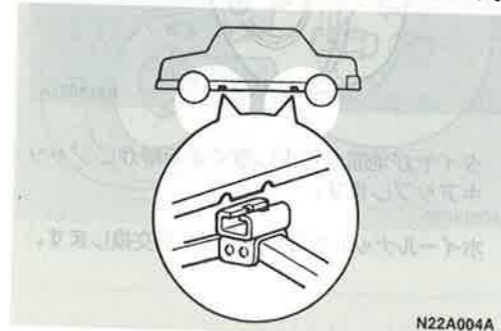
1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで固い場所に車を止めます。
2. 非常点滅灯を点滅させ、停止表示板を車両後方に置き同乗者を降ろします。
3. エンジンを止めて駐車ブレーキを十分にかけます。
4. 交換するタイヤ（パンクしたタイヤ）と対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

アドバイス ● 輪止めは、三菱販売会社でお買い求めください。



N22A041A

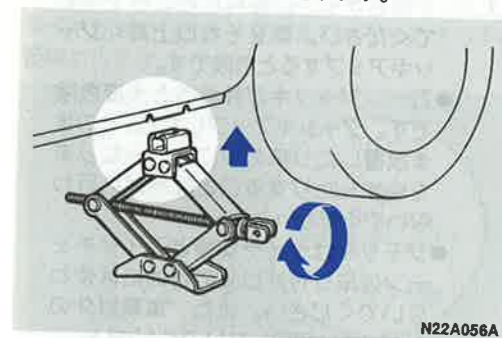
5. ジャッキを図に示した位置にセットします。



N22A004A

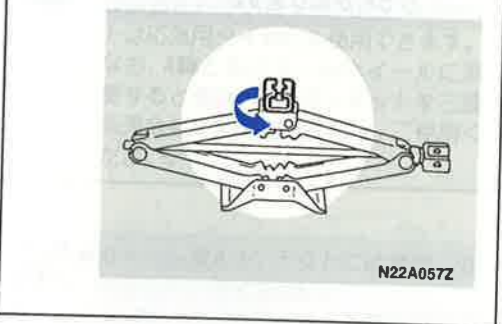
注意 ● ジャッキをセットするときは、指定された位置以外にかけないでください。指定された位置にかけないと車体がへこんだり、ジャッキが倒れてけがをするおそれがあります。

6. ジャッキ頭部の溝がフランジ部にはまるまでジャッキを手で回して上げます。



N22A056A

アドバイス ● ジャッキの頭部は図の向きに回してからセットしてください。格納するときはもとの位置に戻してください。



N22A057Z

7. ホイールナットレンチの穴にバーを差し込み、タイヤが地面から少し浮くまで静かにレンチを回します。



N22A045A

タイヤ交換のしかた JN24AAP

- 注意** ● ジャッキアップするときは、タイヤが地面から少し離れたところでやめてください。車をそれ以上高くジャッキアップすると危険です。
- 万一、ジャッキが外れると大変危険です。ジャッキアップしたら、そのまま放置したり車の下にもぐったり車をゆすったりすることは絶対に行わないでください。
- ジャッキはタイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使わないでください。また、車載以外のジャッキは使用しないでください。
- ジャッキアップするときは、人は車内に残らず車から降りてください。
- ジャッキアップ中は危険ですからエンジンをかけないでください。車が発進し、ジャッキから車体がはずれるおそれがあります。

● タイヤを取り外すときは

1. 工具、スペアタイヤ、ジャッキを取り出します。 → P. 151, 152

アドバイス ● 取り出したスペアタイヤは万一ジャッキがはずれたときの危険防止のためジャッキ近くの車体の下に置いてください。

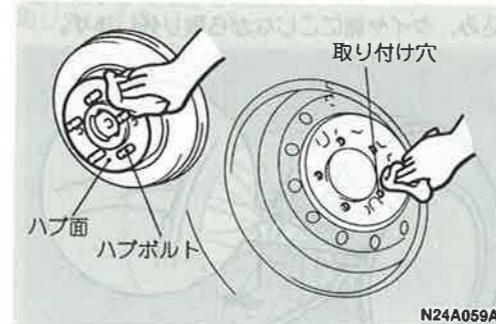
2. ホイールカバー付き車はホイールカバーを外します。 → P. 156
3. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。 → 「ジャッキアップのしかた」 P. 153
4. ホイールナットレンチでホイールナットを番号順に手で回るくらいまでゆるめます。



5. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
6. ホイールナットを外し、タイヤを交換します。

● タイヤを取り付けるときは

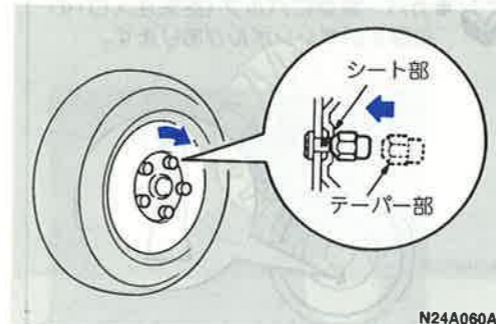
1. ハブ面、ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. スペアタイヤを取り付けます。
3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

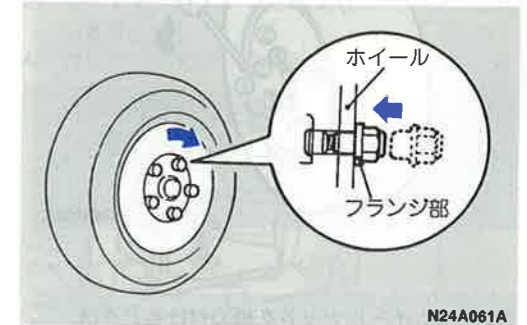
スチールホイール

ホイールナットのテーパ部分がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



アルミホイール

ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり、タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

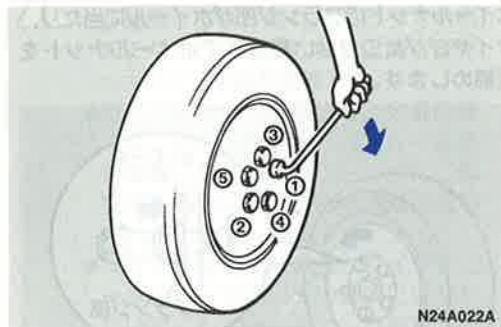


アドバイス ● アルミホイールにはフランジナットが装着されていますが、フランジナットは応急用タイヤにも使用できます。なお、4輪ともスチールホイールに変更するときは、テーパナットを三菱販売会社でお買い求めの上、ご使用ください。

注意 ● ホイールボルト、ナットには絶対に油を塗らないでください。ネジ部、ディスクホイール等損傷の原因になります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを下げ、ホイールナットを番号順に2~3回に分けて、徐々に締め付けます。最後の締め付けは確実に行ってください。

締め付けトルク：9~11kgm
(車載のホイールナットレンチの先端で36~44kgの力)



注意 ●ホイールナットを締め付けるときは、ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車はホイールカバーを取り付けます。
6. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 168
7. 工具、ジャッキを元の位置に戻します。
→P. 151
8. パンクタイヤをトランクルームに格納します。

注意 ●応急用タイヤは標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。パンクしたタイヤはできるだけ早く修理して標準タイヤに戻してください。

- タイヤ交換したときは、約1,000km走行後、再度ホイールナットを締めつけてゆるみがないことを点検してください。
- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動がでたときは、三菱販売会でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 異なった種類のタイヤを混ぜたり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは車の安全性を損ないますので避けてください。

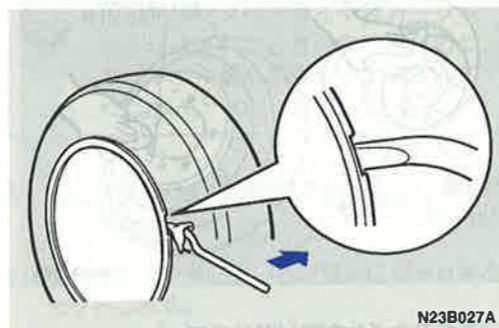
ホイールカバー★

JN23B-I

フルホイールカバー付き車

取り外すときは

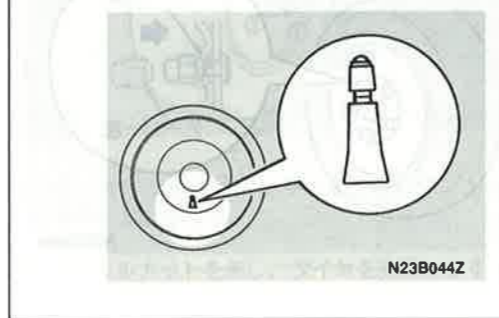
ホイールカバーレンチの先を布をかぶせて深く差し込み、タイヤ側にこじながら取り外します。



取り付けるときは

タイヤのバルブ（空気注入口）の位置を確認してから、ホイールカバーの周囲を手でたたき取り付けます。

アドバイス ●カバー裏側にバルブ（空気注入口）の位置を示すシンボルがあります。



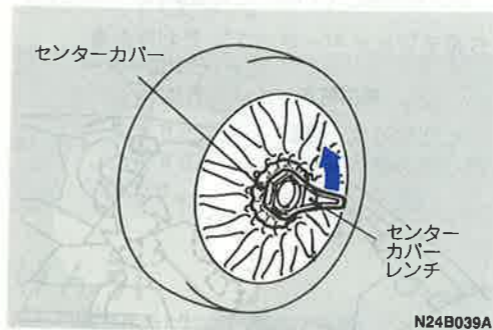
センターカバー

JN23B-M

BBS製アルミホイール付き車

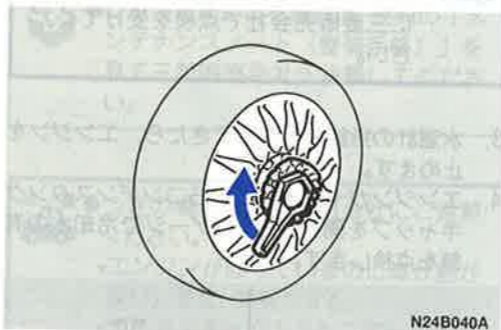
取り外すときは

センターカバーをセンターカバーレンチでゆるめ取り外します。



取り付けるときは

センターカバーの面を合わせアルミホイールに押しつけるようにしてセンターカバーレンチで締めつけます。



バッテリー上がりのときは！

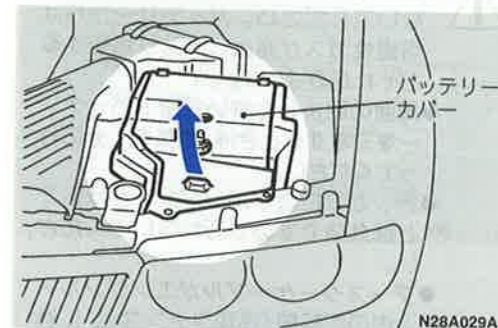
JN28A-LA

ブースターケーブル（別売）を使って他車のバッテリーを電源として、エンジンをかけることができます。

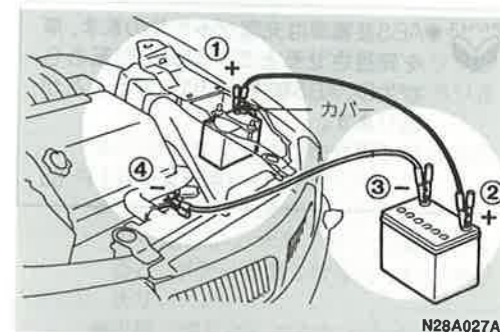
1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

注意 ●救援車は必ず12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

2. 救援車と自車の駐車ブレーキをかけ、マニュアル車はシフトレバーをNに、オートマチック車はPにし、エンジンスイッチをLOCKにします。
3. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
4. バッテリーカバーを開けます。



5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。



アドバイス ●バッテリーの+端子はカバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

注意 ●(4)の接続は必ずエンジン本体にしてください。バッテリーの一侧にするとバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

- ブースターケーブルを接続するときは+と-端子を接触させないでください。

- 接続した後、救援車のエンジン回転数を少し上げてバッテリー上がりの車のエンジンをかけます。
- エンジンがかかったら、ブースターケーブルを接続したときの逆手順で取り外します。

注意 ●充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており爆発するおそれがあります。

- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは、換気を十分に行ってください。
- 押しがけによりエンジンをかけることは危険ですで行わないでください。
- ブースターケーブルがエンジンルーム内の回転部(冷却ファンなど)に巻き込まれないようにしてください。

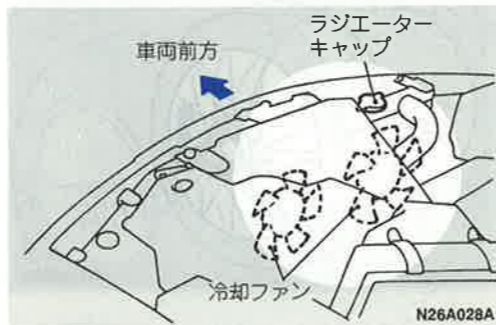
アドバイス ●ABS装着車は充電が不十分のまま、車を発進させるとエンジンの回転むらが生じ、ABS警告灯が点灯することがあります。

→「アンチロックブレーキシステム」P. 85

オーバーヒートしたときは!

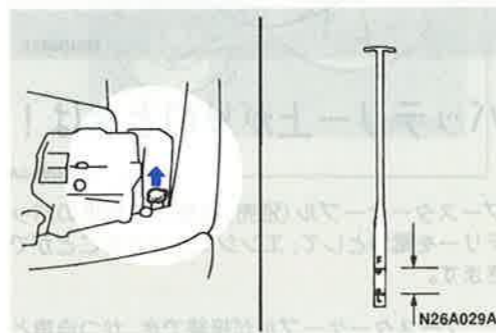
JN26A-Q

- 車を安全な場所に止めます。
- エンジンをかけたままでエンジンフードを開け、風通しをよくします。このとき、冷却ファンが作動していることを確認してください。



処置 ●ファンが作動していないときは、エンジンを止めて自然冷却し、すみやかに三菱販売会社で点検を受けてください。

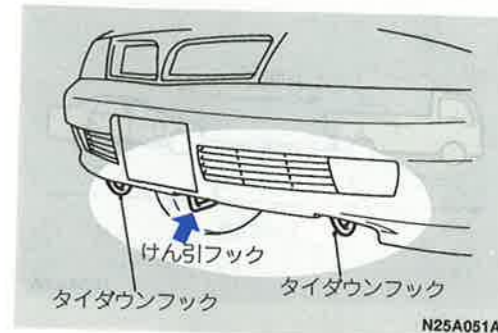
- 水温計の指針が下がってきたら、エンジンを止めます。
- エンジンが十分冷えてからコンデンスタンクキャップを開け、レベルゲージで冷却水の有無を点検します。



アドバイス ●冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート(整備手帳)」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。



注意 ●エンジンフードを開けるときは、熱湯が噴き出していたり、エンジンフードなどが熱いことがありますので注意してください。

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。冷却水の温度が高いときにキャップを外すと冷却水には圧力がかかっていますので蒸気や熱湯が噴き出し危険です。

けん引

JN25AAQ

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。特にオートマチック車はトランスミッションオイルの量が不足していると、トランスミッションを破損するおそれがありますので、できるだけレッカー車で搬送してください。

アドバイス ●レッカー車による搬送は、別冊の「メンテナンスノート(整備手帳)」を見て三菱販売会社へ依頼してください。

処置 ●つぎの場合は三菱販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。また、異音がする。
- オートマチックトランスミッションオイルがない。

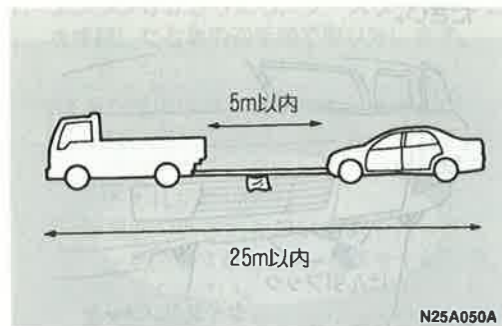
やむをえず他車にロープでけん引してもらう、または他車をけん引するときは、つぎの要領で行ってください。

注意 ●4WD車は通常のレッカー車によるけん引ができません。 →P. 95

注意 ●けん引フック以外にロープをかける時、車が破損することがあります。

- タイダウンフックにロープを結びつけないでください。
- タイダウンフックとは・・・車を輸送するときに使用するフックでけん引するためのものではありません。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけてください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると、ボデーを傷つけるおそれがあります。
- 車輪が溝などに落ちたときは、無理な斜めけん引をしないでください。

2. けん引ロープには30cm平方(タテ30cm×ヨコ30cm)以上の白い布を必ずつけてください。



N25A050A

3. エンジンはできるだけかけておいてください。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。

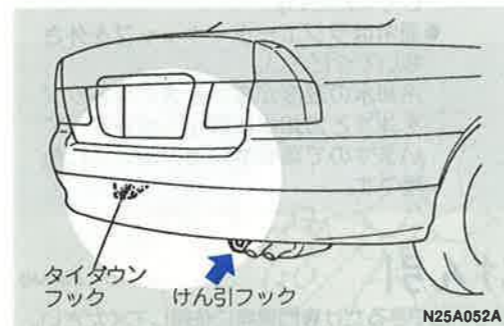
注意 ●LOCK位置ではキーが抜けるとハンドルがロックされ危険です。
●エンジンが止まっていると、ブレーキの効きが悪くなり、またハンドル操作が非常に重くなります。

4. セレクターレバーをNにしてください。
5. けん引される車は、けん引車のブレーキランプに注意して、常にロープをたるませないようしてください。

注意 ●オートマチック車のけん引される速度は30km/h以下、けん引される距離は30km以内にしてください。
●長い下り坂では、ブレーキの過熱により効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。
●けん引ロープでボデーを傷つけないようにしてください。

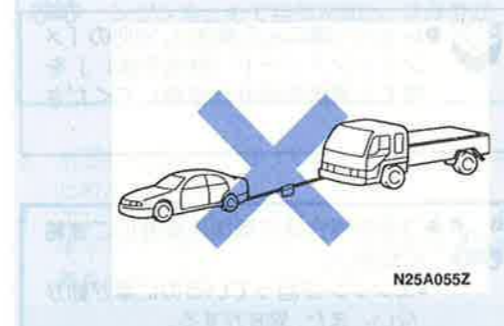
他車をけん引するとき

けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。



N25A052A

注意 ●自車より重い車をけん引しないでください。



N25A055Z

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは!

JN08B-I

リヤブレーキには、ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音(キーキー)を発生して警告する装置が設けてあります。

処置 ●金属摩擦音が聞こえたときは、三菱販売会社でブレーキパッドを交換してください。

ヒューズが切れたときは!

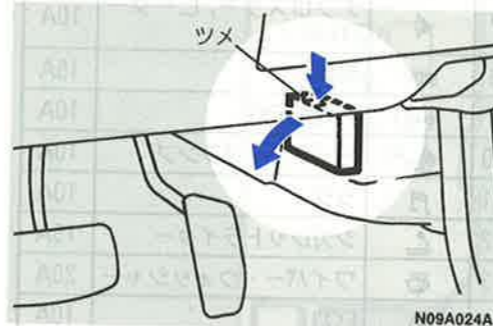
JN09A-P

各種のランプがつかないときや、電気系統の装備が作動しないときは、ヒューズが切れている場合がありますのでヒューズを点検し、切れているときは交換してください。

ヒューズボックスの位置

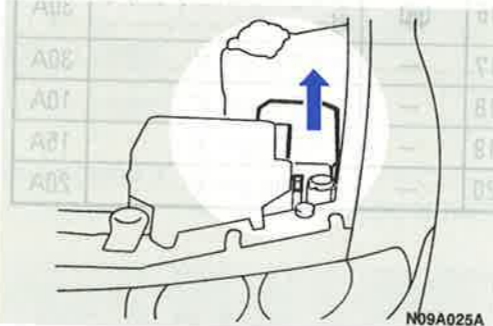
●運転席足元

親指でツメを押したままヒューズカバーを取り外します。



N09A024A

●エンジンルーム内



N09A025A

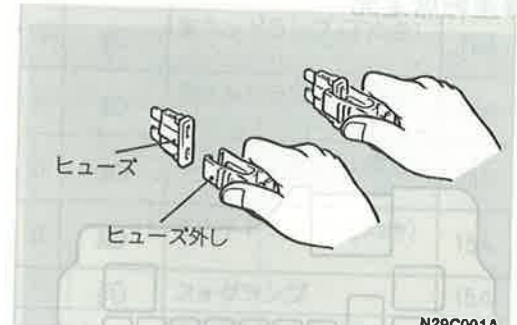
ヒューズの交換

JN29C-IB

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。 →P. 162

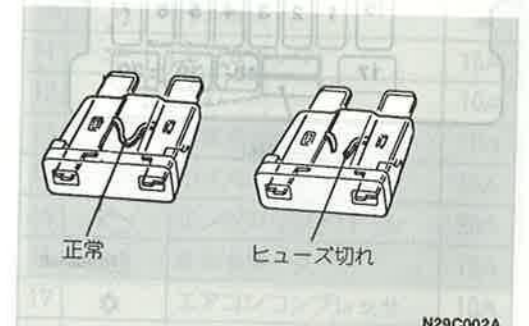
アドバイス ●各ヒューズの受け持つ装備、容量はヒューズボックスのふたにも記載してあります。

3. ヒューズ外しを使ってヒューズを引き抜きます。(ヒューズ外しは運転席足元のヒューズボックスの中に入っています。)



N29C001A

4. ヒューズを点検し、切れているときは予備ヒューズと交換します。



N29C002A

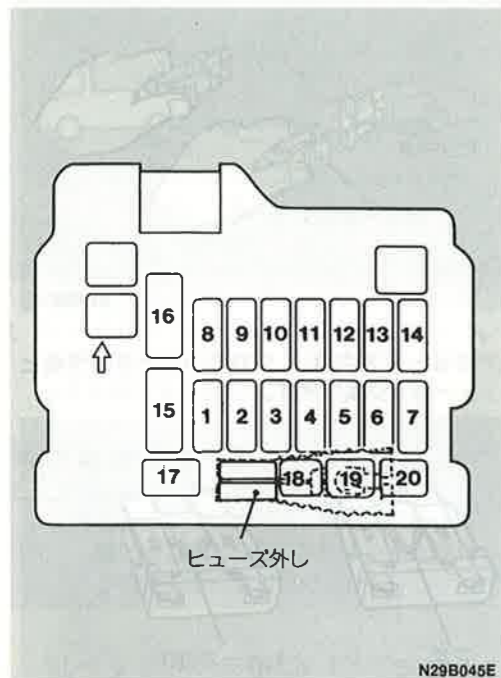
処置 ●ヒューズを交換しても再び切れるときは三菱販売会社で点検を受けてください。
●ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられますのですみやかに三菱販売会社で点検を受けてください。

注意 ●取り付けであるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると電線の過熱焼損の原因になります。

各ヒューズの受け持つ装備
および容量

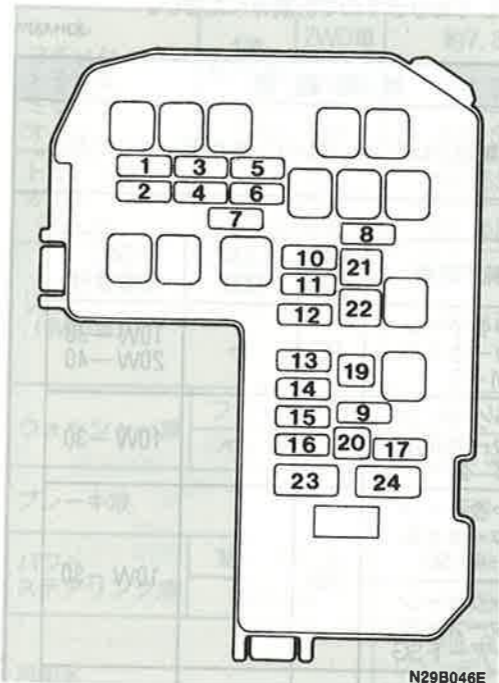
JN29BAPA

●運転席足元



NO.	表示	装備	容量
1		ECS	20A
2		トランクリッド オープナー	15A
3		イグニッションスイッチ	10A
4		メーター	10A
5		ホーン	10A
6		電子制御パワー ステアリング	10A
7		デフロスター、ヒーター リレー	10A
8	STOP	制動灯	15A
9		方向指示灯	10A
10		バックアップランプ	10A
11		ラジオ	10A
12		シガレットライター	15A
13		ワイパー・ウォッシャー	20A
14		ECU	10A
15		ヒーター	30A
16		リヤウインドウデフォッ ガー	30A
17	—	スペアヒューズ	30A
18	—	スペアヒューズ	10A
19	—	スペアヒューズ	15A
20	—	スペアヒューズ	20A

●エンジンルーム内



NO.	表示	装備	容量
1		左テールランプ	10A
2		右テールランプ	10A
3		左ヘッドランプ(下向き)	10A
4		右ヘッドランプ(下向き)	10A
5		左ヘッドランプ(上向き)	15A
6		右ヘッドランプ(上向き)	15A
7		フォグラмп	15A
8		コンデンサーファン モーター	20A
9		オーディオアンプ	20A
10		ラジオ	*
11		ルームランプ	15A
12		ECU	10A
13		非常点滅灯	10A
14		ワイパーディアイサー	15A
15		エンジンコントロール	20A
16		オルタネーター	10A
17		エアコンコンプレッサ	10A
18	—	—	—
19		イグニッションスイッチ	30A
20		パワーウインドウ	40A
21		ラジエーターファン モーター	40A
22		ABS	60A
23		メインヒューズ(+B)	120A
24		ヒューズ(+B)	60A

* : ヒューズなし(空端子)

「メンテナンスノート」の日常点検, または「整備手帳」の運行前点検および定期点検の内容については、別冊の「メンテナンスノート(整備手帳)」に詳しく記載してありますのでお読みください。

JQ11AAPA

項目		容量	使用銘柄			
燃料	2WD車	約72L	無鉛ガソリン ・DOHC車は無鉛プレミアムガソリンを使用してください。			
	4WD車	約70L				
エンジンオイル		約4.3L (オイルフィルター内約0.3Lを含む)	三菱純正銘柄	API分類	ILSAC認証	SAE粘度番号
			ダイヤクイーン モーターオイル M-2	SE	—	10W-30 20W-40
			ダイヤクイーン モーターオイル M-3 ターボ	SF	—	10W-30
			ダイヤクイーン モーターオイル M-4 SG	SG	—	10W-30
			ダイヤクイーン モーターオイル ラリーアートSG			
			ダイヤクイーン モーターオイル M-5 SH/GF-1	SH	合格 (GF-1)	5W-30 10W-30

2WD: 2輪駆動
4WD: フルタイム4輪駆動

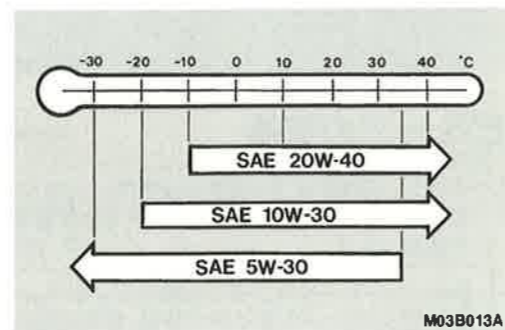
推奨エンジンオイル

三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルをお使いください。

ILSAC認証マーク



エンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表に基づきお使いください。



備考: 極寒時は5W-30をおすすめします。

項目		容量	使用銘柄
オートマチック トランス ミッション オイル	4速 A/T車	2WD車 約7.8L	三菱純正ダイヤクイーンATF-SP II
		4WD車 約8.2L	
	5速A/T車	約8.5L	
トランスファー オイル (4WD車)	4速A/T車	約0.53L	三菱純正ダイヤクイーンスーパーハイポイド ギヤオイル SAE90(GL-5)
	5速A/T車	約0.62L	
リヤディファレンシャルオイル (4WD車)		約0.85L	三菱純正ダイヤクイーンスーパーハイポイド ギヤオイル(GL-5) 気温10°C以上 SAE90 10°C以下 SAE80W
ウォッシャー液	フロント, リヤ	約4.1L	三菱純正ダイヤクイーンウインドウ ウォッシャー液
	ヘッドランプ	約4.5L	
ブレーキ液		所要	三菱純正ダイヤクイーンブレーキフルード スーパー4
パワー ステアリング液	除く, 4WS車	約0.9L	三菱純正 三菱ATF II (ATF-SP IIIは使用しないでください)
	4WS車	約1.5L	
冷却水		約8.0L (コンデンス タンク内約0.65L を含む)	三菱純正ダイヤクイーンスーパーロングライフ クーラント

A/T: オートマチックトランスミッション
2WD: 2輪駆動
4WD: フルタイム4輪駆動
4WS: 4輪操舵

項目		使用銘柄		電極部のすきま
2500 3000 (除く, MIVEC車)	前側	NGK : BKR6E -11 ND : K20PR -U11	1.0~1.1mm	
	後側	NGK : PFR6G -11 ND : PK20PR -11		
3000 (MIVEC車)	前側	NGK : BKR6EKC -N -11	0.7~0.8mm	
	後側	NGK : PFR6M		

MVV車

後側 (白金プラグ)

車両前方

前側 (標準プラグ)

DOHC車・MIVEC車

後側 (白金プラグ)

車両前方

前側 (標準プラグ)

白金プラグ

青マーク

点火プラグ
NGK : 日本特殊陶業製
ND : 日本電装製

●白金プラグと標準プラグの交換時期は異なります。詳しくは別冊の「メンテナンスノート (整備手帳)」をご覧ください。

MVV : 三菱パーチカルボルトックス
DOHC : ダブルオーバーヘッドカムシャフト
MIVEC : 三菱イノベティブバルブタイミング&リフトエレクトロニックコントロールシステム

項目	サービスデータ			
ベルトのたわみ量 (ベルトの中央部を約10kgの力で押す。)	<ol style="list-style-type: none"> 1. パワステポンププーリー 2. クランクシャフトプーリー 3. エアコンコンプレッサープーリー 4. オルタネータープーリー 			
	項目	新品ベルト装着時	使用中ベルト張り点検時	中古ベルト装着時及び使用ベルト張り直し時
A	パワステアリングポンプ用	8.4~9.3mm	11.0~14.2mm	11.7~13.4mm
B	エアコンコンプレッサー用	6.0~7.2mm	7.9~9.7mm	8.2~9.3mm
ブレーキペダル	遊び		3~8mm	
	踏み込んだときの床板とのすきま (踏力 約50kg)		80mm以上	
駐車ブレーキ	引きしろ (操作力 約20kg)		4~6ノッチ	
ランプ	車外照明			
	ヘッドランプ (前照灯) ハロゲン球 55W 車幅灯 4W フォグランプ★ 55W 制動灯/尾灯 21/5W 後退灯 21W		方向指示灯 フロント 21W サイド 5W リヤ 21W 番号灯 5W ハイマウントストップランプ (バルブタイプ)★ 21W	
	車内照明			
	ルームランプ (室内灯) 10W マップランプ 7.5W リヤパーソナルランプ 7.5W グローブボックスランプ 3.4W	フットウエルカムランプ 3.4W ドアコーテシーランプ 3.4W ドアフットランプ 5W トランクルームランプ 5W		
注 ●電球を交換するときは、同じワット(W)数のものを使用してください。				

タイヤとホイールのサイズ

JQ12AAP

●4輪とも指定サイズのタイヤ、ホイールを装着してください

指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。

●タイヤ、ホイールを交換するときは4輪とも同時に交換してください

項目	指定サイズ	25E	25V-SE	
		25S	30R	
		25V	30R-SE	
			30M	
			30M-SE	
タイヤ	205/65R15 94H	○		
	215/60R16 95H	▲	○	
ホイール	スチール	15X6.0JJ (46mm)	○	
		16X6.0JJ (46mm)	▲	
	アルミ	15X6.0JJ (46mm)	▲	○
		16X6.0JJ (46mm)	▲	○

○は、標準装備

▲は、使用可能なサイズ

()内は、ホイールとリムのオフセット量

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

ホイールナットの締め付けトルク

JP11A-D

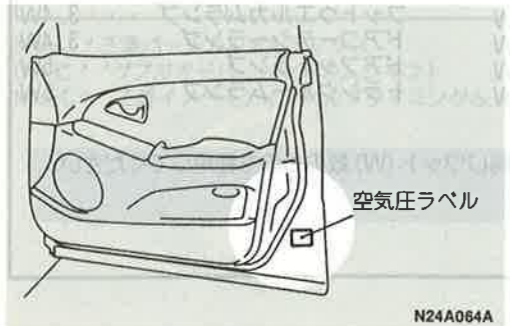
9~11kgm

(車載のホイールナットレンチの先端で約36~44kgfの力)

タイヤの空気圧

JP12A-B

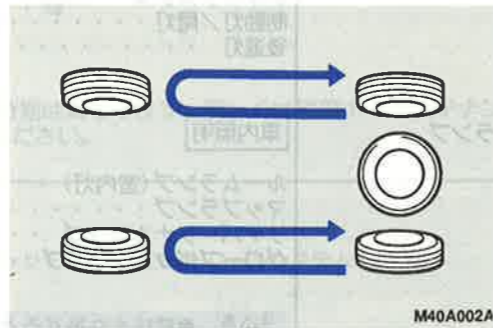
運転席のドアに貼付してある空気圧ラベルをご覧ください。



タイヤのローテーション

JP13A-A

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため、タイヤ位置交換を5,000km走行ごとに行ってください。

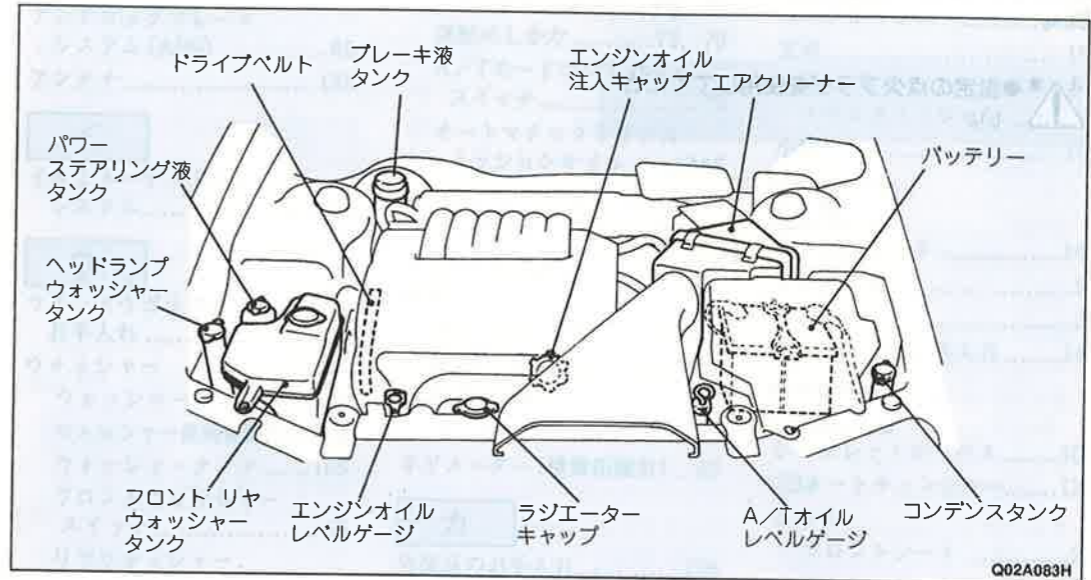


注意 ● 応急用タイヤはタイヤの位置交換をするときに一時的に使用するだけで、通常の走行用(除くパンク時)として使用しないでください。

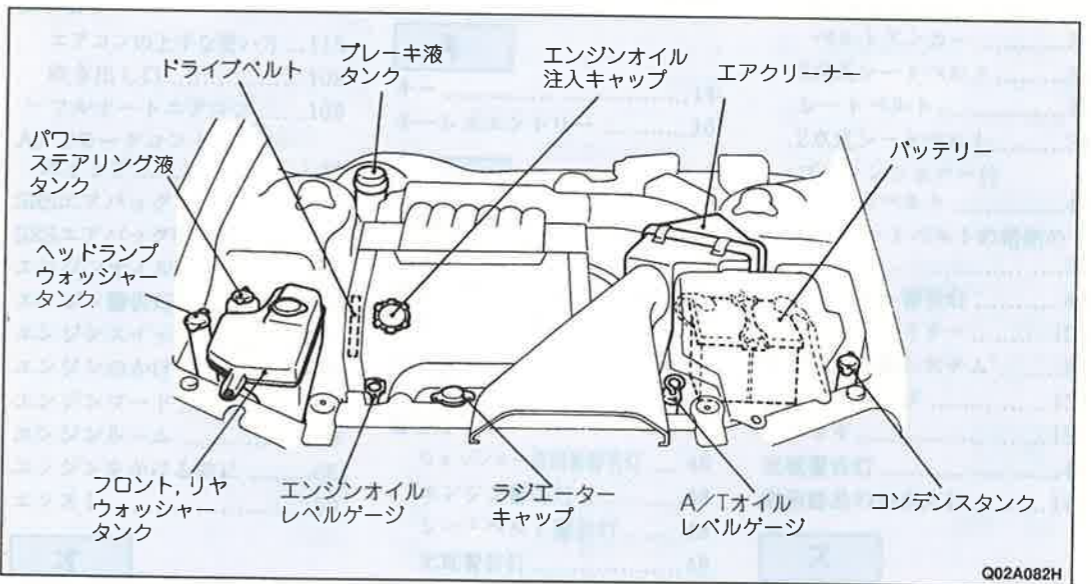
エンジンルーム内の名称

JQ13AAPA

MVV車



DOHC車・MIVEC車



備考 (1)MVV:三菱パーチャカルボルテックス
DOHC:ダブルオーバーヘッドカムシャフト
MIVEC:三菱イノベティブバルブタイミング&リフトエレクトロニックコントロールシステム
(2)A/T:オートマチックトランスミッション
(3)エンジンオイル、冷却水、オートマチックトランスミッションオイル、ブレーキ液等日常点検・補充する箇所は白色で識別し、わかりやすくしてあります。

点火プラグの交換

JP15A-AA

点火プラグの交換は三菱販売会社に依頼してください。

注意 ●指定の点火プラグを使用してください。



さくいん

ア	デジタルスーパー サラウンドシステム124	けん引.....159
アクセサリソケット100	オートマチック トランスミッション ..68, 74	コ
アルミホイール141	運転のしかた72, 79	コインボックス103
アンチロックブレーキ システム (ABS)85	A/Tモードコントロール スイッチ72	工具.....151
アンテナ135	オートマチックトランス ミッションオイル165	5速オートマチック トランスミッション74
イ	スポーツモード78	小物入れ104
イルミネーテッドエントリー システム102	セレクターレバー69, 75	サ
ウ	オーバーヒート158	サービスデータ164
ウインドウガラスの お手入れ140	お手入れ アルミホイール141	サンバイザー98
ウォッシャー	洗車139	サンルーフ23
ウォッシャー液165	塗装の補修141	サンルーフのお手入れ140
ウォッシャー液残量警告灯 ..48	ワックス139	シ
ウォッシャータンク169	オドメーター (積算距離計) ..43	シークレットボックス104
フロントウォッシャー スイッチ60	カ	CDオートチェンジャー131
リヤウォッシャー スイッチ61	外装品のお手入れ138	シート
エ	ガソリン (燃料)164	フロントシート26
エアコン	カップホルダー103	リヤシート28
エアコンの上手な使い方 ...113	寒冷時の取り扱い144	ヘッドレスト30
吹き出し口108	キ	シートベルト
フルオートエアコン109	キー14	アジャスタブルシート
A/Tモードコントロール スイッチ72	キーレスエントリー16	ベルトアンカー33
SRSエアバッグ38	ク	3点式シートベルト33
SRSエアバッグ警告灯40	区間距離計 (トリップメーター)43	シートベルト31
エンジンオイル164	曇り取りスイッチ63	2点式シートベルト34
エンジン警告灯48	クルーズコントロール86	プリテンショナー付 シートベルト40
エンジンスイッチ66	グローブボックス102	リヤシートベルトの格納の しかた35
エンジンのかけ方68	ケ	シートベルト警告灯48
エンジンフード20	警告灯	シガレットライター100
エンジンルーム169	ウォッシャー液残量警告灯48	車間距離制御システム88
エンジンをかける前に66	エンジン警告灯48	ジャッキアップ153
エンスト150	シートベルト警告灯48	ジャッキ151
オ	充電警告灯48	充電警告灯48
オイル164	タイヤ空気圧警告灯49	樹脂部品のお手入れ140
応急用タイヤ152	燃料残量警告灯49	ス
オーディオ	排気温警告灯47	水温計43
オーディオシステム116	半ドア警告灯48	スピードメーター43
CDオートチェンジャー ..131	ブレーキ警告灯47	スペアタイヤ152
	油圧警告灯48	セ
	4WS警告灯47	積算距離計 (オドメーター) ..43
		セレクターレバー69, 75

洗車.....139
 前照灯(ヘッドランプ).....57
 センターカバー.....157
 センターメッセージディスプレイ
 絵表示タイプ.....50
 文字表示タイプ.....52

タ
 タイヤ
 空気圧.....168
 空気圧警告灯.....49
 交換.....154
 締め付けトルク.....168
 スペアタイヤ(応急用).....152
 タイヤとホイールの
 サイズ.....168
 タイヤローテーション
 (位置交換).....168
 チェーン.....146
 タコメーター.....43

チ
 チケットホルダー.....98
 チャイルドプロテクション
 (後席ドア安全施錠装置).....16
 駐車ブレーキ
 駐車ブレーキ.....81
 ブレーキ警告灯.....47

テ
 点火プラグ.....166
 点火プラグの交換.....170
 電子制御パワーステアリング...84
 電動チルト・テレスコピック
 ステアリング.....81

ト
 ドア
 施錠・解錠.....14
 センタードアロック.....15
 チャイルドプロテクション.....16
 ドアミラー.....83
 時計.....102
 トラクションコントロール(TCL).....94
 トランクフロアボックス.....105
 トランクリッド.....22
 トリップメーター(区間距離計).....43

ナ
 内装品のお手入れ.....138

ネ
 燃料.....164
 燃料計.....44
 燃料残量警告灯.....49
 燃料補給口(ヒューエルリッド).....21

ハ
 排気温警告灯.....47
 灰皿.....99
 ハイチルトステアリング.....81
 発炎筒.....150
 バッテリー上がり.....157
 バニティーミラー.....98
 パワーウィンドウ.....18
 パワーステアリングオイル.....165
 パンク(タイヤ交換).....154
 半ドア警告灯.....48

ヒ
 非常点滅灯スイッチ.....62
 ヒューエルリッド(燃料補給口).....21
 ヒューズ.....161
 表示灯
 ヘッドランプ上向き表示灯.....47
 方向指示表示灯.....47
 日よけ(サンバイザー).....98
 昼間減光スイッチ.....44

フ
 フォグランプスイッチ.....62
 プッシュ式カードホルダー.....104
 フルタイム4WD.....96
 ブレーキ
 アンチロックブレーキ
 システム(ABS).....85
 ブレーキ液.....165
 ブレーキ警告灯.....47
 プレビューディスタンス
 コントロール
 (車間距離制御システム).....88
 フロアコンソールボックス.....103
 フロントシート.....26
 フロントドア.....15
 フロントワイパー・
 ウォッシャースイッチ.....59

ヘ
 ヘッドランプウォッシャー
 スイッチ.....61
 ヘッドランプ上向き表示灯...47
 ヘッドランプ(前照灯).....57
 ヘッドレスト.....30

ホ
 ホイールカバー.....156
 方向指示
 表示灯.....47
 レバー.....58

マ
 マップランプ.....101

ミ
 MICS(三菱インテリジェント
 コクピットシステム).....36
 ミラー
 ドアミラー.....83
 ルームミラー.....82

メ
 メーター
 オドメーター
 (積算距離計).....43
 水温計.....43
 スピードメーター.....43
 タコメーター.....43
 トリップメーター
 (区間距離計).....43
 燃料計.....44
 メーター照度調整ダイヤル...63

ユ
 油圧警告灯.....48

ヨ
 4速オートマチック
 トランスミッション.....68
 4WS警告灯.....47

ラ
 ライトスイッチ.....57
 ランプ
 フォグランプ.....62
 マップランプ.....101

リヤパーソナルランプ...101
 ルームランプ.....101

リ
 リヤウィンドウデフォグガー
 スイッチ.....63
 リヤシート.....28
 リヤシートベルトの格納の
 しかた.....35
 リヤシェルフボックス.....104
 リヤディファレンシャル
 オイル.....165
 リヤドア.....15
 リヤパーソナルランプ.....101
 リヤワイパー・ウォッシャー
 スイッチ.....61

ル
 ルームミラー.....82
 ルームランプ(室内灯).....101

レ
 冷却水.....165

ワ
 ワイパー.....145
 フロントワイパースイッチ.....59
 リヤワイパースイッチ.....61
 ワイパーディアイサー
 スイッチ.....60
 ワックス.....139

MEMO

XC00011069

三菱自動車工業株式会社
 蔵 95.6.09 書
 乗用車開発本部

三菱自工(株)
 611
 B014-1
 011

経済走行のために

XC00011069

JC19A-L

- ・長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- ・ムタな荷物を載せないように心掛けましょう。
- ・空ぶかしはつつしみましょう。
- ・急発進, 急加速は避けましょう。
- ・スピードに応じた正しい変速を行いましょ。
- ・できるだけ一定のスピードで運転しましょう。
- ・長い間, 車を止めるときはエンジンを止めましょう。
- ・タイヤの空気圧は規定の空気圧に調整しましょう。

純正部品のおすすめ

JB05A-I

- ・あなたの車に最適な純正部品をご使用ください。
- ・純正部品は弊社の新車に使われているものと同じ部品で, きびしい検査に合格し, その品質が保証されています。また, 三菱販売会社を通じていつでも, どこでもお求めになれます。
- ・新車時の性能と快適な乗り心地をいつも維持していただくために, 点検, 交換の際は三菱販売会社にご相談ください。
- ・純正部品には右のマークが貼ってあります。



事故が起きたときは

JB13A-A

あわてずに次の処置をしてください。

1. 続発事故防止
2. 負傷者の救護
3. 警察への届け出
4. 相手方の確認とメモ
(氏名, 住所, 電話番号)
5. ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため自賠責保険(強制保険)のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。詳しくは三菱販売会社にご相談ください。

三菱自動車では, お客さまとの“ふれあいの窓口”として三菱販売会社にお客様相談窓口を設けております。お問い合わせ, ご相談はお近くの三菱販売店または, 下記にお願いいたします。

JA21A-AA

- お客様相談室
- ・東京 TEL (03) 3456 — 1122
 - ・札幌 TEL (011) 666 — 8899
 - ・仙台 TEL (022) 254 — 2488
 - ・名古屋 TEL (052) 611 — 9075
 - ・大阪 TEL (06) 361 — 0261
 - ・岡山 TEL (086) 446 — 6493
 - ・福岡 TEL (092) 934 — 3355

注意: 札幌・仙台・名古屋・大阪・岡山・福岡の電話は, 弊社の負担により東京へ転送しております。

発行—平成7年5月

MR269078

YM505093